

地域が一体となって推進する 6つの政策



政策 1 「ひと」を育む	68
政策 2 「経済」を回す	84
政策 3 「暮らし」を守る	110
政策 4 「ともに生きる社会」をつくる	134
政策 5 「まち」を形づくる	154
政策 6 「八戸らしさ」を活かす	172

5

3つの行動指針

政策

施策の方向性

施策

1 まちづくりの視点

- ✓ 明るい未来を見据えた視点
- ✓ SDGsの視点
- ✓ 創造的復興の実現を目指す視点



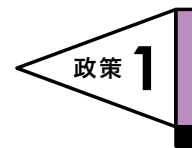
2 まちづくりの推進体制

- ✓ 多様な主体が参加したまちづくりの推進
- ✓ 行財政改革の推進
- ✓ 自治体間連携の推進



3 まちづくりの戦略

- ✓ まちづくりの成果を最大限に高めるための戦略



「ひと」を育む

子育て 教育 文化 スポーツ



「経済」を回す

産業 雇用



「暮らし」を守る

環境 防災 防犯 健康



「ともに生きる社会」をつくる

福祉 コミュニティ 多文化共生



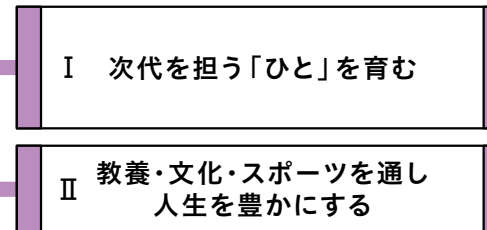
「まち」を形づくる

都市整備 公共交通



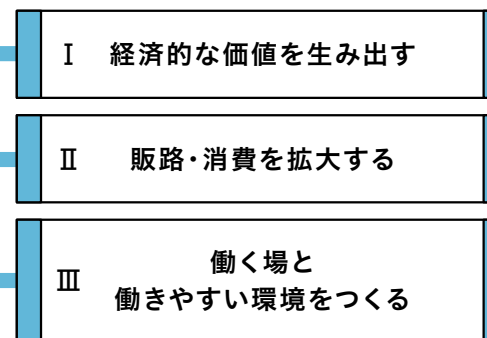
「八戸らしさ」を活かす

シティプロモーション 観光 国際交流



- 1 結婚支援の充実
- 2 妊娠・出産・子育て支援の充実
- 3 就学前教育の充実
- 4 小・中学校教育の充実
- 5 高等学校教育・高等教育の充実

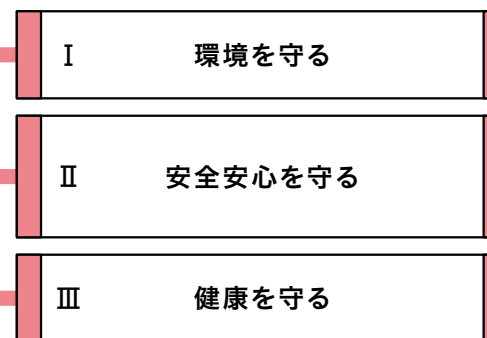
- 1 社会教育の充実
- 2 文化芸術の振興
- 3 スポーツの振興



- 1 農林業の振興
- 2 畜産業の振興
- 3 水産業の振興
- 4 ものづくり産業の振興

- 1 商業の振興
- 2 観光・スポーツビジネスの振興
- 3 貿易の振興
- 4 販路開拓の促進

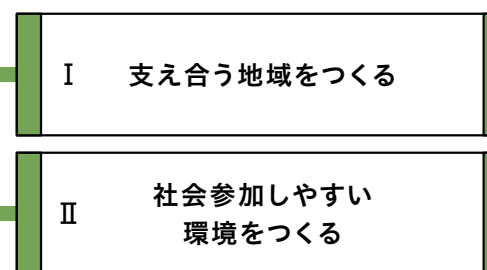
- 1 企業誘致の推進
- 2 中小企業・小規模事業者の振興
- 3 創業環境の充実
- 4 雇用・就業の促進
- 5 労働環境の充実



- 1 衛生的な生活環境の保全
- 2 自然環境の保全
- 3 グリーン・循環型社会の構築

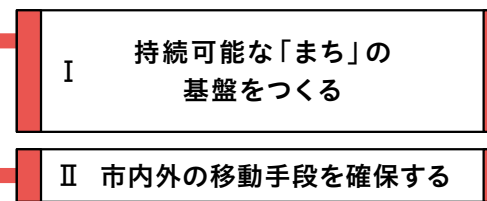
- 1 地域防災の充実
- 2 消防・救急体制の充実
- 3 防犯対策の充実
- 4 交通安全対策の充実
- 5 消費生活の安心確保

- 1 健康づくりの推進
- 2 疾病予防・重症化予防の推進
- 3 地域医療の充実



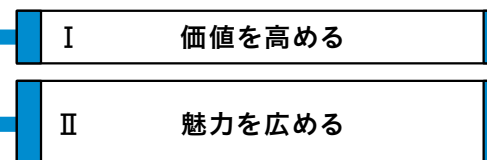
- 1 地域福祉の充実
- 2 介護・高齢者支援の充実
- 3 障がい者支援の充実
- 4 生活保障の充実
- 5 コミュニティの振興

- 1 市民活動の促進
- 2 高齢者の活躍促進
- 3 障がい者の社会参加の促進
- 4 男女共同参画の推進
- 5 多文化共生の推進



- 1 良好な市街地の形成
- 2 港湾・河川の整備
- 3 道路・橋りょうの整備
- 4 上下水道等の整備
- 5 公園・緑地の整備
- 6 墓地・斎場の整備

- 1 地域公共交通の維持
- 2 広域公共交通の充実



- 1 八戸ブランドの確立
- 2 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用

- 1 シティプロモーションの推進
- 2 観光地域づくりの推進
- 3 国際交流の促進

政策 1 「ひと」を育む

子育て 教育 文化 スポーツ

基本的な考え方

次代を担う子どもから大人まで、市民（ひと）一人一人が豊かな人生を育むことは、社会全体を生き生きとさせ、明るい未来を築くことにつながります。

全ての市民の人生を豊かなものにできるよう、それぞれのライフステージに応じた環境づくりを推進することが重要です。

これまで、本市では、市民が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚支援や子育て支援の充実に取り組んできました。

また、子どもたちが確かな学力と豊かな心、健やかな体の3つからなる「生きる力」を着実に育むことができ、郷土を愛し地域で活躍する人材を育むことができるよう、学校教育の充実に取り組んできました。

さらに、市民が豊かな人生を送ることができるよう、社会教育の充実を図るとともに、多種多様な文化芸術活動の促進やスポーツに親しむ環境づくりを進めてきました。

こうした中、近年の核家族化の進展により地域住民同士のつながりの希薄化が進むなど子育て環境が大きく変化しており、今後も子育て家庭が子どもを育てる喜びや楽しさを実感できる環境づくりを推進する必要があります。

また、現代社会はグローバル化や情報化が急速に進展しており、これらの変化に対応し豊かな未来を自らの手で切り拓くことができる人材を育む必要があります。

さらに、市民が主体的に学ぶことができる機会や文化芸術・スポーツに親しむ機会が数多く創出されてきた中で、市民一人一人が精神的な豊かさを感じながら、より豊かな人生を送ることができるよう、これまでの取組を更に推進する必要があります。

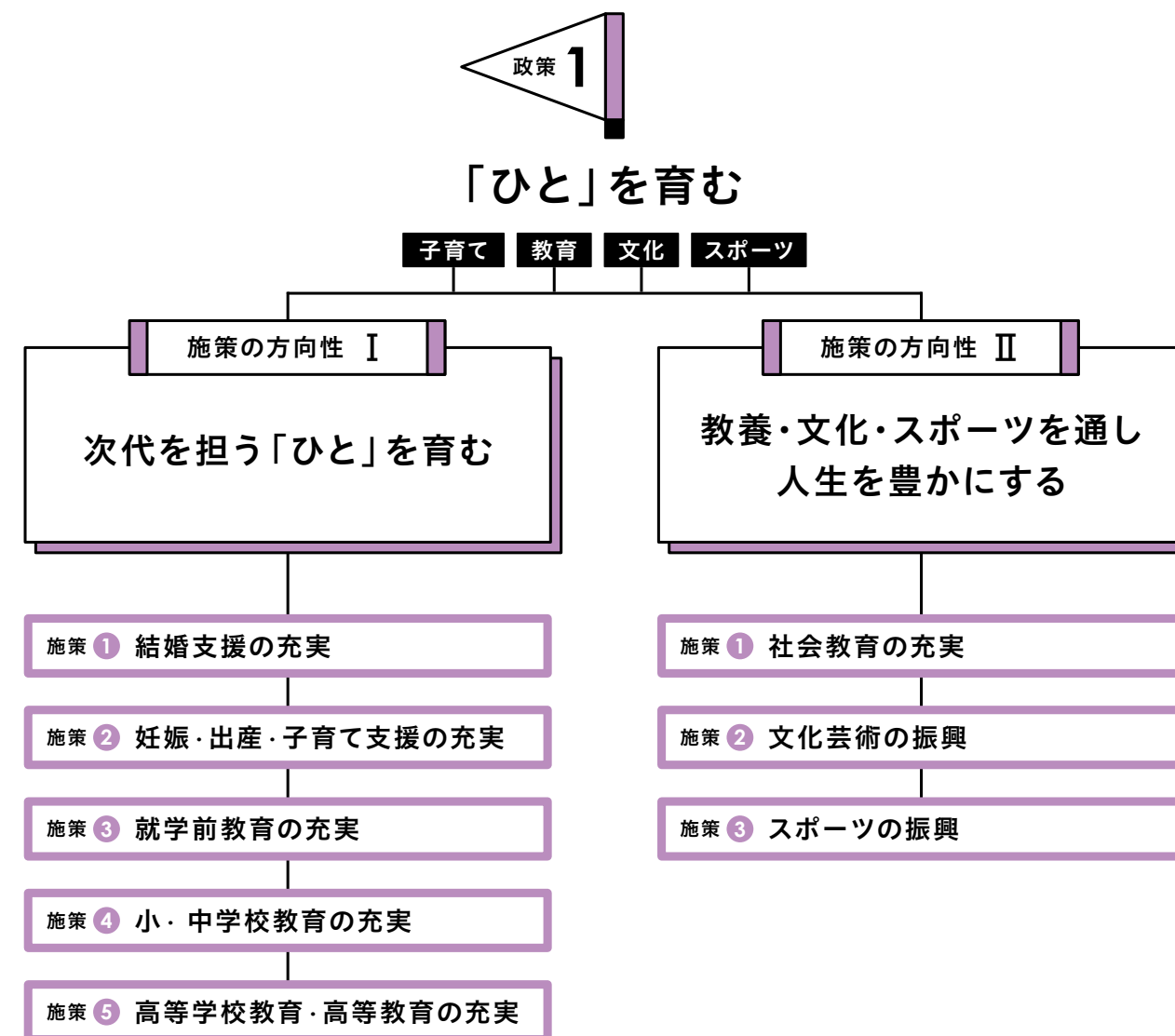
このようなことから、本市では、次代を担う「ひと」を育むため、結婚支援や妊娠・出産・子育て支援、就学前教育、小・中学校教育、高等学校教育・高等教育の充実を図るとともに、教養・文化・スポーツを通し豊かな人生を送る「ひと」を育むため、社会教育の充実や文化芸術、スポーツの振興を図ります。

【ライフステージ】年齢ともなって変化する生活段階のこと。人間の一生において節目となる出来事（進学、就職、結婚・出産、退職など）によって区切ったそれぞれの段階のこと。

【核家族】夫婦と未婚の子どもだけからなる世帯、夫婦のみの世帯や、父親または母親と子どもからなる世帯のこと。

【情報化】人間の知識や概念などの情報が、テレビやラジオ、コンピュータなどの装置、インターネット等の技術により、社会に広く普及、浸透すること。

施策の体系



施策の方向性 I

次代を担う「ひと」を育む

概要

結婚支援や妊娠・出産・子育て支援、就学前教育、小・中学校教育、高等学校教育・高等教育の充実を図り、次代を担う「ひと」を育みます。

現状と課題

結婚支援

当市では、令和2(2020)年の婚姻件数が1,954件と、平成28(2016)年の2,341件から減少しており、人口1,000人当たりの婚姻件数を示す婚姻率についても、平成27(2015)年以降低下傾向にあります。

婚姻件数や婚姻率は、近年の未婚化の進行を背景として今後も減少していくことが見込まれますが、内閣府の調査では未婚化が進む主な理由として結婚を希望しながらも相手に巡り会えないことなどが挙げられており、結婚を希望する人が一人でも多くその希望をかなえることができるよう、地域住民による結婚活動への支援や、結婚に関するセミナーやイベントの開催など行政と民間団体が連携し多様な出会いの場の創出を図る必要があります。

妊娠・出産・子育て支援

当市では、令和2(2020)年6月から供用を開始した総合保健センター内に、子育て世代包括支援センター、こども家庭相談室、こども支援センターを設置し、妊娠から出産、産後の子育てにわたって健康・福祉・教育の三つの面から継続的かつ包括的な支援を行う「八戸版ネウボラ」を推進しています。

今後も、妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図る必要があります。

【未婚化】結婚をしたことがない人が増えること。

【ネウボラ】フィンランドを発祥とする言葉で、妊娠期から出産、子どもの就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置及び運営する拠点や支援制度のこと。

就学前教育

当市では、人格形成の基礎が培われる就学前の幼児期において、幼稚園・認定こども園・保育所・小学校の関係者が連携し、子どもの生活・発達・学びの連続性に配慮した就学前教育に取り組んでいます。

今後も、就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できるよう、子ども一人一人の発達に応じた就学前教育の充実を図る必要があります。

小・中学校教育

当市では、確かな学力と豊かな心、健やかな体の3つからなる「生きる力」を育む教育に取り組むとともに、郷土への愛着や誇りが育まれるよう、学校・家庭・地域が連携した地域密着型教育を推進しています。

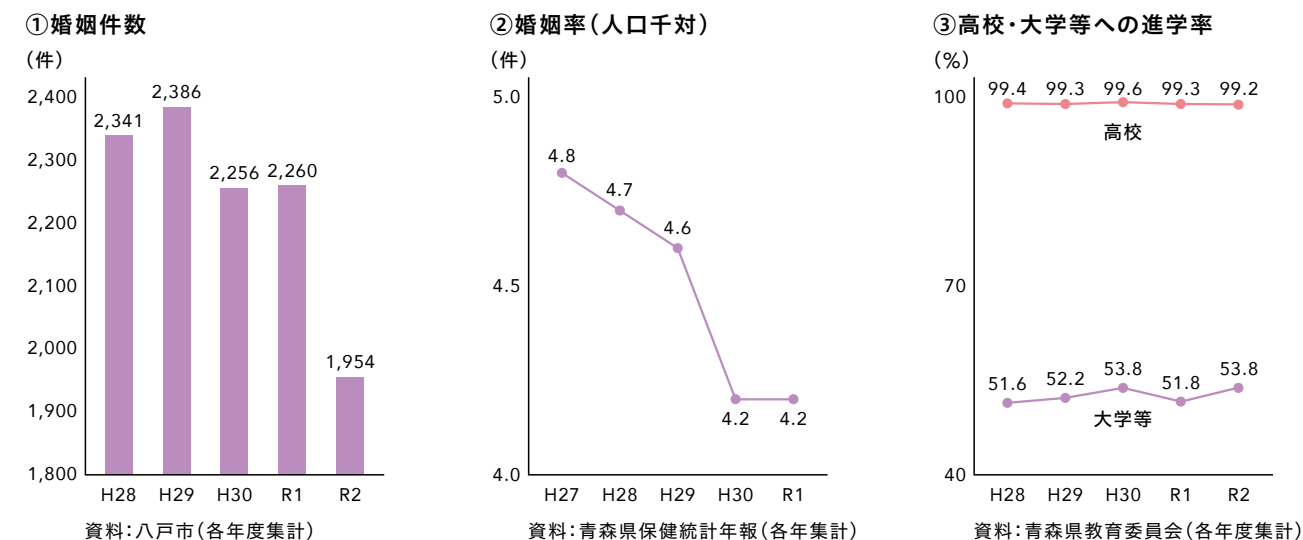
近年、グローバル化や情報化の進展により、学校教育を取り巻く環境は大きく変化しており、確かな学力の育成に加え、外国語によるコミュニケーション能力やICTを活用した情報活用能力の育成が求められています。

全ての児童生徒が、郷土への愛着や誇りをもつとともに、これらの変化を乗り越え、将来にわたって豊かな人生を歩んでいけるよう、学校・家庭・地域が連携して小・中学校教育の充実を図る必要があります。

高等学校教育・高等教育

当市では、令和2(2020)年の市内の高校進学率が99.2%と高い水準で推移しており、大学等への進学率は53.8%と青森県平均の46.6%を上回っています。

今後も、修学を希望する生徒や学生が、経済的な理由に妨げられることなく高等学校教育や高等教育を受けることができるよう修学支援の充実を図るとともに、郷土への愛着や誇りをもち地域で活躍する人材を育むため、高等教育機関との連携強化を図る必要があります。



【地域密着型教育】学校・家庭・地域が連携・協働して、地域の子供たちをともに育てる取り組みのこと。

未来予測

未婚化の進行により、婚姻率の低下が予想されることから、結婚を希望する人がその希望をかなえることができるよう長期的に対処していく必要があります。

また、女性の社会進出や就労形態の多様化により、子育て支援に対するニーズの多様化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

さらに、グローバル化や情報化の進展により、学校教育を取り巻く環境の変化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 1 結婚支援の充実

結婚を希望する人がその希望をかなえられるよう、「結婚支援の充実」を図ります。

施策 2 妊娠・出産・子育て支援の充実

妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、「妊娠・出産・子育て支援の充実」を図ります。

施策 3 就学前教育の充実

就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できるよう、「就学前教育の充実」を図ります。

施策 4 小・中学校教育の充実

全ての児童生徒が「生きる力」を身につけ、郷土への愛着や誇りをもちながら、グローバル化や情報化の進展に対応し、将来にわたって豊かな人生を歩んでいけるよう、「小・中学校教育の充実」を図ります。

施策 5 高等学校教育・高等教育の充実

修学を希望する生徒や学生が経済的な理由に妨げられることなく、高等学校教育や高等教育を受けられるよう、また、郷土への愛着や誇りをもち地域で活躍する人材を育むため「高等学校教育・高等教育の充実」を図ります。

施策 1 結婚支援の充実

目指す姿
・結婚を希望する人が、多くの出会いの機会を得られ、希望をかなえることができる。

進行管理指標
・婚姻率
・あおり出会いサポートセンターの市民登録者数
・結婚に関するイベントへの参加者数

役割分担

市民	・結婚支援活動への参加 ・結婚を希望する人の結婚活動への協力
事業者	・ワーク・ライフ・バランスへの理解
行政機関 (八戸市)	・結婚支援を行う地域住民との連携 ・出会いの場の創出 ・結婚支援を行う関係団体との連携

施策の内容
地域住民との連携により結婚活動への支援に取り組むとともに、あおり出会いサポートセンターとの連携による情報提供やイベントの開催を通じた多様な出会いの機会の創出を図ります。

関連する
SDGs
のゴール



国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	結婚応援プロジェクト事業	●あおり出会いサポートセンターの共同運営、マッチングシステムの導入、結婚応援ネットワーク体制の強化、婚活イベントアドバイザーの派遣、結婚応援団体サポーターの登録。

【ワーク・ライフ・バランス】「仕事と生活の調和」と訳され、国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

施策 2 妊娠・出産・子育て支援の充実

目指す姿

・妊娠や出産の希望をかなえられ、安心して子育てができている。

進行管理指標

・地域で子育てをしたいと思う親の割合
・母子健康診査受診率（妊婦健康診査・3歳児健康診査）
・待機児童数

役割分担

市民	・子育て支援活動への参加
事業者	・妊娠・出産・子育て期に配慮した就業環境の整備
幼稚園 認定こども園 保育所	・幼児教育・保育の提供 ・子育て支援サービスの提供
NPO	・子育て支援サービスの提供
行政機関 （八戸市）	・八戸版ネウボラの推進 ・幼児教育・保育の推進 ・放課後児童対策の充実 ・子育て支援サービスの提供 ・経済的支援の充実

関連する
SDGs
のゴール



施策の内容

妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援体制の整備や子育て情報の提供に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の充実を図ります。また、多様な子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て家庭への経済的支援に取り組みます。

■関連する個別計画

八戸市次世代育成支援行動計画後期計画／八戸市健康増進計画第2次健康はちのへ21改訂版／八戸市地域福祉計画／八戸市男女共同参画基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	各種事業への補助金交付	●市が実施する各種事業に対する一部補助
青森県	あおもり子育て応援パスポート事業	●事業協賛店が子育て家庭や妊婦を対象に割引等のサービスを提供し子育てを支援する制度
	各種事業への補助金交付	●市が実施する各種事業に対する一部補助

【待機児童】保育の申し込みがされているが、保育所等の不足や保育希望時間の調整がつかないなど、保育受け入れができない児童のこと。

施策 3 就学前教育の充実

目指す姿

・就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できている。

進行管理指標

・小学校における就学前教育施設との交流活動・参観等の実施率
・幼児教育アドバイザー及び幼児相談員による巡回相談の実施率

役割分担

市民	・就学前の様々な学習機会への参加
幼稚園 認定こども園 保育所	・就学前教育に関する情報の提供 ・就学前教育内容の充実
行政機関 （八戸市）	・就学前教育施設への支援 ・小学校教育との連携 ・就学前教育に関する相談体制の構築

施策の内容

就学前教育施設が行う幼児教育の提供や教育環境の整備を支援するとともに、小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園・認定こども園・保育所・小学校との連携を推進します。また、子育て世代包括支援センター、こども家庭相談室、こども支援センターの連携による相談体制の充実を図ります。



■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画／八戸市次世代育成支援行動計画後期計画

関連する
SDGs
のゴール



施策 4 小・中学校教育の充実

目指す姿 郷土を愛し、夢や希望をもち、自分自身や未来をしっかり見つめ、「生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)」を身につけた児童生徒が育っている。

進行管理指標 学力実態調査 (「学校の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合(小学6年生、中学3年生))
地域密着型教育の実施率
特別支援アシスタントの配置数

役割分担	
市民	・児童生徒の社会体験や奉仕活動への支援 ・学校教育活動への理解及び参加
事業者 地域団体 NPO	・環境教育の推進 ・食育の推進 ・体験学習の場の提供 ・教育活動への参画
行政機関 (八戸市)	・学校・家庭・地域の連携・協働の推進 ・教育内容の充実 ・教育環境の整備や充実 ・特別支援教育の充実

施策の内容 地域密着型教育の推進や教職員の指導力向上を図るとともに、英語教育の推進やICT環境の整備による教育の情報化に取り組みます。また、学校施設の老朽化対策や計画的な整備を進めるとともに、特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する教育の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画／八戸市次世代育成支援行動計画後期計画／八戸市学校給食基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
総務省 外務省 文部科学省	JETプログラム(ALT)	●外国青年を招致して、地方自治体、教育委員会、小・中学校等で、国際交流の業務や外国語教育に携わることにより、地域の国際化を図る。

【環境教育】持続可能な社会の実現を目指して、家庭、学校、地域などのあらゆる場において、環境と社会、経済及び文化とのつながりや、その他環境の保全についての理解を深めるために行われる教育のこと。

【食育】市民一人ひとりが、生涯を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保等が図られるよう、自らの食について考える習慣や食に関する知識、食への感謝の心、更に食を選択する判断力などを正しく身につけるための活動や学習等の取組のこと。

施策 5 高等学校教育・高等教育の充実

目指す姿 修学を希望する人が、経済的な理由に妨げられることなく高等学校教育・高等教育を受ける機会が確保されている。
郷土に愛着や誇りを持つ人材が育成され活躍している。

進行管理指標 奨学金の貸与・給付件数
高等教育機関が実施する地域を学ぶ講義数
高校・大学等への進学率

役割分担	
教育関係機関	・多様で特色ある教育の提供 ・独自の修学支援 ・他の高等教育機関及び行政との連携
行政機関 (八戸市)	・生徒学生への修学支援 ・私立高等学校への支援 ・高等教育機関との連携

施策の内容 高校生や大学生等への経済的支援に取り組むとともに、私立高等学校の教育環境の充実を図ります。また、高等教育機関との連携により、大学生等が地域の産業や文化を学ぶ機会の創出を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県 (公益財団法人 青森県育英 奨学会)	大学入学時奨学金	●経済的理由により修学が困難な生徒学生に奨学金を貸与
	高等学校等奨学金	

施策の方向性 II

教養・文化・スポーツを通し 人生を豊かにする

概要

社会教育の充実や文化芸術、スポーツの振興を図り、教養・文化・スポーツを通し豊かな人生を送る「ひと」を育みます。

現状と課題

社会教育

当市では、市民が生涯にわたって自由に学ぶことができる場として、八戸市民大学講座を開催しており、令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響により開催がなかったものの、平成28(2016)年度から令和元(2019)年度の受講者数は、5,000人を超えて推移しています。また、各地区公民館においても各種講座を開催しており、令和元(2019)年度の参加者数は、3.5万人を超えています。

近年、健康寿命の延伸やライフスタイルの変化により、多種多様な学習活動へのニーズが高まっており、市民が主体的に学びの選択ができるよう、多様な学習機会を確保する必要があります。

また、家庭においては、核家族化の進展を背景として、しつけや教育に不安や悩みを持つ親が増加しており、家庭の教育力向上に向けた支援の充実を図る必要があります。

さらに、青少年を取り巻く環境も、インターネットの利用に伴うトラブルの増加や、いじめの問題、地域活動への参加機会の減少など大きく変化しており、学校や家庭、地域が一体となって青少年の健全育成を図る必要があります。

文化芸術

当市では、文化芸術の創造性を活かした「アートのまちづくり」を推進しており、地域資源を活用した市民参加型の事業を展開してきたほか、令和3(2021)年11月には、アートを通した学びにより人を育む場として、八戸市美術館を整備し、その取組を一層推進しています。

また、「本のまち八戸」として、市民が本を読むことによって豊かな心を育み、文化の薫り高いまち

【健康寿命】平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間のこと。日常生活を制限されず、自立して生活することが出来る期間を指す。

【ライフスタイル】生活様式のこと。新しい行動様式や習慣など、文化とほぼ同じ意味でつかわれることもある。

となることを目指し、平成28(2016)年度に整備した八戸ブックセンターを拠点に、本との出会いや本を介した市民交流を創出する事業を展開し、市民が本に親しむまちづくりを推進しています。

平成23(2011)年2月に開館した八戸ポータルミュージアム「はっち」では、平成28(2016)年度以降、各年度2,000件を超える市民等主催の文化芸術活動が行われており、市民の文化芸術への関心は高いことから、より多くの市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができるよう、市民が文化芸術に触れることができる機会の創出を図る必要があります。

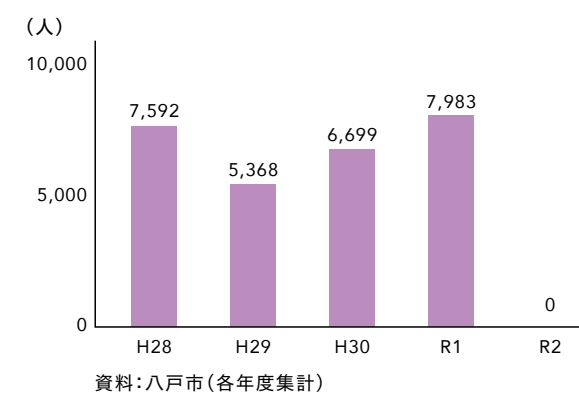
スポーツ

当市では、一年を通して、バスケットボールやサッカー、野球、スケートなど多くのスポーツが市民に親しまれています。

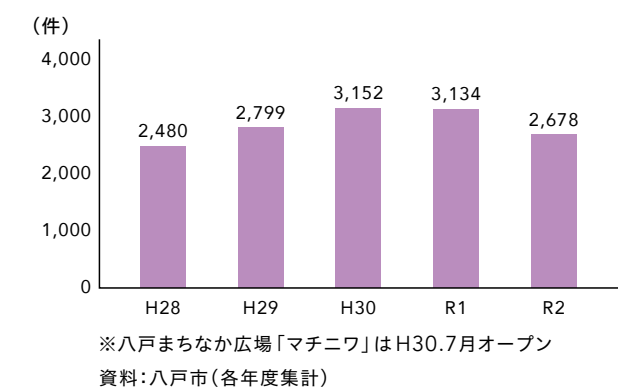
また、スピードスケート競技の国際大会の開催が可能な長根屋内スケート場や、サッカーJ3対応のスタジアムを備えた多賀多目的運動場に加え、通年型アイスアリーナでありながら各種スポーツの実施が可能なフラット八戸といったスポーツ施設が集積しており、市民がスポーツに親しむ場となっているほか、当市を活動拠点とするサッカーやアイスホッケー、バスケットボールなどのプロスポーツチームのホーム戦を観戦する機会が数多く創出されています。

さらに、競技レベルに合わせた各種スポーツ教室の開催や競技大会の運営を支援することで競技力の向上を図るなど、スポーツの持つ価値を活かしたまちづくりを進めており、今後も、全ての市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」といった形で親しむことができる環境づくりを推進する必要があります。

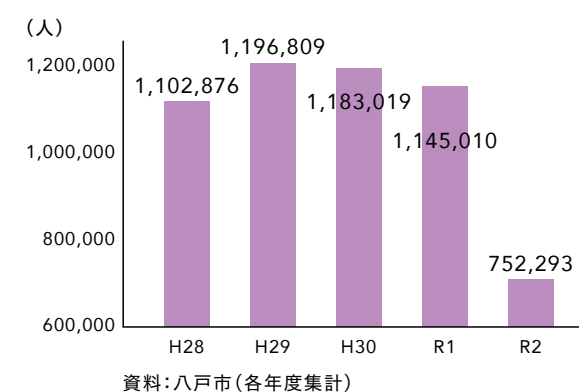
①市民大学講座受講者数



②「はっち」及び「マチニワ」における市民等主催の文化芸術活動件数



③体育施設利用者数



未来予測

健康寿命の延伸により、元気に活動する高齢者の増加が予想されることから、市民が生涯にわたって学びの機会が得られるよう長期的に対処していく必要があります。

また、次々に新しい文化芸術が生まれるなど、文化芸術を取り巻く環境の変化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

さらに、少子高齢化や人口減少の進行により、スポーツ指導者の減少が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 1 社会教育の充実

市民が生涯にわたって多様な学習機会を確保できるとともに、家庭の教育力向上や、青少年の健全育成が進むよう、「社会教育の充実」を図ります。

施策 2 文化芸術の振興

より多くの市民が豊かな人間性や創造力、感性を育めるよう、「文化芸術の振興」を図ります。

施策 3 スポーツの振興

市民が生涯にわたってスポーツに親しめるよう、「スポーツの振興」を図ります。



施策 1 社会教育の充実

目指す姿

- ・市民が生涯にわたって自由に学ぶことができる場が提供されている。
- ・家庭でのしつけや教育に関する多くの不安や悩みが解消されている。
- ・次代を担う青少年が地域と関わりながらたくましく成長している。

進行管理指標

- ・各地区公民館における各種講座の参加者数
- ・家庭教育に関する研修会や講座等の参加者数
- ・中学生・高校生のボランティア活動者数

役割分担

市民	・生涯学習の実践 ・地域社会への帰属意識及び連帯感の醸成への協力 ・青少年団体の育成及び活動への協力
高等教育機関	・生涯学習の場の提供
事業者	・生涯学習への理解及び受講しやすい環境の構築
青少年団体 青少年育成団体	・青少年の地域活動の場の提供 ・青少年の健全育成への支援
行政機関 (八戸市)	・多様な学習機会の提供 ・家庭の教育力向上への支援 ・青少年の健全育成のための環境整備

施策の内容

地区公民館や八戸市博物館、八戸市美術館、是川縄文館などにおいて、それぞれの特色を活かした生涯学習の場を提供するとともに、多様な市民ニーズに応じた学習内容の充実を図ります。また、各種研修会の開催や相談体制の整備を通じて家庭の教育力向上の促進を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成のための環境づくりを推進します。

関連する
SDGs
のゴール



■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画

施策 2 文化芸術の振興

目指す姿 多様で特色ある市民の文化芸術活動が展開され、市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができている。

進行管理指標 文化プログラムの参加者・鑑賞者数
読書会ルーム・カンヅメブースの利用件数（八戸ブックセンター）
市民等主催の文化芸術活動件数（八戸ポータルミュージアム「はっち」・八戸まちなか広場「マチニワ」、公民館ホール・南郷文化ホール、南部会館・更上閣、八戸市美術館）
文化施設利用者の施設に対する満足度

役割分担

市民	文化芸術活動への参加 文化芸術活動の実践 文化プログラムへの参加
事業者 文化団体	文化芸術活動の推進 文化芸術団体の育成 文化芸術団体の人材育成 文化プログラムへの協力や支援
行政機関 （八戸市）	市民の文化芸術活動への支援 文化芸術活動の拠点となる施設の運営 文化プログラムの実施

施策の内容

市民の文化芸術活動への経済的支援に取り組むとともに、八戸ポータルミュージアム「はっち」や八戸市美術館、八戸市公会堂などの拠点施設を活用した文化芸術活動の促進や施設間の連携、各種文化プログラムを推進します。

関連するSDGsのゴール



施策 3 スポーツの振興

目指す姿 市民が生涯にわたって、スポーツに親しむことができている。

進行管理指標 スポーツ施設の利用者数
スポーツにおける各賞の受賞者数

役割分担

市民	自分の趣味や体力に応じたスポーツ活動への参加 スポーツ大会の観戦
事業者 スポーツ団体 競技団体	スポーツ大会への支援 スポーツ大会の企画や運営 スポーツ指導者の育成
行政機関 （八戸市）	スポーツ教室の開催 スポーツ観戦への支援 スポーツ大会への支援 スポーツ指導者の育成支援 スポーツ施設の整備

施策の内容

市民のスポーツ活動の促進やプロスポーツチームの試合観戦の機会を提供するとともに、選手・指導者などスポーツに関わる人材の育成やスポーツの競技力向上を図ります。また、当市で開催される各種スポーツ大会の運営を支援するとともに、老朽化や利用者ニーズに対応したスポーツ施設の整備に取り組みます。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市中心市街地活性化基本計画／はちのへ文化のまちづくりプラン ～八戸市文化芸術推進基本計画～
八戸市新美術館管理運営基本計画／八戸市新美術館中期運営計画

【文化プログラム】様々な文化的行事のこと。

■関連する個別計画

八戸市スポーツ推進計画／八戸市体育施設整備に関する基本方針

政策 2 「経済」を回す

産業 雇用

基本的な考え方

地域経済は、市民の生活を支え都市の成長発展を促す基盤であり、人々の暮らしの豊かさや地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された経済的な価値やサービスを停滞させることなく分配・消費につなげるサイクルを促進し、経済活動を活発化させることが重要です。

これまで、本市では、多様な産業がひとつのまちに集積する地域特性を活かし、経済のグローバル化に対応しつつ、産業間・異業種間・企業間連携の促進や創業支援の充実を図りながら、地域で事業活動を行う農林畜産業、水産業、商工業など、全ての産業の基盤強化と経営の高度化を促進するとともに、雇用環境の充実を図ることで地域の「経済」を回してきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとして、世界各国でデジタル化が進展し、日本においても企業のデジタル投資が加速するとともに、ICTを活用した働き方改革が普及するなど地域経済を取り巻く環境が大きく変革しており、地域の経済活動を更に活発化させるためには、これらの変化に適切に対応しながら地域経済を一層循環させる必要があります。

このようなことから、本市では、農林業や畜産業、水産業、ものづくり産業の振興を図り、経済的な価値を生み出すとともに、商業や観光・スポーツビジネス、貿易の振興、販路開拓の促進を図ることで、市場における販路と消費の拡大を促します。

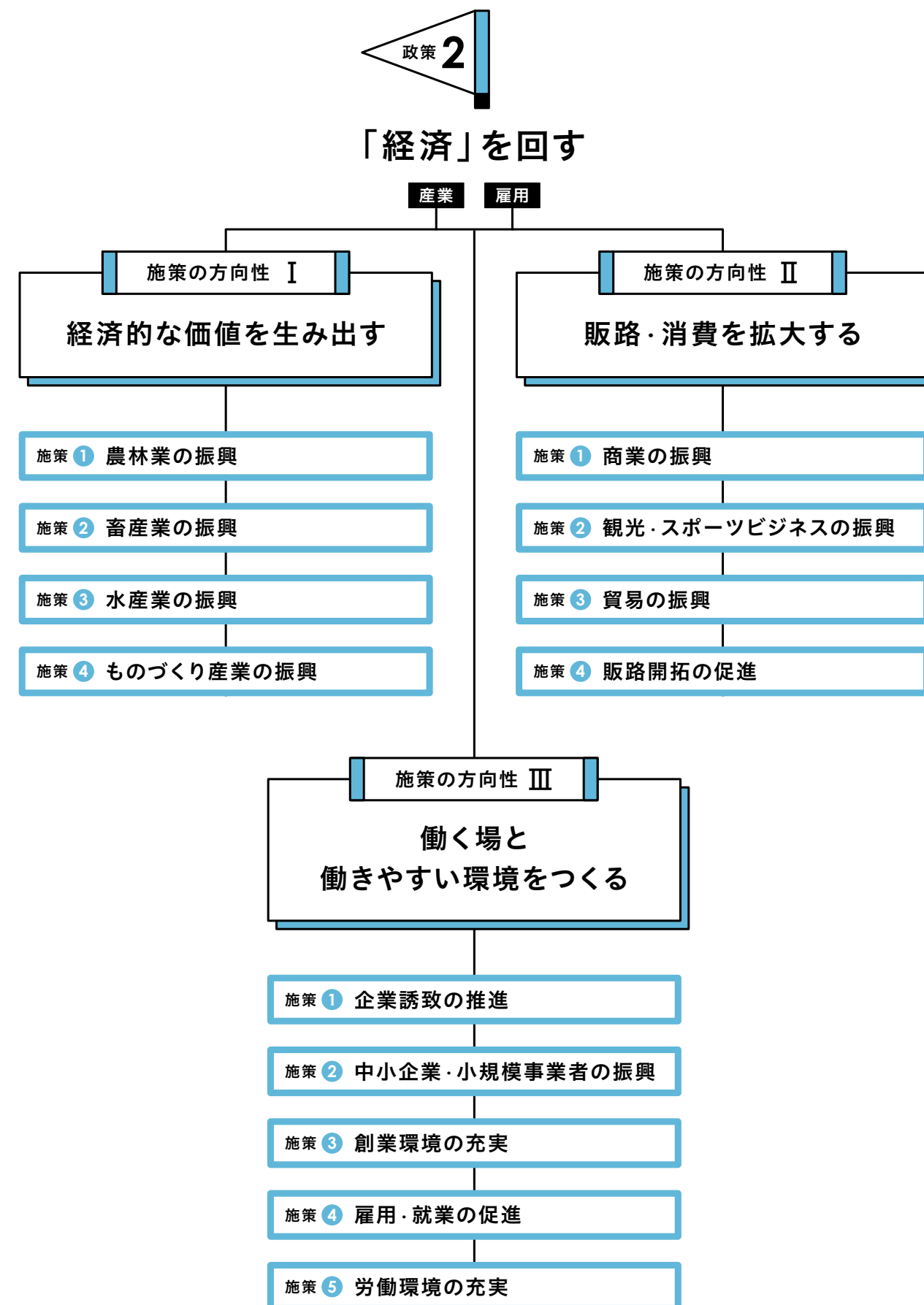
さらに、人々の働く場と働きやすい環境をつくるため、企業誘致の推進や、中小企業・小規模事業者の振興、創業環境の充実、雇用・就業の促進、労働環境の充実を図ります。



【デジタル投資】情報技術を活用し、業務の効率や正確性を向上させるための投資のこと。

【働き方改革】平成28(2016)年に第3次安倍晋三内閣が提唱した、多様で柔軟な働き方を選択できる社会の実現に向けた取組のこと。

施策の体系



施策の方向性 I

経済的な価値を生み出す

概要

農林業や畜産業、水産業、ものづくり産業の振興を図り、市場において経済的な価値を生み出します。

現状と課題

農林業

当市では、地域特性を活かした水稻や野菜、果物、花き及び畑作物などの多種多様な農産物が生産されており、地域の食料供給とともに、高速交通網を活用した広域的な流通が展開されています。

こうした中、高齢化の進行による後継者の減少を背景として、農家戸数が平成27(2015)年の2,736戸から令和2(2020)年には2,234戸と減少しており、農業の担い手確保が課題となっています。

さらに、近年の健康志向の高まりを背景とした南郷地域の主要作物である葉たばこの衰退や、人口減少等による主食用米の国内需要の減少、食の安全安心な品質への関心の高まりによる消費者ニーズの多様化など、当市の農業を取り巻く環境は大きく変容しています。

今後は、農業に参加しやすい環境づくりや担い手育成を推進するとともに、時代のニーズに合わせた農作物への転換や、付加価値の高いブランド野菜の生産促進を図り、新鮮かつ多彩な農産物を安定的に供給する必要があります。

また、森林が有する国土保全や水源涵養、地球温暖化防止、生物多様性保全などの多面的機能の維持と景観の保全を図るため、除間伐を促進し、森林環境の整備を推進するとともに、公共建築物への積極的な地域材の利用を進めており、今後も、適正な森林環境の整備・保全や、地域材の利用促進を図る必要があります。



【水源涵養】森林の樹木や地表植生などによって、降雨を地表に徐々にしみこませ、河川流量を一定にする機能のこと。洪水の防止と水資源の確保に資する。

畜産業

当市では、家畜の飼育に適した夏季冷涼な気候と国内有数の配合飼料の生産量を誇る飼料供給拠点の立地といった強みを活かした畜産業が展開されており、令和元(2019)年の農業産出額(畜産部門)は、現統計が開始された平成26(2014)年以降で最高額となる118億円まで成長しています。

今後は、畜産業及び関連産業の更なる生産規模の拡大と事業者の経営安定が図られるよう、畜産業に対する住民理解の促進や地場産畜産物の生産、ブランド化の促進に取り組み、更なる消費拡大や認知度向上につなげる必要があります。

水産業

八戸港では、近年の全国的な水産資源の減少を背景として水揚げ数量が平成28(2016)年の9.9万トンから令和2(2020)年には6.1万トンに減少しており、当市の水産業を取り巻く環境は厳しい状況となっています。

そのような中、国では、水産資源の減少に歯止めをかけるため、年間の漁獲可能量を漁船ごとに割り当てるなど新たな資源管理システムの構築を図るとともに、新興国の経済成長や人口増加に伴う世界の水産物市場の拡大を背景とした更なる輸出促進に取り組むこととしています。

当市では全国の拠点漁港に先駆けて、高度衛生管理型の荷捌施設の整備を図り、水産物の衛生管理の高度化を進めてきたところであり、今後は、水産業の持続的発展を目指し、これらの施設を活かしつつ、漁業の経営体制の強化を図るとともに、漁船の誘致やつくり育てる漁業の実現に向けた取組の推進により水揚げ量を確保し、国内外に向け安全安心で新鮮な水産物を安定的に供給する必要があります。

ものづくり産業

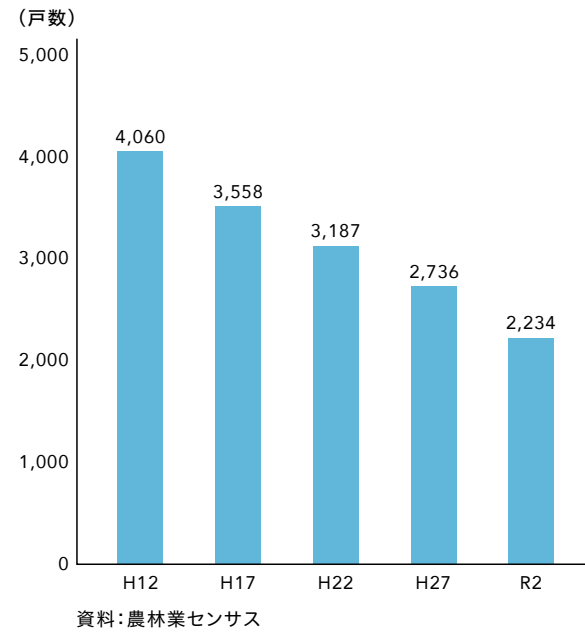
当市には、食料品製造業や飲料・たばこ・飼料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、鉄鋼業といった多種多様なものづくり産業が集積しており、製造品出荷額等は平成26(2014)年以降連続して5千億円を超えて上昇傾向にあり、平成30(2018)年には過去10年間で最も高い5,691億円となり、地域経済を支える主要産業となっています。

また、従業員1人当たりの付加価値額についても、平成27(2015)年以降1,100万円台で推移し、多くのものづくり企業が安定的に事業を展開しており、今後は、更なる収益性の向上と競争力の強化を目指し、各企業の研究開発や生産性向上の取組を支援するとともに、企業間連携の促進を図る必要があります。

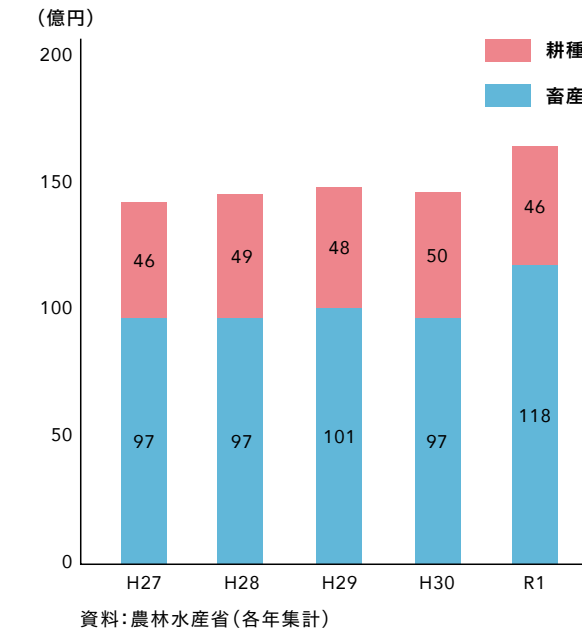


【ブランド化】他の商品と差別化することで、競争力を高めること。

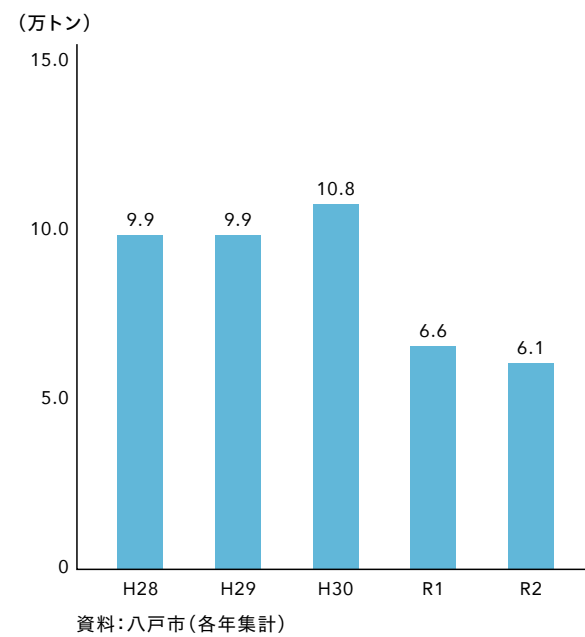
①農家数



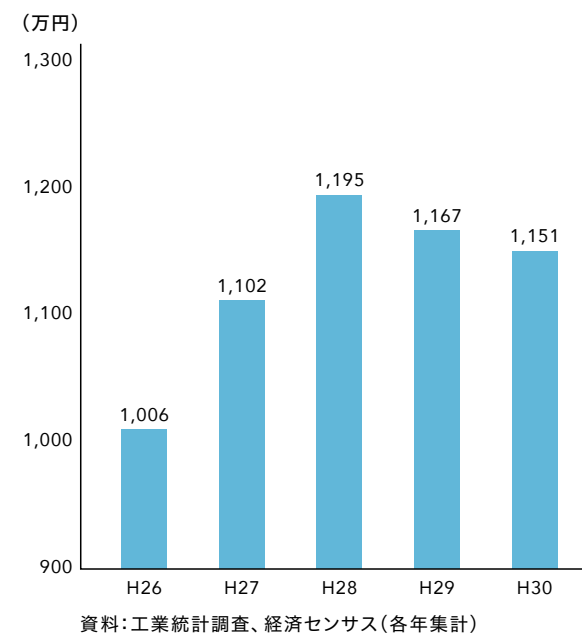
②農業産出額



③水揚げ数量



④従業員1人当たりの付加価値額



未来予測

TPP11や日EU・EPA、日米貿易協定の発効による安価な農畜水産物の国内への流入拡大が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、人手不足やデジタル化の進展を背景として、農業や水産業、ものづくり産業において、AIやIoT、ロボットを活用した生産活動が行われ、DXの取組の拡大が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

さらに、地球温暖化の影響により、地域で収穫可能な農作物に変化が生じるとともに、冷涼な気候という地理的な優位性を活かした畜産業の更なる成長が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 農林業の振興

地域特性を活かした新鮮かつ多彩な農産物を安定的に供給できるよう、また、森林の有する多面的機能の維持と景観を保全するため、「農林業の振興」を図ります。

施策 ② 畜産業の振興

更なる生産規模の拡大と安定した経営が行われるよう、「畜産業の振興」を図ります。

施策 ③ 水産業の振興

国内外に安全安心で新鮮な水産物を安定的に供給できるよう、「水産業の振興」を図ります。

施策 ④ ものづくり産業の振興

更なる収益性の向上と競争力強化が進むよう、「ものづくり産業の振興」を図ります。



【TPP11】モノの関税だけでなく、サービスや投資の自由化を進め、知的財産や金融サービスなどの幅広い分野でルールを構築する環太平洋に位置する国々の経済連携協定のこと。令和3年10月時点の署名国は、日本、オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール及びベトナムの11か国。

【日EU・EPA】日本とEU(欧州連合)との間で締結された経済連携協定のこと。貿易品目のほとんどで関税が撤廃されるほか、投資などの幅広い分野で相手国の企業が不利になる規制が緩和撤廃され、共通ルールが策定された。

施策 1 農林業の振興

目指す姿

- ・農業の担い手が確保され、付加価値の高い農作物の生産が行われるとともに、地域内外に新鮮かつ多彩な農産物が安定的に供給されている。
- ・森林整備の担い手が確保され、森林の適正な整備が行われるとともに、地域材が広く利用されている。

進行管理指標

- ・農業産出額（耕種）
- ・森林経営計画認定実績

役割分担

市民	・地場産農産物の消費拡大 ・農業・農地や林業・森林が有する多面的機能への理解
事業者 森林組合	・農地の集積 ・農業施設の導入 ・農地や農業施設の維持保全 ・就農環境の改善による新規就農者の人材育成 ・有機栽培や特別栽培の推進 ・計画的な稲作と水田活用のための畑作物栽培の推進 ・ICT分野の革新技術の導入 ・森林の保全・管理
行政機関 (八戸市)	・農地の集積や農業施設・農村環境の整備への支援 ・農林業の担い手育成・確保 ・6次産業化やブランド化の推進 ・卸売市場の運営 ・森林管理と森林資源活用の促進

施策の内容

農地集積の促進や中山間地域における農村環境づくりの推進など農業基盤の整備を図ります。また、新規就農者や森林整備の担い手の育成・確保を図るとともに、付加価値の高い農業生産の促進や、卸売市場の環境整備を進めます。さらに、森林の適正な保全・管理に取り組むとともに、地域材の利用促進を図ります。

関連する
SDGs
のゴール



施策 2 畜産業の振興

目指す姿

- ・畜産業及び関連産業の経営が安定して行われるとともに、事業規模の拡大が進められている。
- ・地場産畜産物が地域内外で認知され、消費拡大が図られている。

進行管理指標

- ・農業産出額（畜産）
- ・家畜飼養頭羽数

役割分担

市民	・地場産畜産物の消費拡大 ・畜産業への理解 ・防疫対策への協力
事業者	・生産技術の向上 ・経営の安定化 ・防疫対策の強化 ・家畜排せつ物の適正管理・有効利用 ・環境対策の実践
畜産関連団体	・事業者間の連携 ・経営安定化への支援 ・畜産業に対する住民理解の促進 ・地場産畜産物の認知度向上や消費拡大の推進
行政機関 (八戸市)	・経営安定化への支援 ・畜産業に対する住民理解の促進 ・地場産畜産物の振興促進

施策の内容

地場産畜産物の生産体制の整備・強化や、地域住民の畜産業に対する理解促進を図るとともに、地域内外での地場産畜産物の認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進します。

関連する
SDGs
のゴール



■関連する個別計画

八戸市農業計画／農業研修施設個別施設計画／八戸農業振興地域整備計画／八戸市鳥獣被害防止計画
八戸市森林整備計画／八戸市特定間伐等促進計画／八戸市公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	農林水産物安全・安心モニタリング調査事業	●農林水産物安全・安心モニタリング調査の結果を公表し、消費者に安全安心な食材を供給する。
	県産材利用促進事業	●公共建築物等での県産材使用のPR等を行う。

■関連する個別計画

八戸市肉用牛生産近代化計画／八戸地域畜産関連産業振興ビジョン

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
農林水産省	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	●各種施設等の整備を支援する。 (畜産クラスター事業)
青森県	青森県家畜導入事業	●基金を活用した肉用牛の振興を行う。

施策 3 水産業の振興

- 目指す姿
- ・漁業経営の安定・強化が図られ、国内外に安全安心で新鮮な水産物が安定的に供給されている。
- 進行管理指標
- ・水揚げ高(数量・金額)

役割分担	
市民	・水産物の消費拡大
事業者	・企業的な経営手法の導入 ・県外船の誘致 ・衛生管理の徹底
漁業協同組合	・水産資源の管理 ・栽培漁業の推進 ・漁業協同組合間の連携
行政機関 (八戸市)	・経営体制の強化への支援 ・水揚げ量確保に向けた取組の推進 ・衛生管理に対する意識強化の促進

施策の内容

生産基盤の整備や融資制度の充実を図るとともに、水産物のブランド化の取組を推進します。また、つくり育てる漁業の実現を目指した取組など水産業の持続的発展に向けた取組を推進するとともに、漁業関連施設における衛生管理の促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 4 ものづくり産業の振興

- 目指す姿
- ・多くのものづくり企業において生産性が向上し、先端技術の活用などにより事業の高度化が進められ、受発注の拡大が図られている。
- 進行管理指標
- ・従業員一人当たりの付加価値額

役割分担	
事業者	・技術の研究開発の推進 ・生産性向上の取組の推進 ・企業間連携の推進
産業支援機関	・ものづくり企業の研究開発や生産性向上への支援 ・企業間連携の促進
高等教育機関	・ものづくり企業との共同研究の推進
行政機関 (八戸市)	・ものづくり企業の研究開発や生産性向上への支援 ・ものづくり企業への各種支援施策や先端技術の情報発信 ・企業間連携の促進

施策の内容

ものづくり企業の教育・研究機関や産業支援機関との連携による取組を支援するとともに、ものづくり企業への支援体制の強化や企業間のネットワーク形成の促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸南浜地区水産物供給基盤機能保全事業機能保全計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
水産庁	漁船乗組員養成事業	●各種資格取得のための講習会を支援する。
青森県	漁業後継者育成研修賓陽(ひんよう)塾	●漁業後継者または新規漁業就業希望者を対象に、漁業基礎研修や現地研修、資格取得講習等を開催する。
	青森県水産動物の種苗生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画	●種苗の生産、放流、育成管理、技術開発に関する調査研究に取り組む。

【栽培漁業】魚介類が卵から稚魚になる一番弱い期間を人が守り育て、外敵から身を守ることが出来るようになったら、それが成長するのに適した海に放流し、その後成長したものを漁獲すること。

■関連する個別計画

中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画／青森県八戸圏域基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
中小企業庁	戦略的基盤技術高度化支援事業	●中小企業・小規模事業者が大学・公設試験研究機関と連携して行う研究開発や試作品開発等に係る取組を支援する。
	ものづくり・商業・サービス補助事業	●中小企業・小規模事業者が行う新製品・サービス開発や生産プロセス改善等のための設備投資を支援する。
青森県	—	●イノベーション・ネットワークあおもりを運営する。 ●知的財産権に関する説明会を開催する。

施策の方向性 II

販路・消費を拡大する

概要

商業や観光・スポーツビジネス、貿易の振興、販路開拓の促進を図り、市場における販路と消費の拡大を促します。

現状と課題

商業

当市では、古くから八戸圏域の商業の中心地として栄えてきた中心商店街をはじめ、各地域の商店街が市民生活を支えてきましたが、平成以降、江陽地区や沼館地区に大型商業施設の立地が進み、平成24(2012)年以降は田向地区に新たな商業集積拠点が形成されており、近年はこれらの商業施設の集積が当市の商業の発展に大きく寄与しています。

こうした中、各商店街では市内外の商業施設との競争激化や後継者不足などを背景とした空き店舗の増加により賑わいが失われつつあり、特に中心商店街においては、大型店舗の相次ぐ撤退や空き店舗の増加により商業の中心地としての求心力の低下が懸念されています。

中心商店街をはじめ、各商店街における活気や賑わいの創出は、市民はもとより観光客など市内外から多くの来訪者を呼び込み、地域全体の商業の発展につながることから、**キャッシュレス決済**などの多様化する消費者ニーズに対応した商業環境づくりへの支援に取り組む必要があります。

観光・スポーツビジネス

当市では、平成31(2019)年4月に観光地域づくり法人として八戸圏域版**DMO**「VISITはちのへ」を設立し、観光誘客と物産振興を一体として進め、地域の産業が一丸となって稼ぐ観光を推進しています。

また、当市で開催する各種スポーツ大会をスポーツ活動の促進や競技力の向上といった視点のみならず、市内外から多くの参加者や観戦者を呼び込み、飲食業や宿泊業などの地域産業への経済波及効果を生み出すスポーツビジネスという視点で捉え、長根屋内スケート場を活用したスピー

ドスケート競技の国際大会の誘致を進めるとともに、当市を活動拠点とする地域プロスポーツの試合における市内外からの観戦者の増加による経済効果を踏まえた支援に取り組んでいます。

稼ぐ観光やスポーツビジネスの推進は、ともに地域経済の好循環を生み出すものであることから、今後も旅行商品の造成・販売支援や誘客促進を図るとともに、スポーツ施設を活用したイベントや大規模なスポーツ大会・合宿の誘致、地域プロスポーツチームへの支援を推進する必要があります。

貿易

八戸港は、平成6(1994)年の東北初となる国際コンテナ定期航路の開設以降、中国・韓国航路や韓国航路、北米航路、**国際フィーダー航路**が開設されており、北東北の地域経済を支える国際物流拠点として重要な役割を担っています。

当市では、船社や貿易関連企業への積極的なポートセールス活動を展開するとともに、姉妹港等との経済交流の促進を図り、令和2(2020)年における八戸港の輸出入貿易額とコンテナ貨物取扱量(実入り)は、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みがあったものの、平成28(2016)年から令和元(2019)年においては輸出入貿易額が3,000億円前後、コンテナ貨物取扱量(実入り)が36,000TEU前後で推移しており、多くの船舶に八戸港が利用されています。

八戸港が国際物流拠点として更なる飛躍を遂げるためには、新たな航路の開設による利用拡大と既存航路におけるコンテナ貨物取扱量の増加を目指し、官民一体となった**ポートセールス活動**の推進や経済交流の一層の促進、輸出に取り組む企業への支援に取り組む必要があります。

販路開拓

当市では、多種多様な産業が集積し、金属加工品や自動車部品をはじめとする工業製品、八戸港で水揚げされた水産物を使った水産加工品といった様々な種類の製品が生産されています。

市内事業者の新たな販路の開拓を支援することにより、収益性の向上や、安定した経営につなげるため、当市では、新たな取引先とのマッチングや、国・県・産業支援機関が実施する販路開拓支援事業の活用に関する専門知識を有したコーディネーターによる企業訪問の取組を進めています。

また、中小企業・小規模事業者が新たな販路として、海外との取引の機会を得ることができるよう、海外での地場産品フェアや海外**バイヤー**との商談会を開催し、海外販路の開拓に意欲的な事業者を支援しています。

近年、顧客ニーズの多様化やアジアをはじめとする海外市場の拡大を背景として、**マッチング**や海外での地場産品フェアのニーズが高まっていることから、今後も市内事業者の国内外における販路開拓への支援を推進する必要があります。

【国際フィーダー航路】外国とのコンテナ航路を有する日本国内の主要港湾に接続する、国内コンテナ輸送航路のこと。

【ポートセールス活動】港湾の利用を促進するため、船舶貨物量の増加、客船やフェリーの寄港を荷主や船会社等に働きかけること。

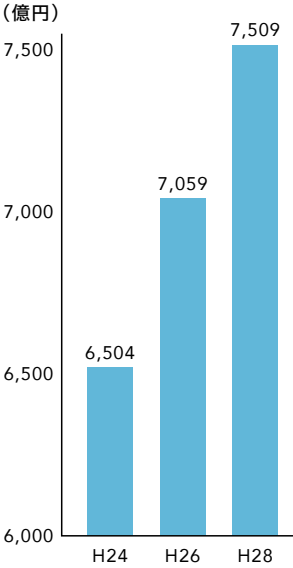
【バイヤー】商品の買い付け人のこと。

【マッチング】企業と企業を結びつけること。

【キャッシュレス決済】現金を使わずに支払いを済ませる方法のこと。クレジットカードやバーコード決済などの種類がある。

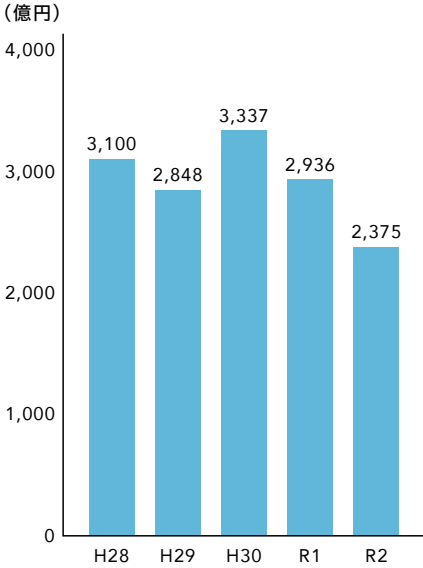
【DMO】観光地域づくり法人(Destination Management Organization)の略で、観光物件、自然、食など地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

①卸売・小売業年間商品販売額



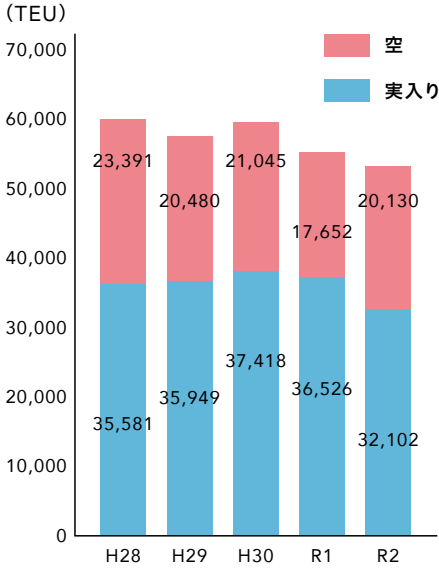
資料：商業統計調査・経済センサス (各年集計)

②八戸港の輸出入貿易額



資料：函館税関八戸税関支署 (各年集計)

③八戸港のコンテナ貨物取扱量



資料：八戸市 (各年集計)

未来予測

デジタル化の進展により、キャッシュレス決済による取引の拡大が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、三陸沿岸道路の全線開通により、観光や物流の活発化が予想されることから、物流の拠点性を高めるなど、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 商業の振興

市内外から多くの人々が訪れ、活気と賑わいのある商業空間が形成されるよう、「商業の振興」を図ります。

施策 ② 観光・スポーツビジネスの振興

多くの観光客を呼びこむとともに、各種スポーツ大会の開催や地域プロスポーツチームの試合観戦者の増加によって地域経済が活性化されるよう、「観光・スポーツビジネスの振興」を図ります。

施策 ③ 貿易の振興

八戸港の利用が拡大されるよう、「貿易の振興」を図ります。

施策 ④ 販路開拓の促進

市内事業者の収益性の向上と経営の安定につながるよう、「販路開拓の促進」を図ります。

施策 ① 商業の振興

目指す姿

・キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されている。

進行管理指標

・卸売・小売業年間商品販売額

役割分担

市民	・まちづくり活動やイベントへの参加
事業者	・消費者ニーズに対応した魅力ある商店街の整備 ・事業者間の連携による快適で集客力のある商店街の形成
行政機関 (八戸市)	・商業環境の整備 ・商店街等の賑わい創出への支援

施策の内容

商業環境の構築に向けた経済的支援に取り組むとともに、市内外から多くの人々が訪れる魅力あふれる商店街づくりの促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
中小企業庁	—	●商店街向け補助金等
青森県	—	●商店街向け補助金等

施策 2 観光・スポーツビジネスの振興

- 目指す姿
- 観光や学会等への参加や、スポーツ大会や地域プロスポーツチームの試合観戦のために多くの人が当市を訪れ、宿泊や飲食、お土産の購入などにより、地域経済が活性化している。
- 進行管理指標
- 地域プロスポーツチームのホームゲーム来場者数(1試合平均)
宿泊者数

役割分担	
市民	・地域の観光資源の保全 ・スポーツ大会の観戦
事業者	・旅行商品の造成や販売 ・各種学会や会合の開催や誘致 ・スポーツ大会の参加者や観戦者及びスポーツ合宿者の受入れ ・スポーツ施設を活用したイベントの開催
VISITはちのへ	・旅行商品の造成や販売への支援 ・観光イベントの開催支援やPR ・MICE誘致の推進
行政機関(八戸市)	・VISITはちのへとの連携 ・スポーツ大会や合宿等の誘致活動 ・地域プロスポーツチームへの支援

施策の内容

八戸圏域版DMO「VISITはちのへ」と連携した観光誘客を推進するとともに、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿、MICEの積極的な誘致、地域プロスポーツチームの観戦者数の増加に向けた支援の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 3 貿易の振興

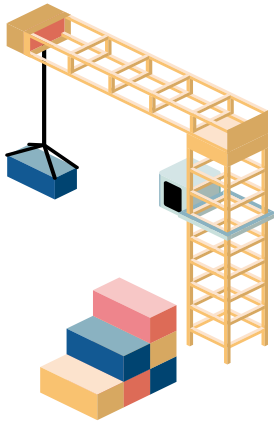
- 目指す姿
- 八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量(実入り)が増加している。
- 進行管理指標
- 八戸港の輸出入貿易額
八戸港のコンテナ貨物取扱量(実入り)

役割分担	
事業者	・行政と一体となったポートセールス活動の推進 ・海外との取引拡大に向けた取組の推進
行政機関(八戸市)	・船社・貿易関連企業に対するポートセールス活動の推進 ・経済交流の促進 ・貿易関連企業への支援

施策の内容

官民一体でのポートセールス活動を推進するとともに、貿易に関する協定等を締結している都市との相互交流や輸出に取り組む企業への支援に取り組みます。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市スポーツ推進計画

【MICE】企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらの総称のこと。

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	経済交流活動の推進	●経済活動が著しいアジアなどへの青森県産品の輸入促進

施策 4 販路開拓の促進

目指す姿

多くの市内事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と安定した経営につながっている。

進行管理指標

商談成立件数

八戸都市圏交流プラザの来店者数

役割分担

事業者	<div>国内外での販路開拓</div> <div>地場産品のPR</div>
行政機関 (八戸市)	<div>コーディネーターによるマッチングや相談対応の充実</div> <div>事業者等の国内外における販路開拓への支援</div>

施策の内容

市内事業者が抱える販路開拓の課題解決に向けた取組への支援や、国内外における販路開拓の機会の確保を図ります。

関連するSDGsのゴール



国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	海外販路拡大の推進／経済交流活動の推進	●経済活動が著しいアジアなどへの青森県産品の輸入促進
	新事業展開等促進補助事業	●新商品・新技術・新役務(サービス)の開発及び販路開拓を行う事業を支援

【コーディネーター】いろいろな要素を統合したり、調整したりして、一つにまとめ上げる係や職業のこと。

施策の方向性 III

働く場と働きやすい環境をつくる

概要

企業誘致の推進や中小企業・小規模事業者の振興、創業環境の充実、雇用・就業の促進、労働環境の充実を図り、働く場と働きやすい環境をつくります。

現状と課題

企業誘致

当市では、昭和39(1964)年の新産業都市の指定以降、産業基盤を整備するとともに、企業誘致を積極的に進めており、製造業や物流業をはじめ、IT・テレマーケティング関連産業、環境・エネルギー関連産業、医療・航空機といった成長産業など多種多様な企業が立地し、令和2(2020)年度末時点の誘致企業件数は延べ123件となっています。

また、令和3(2021)年4月1日時点の誘致企業従業員数は5,534人と、多くの雇用を創出するとともに、北インター工業団地の令和3(2021)年3月末時点における分譲率は95.8%にのぼっています。

現在、令和6(2024)年度からの分譲開始を目指し新産業団地の整備に取り組んでいますが、市外から企業を誘致することは、市内に新たな雇用を生み出し、地元企業の受注拡大や収益向上を促進させ、地域経済の活性化につながることから、更なる産業の集積と雇用機会の創出を目指し、新規企業の立地や誘致企業の事業拡大に向けた支援の充実を図る必要があります。

中小企業・小規模事業者業

当市では、平成28(2016)年の企業数7,363社のうち、中小企業は7,350社で全体の99.8%、うち小規模事業者は6,172社で全体の83.8%を占め、企業活動や雇用の創出を通じて地域経済を支える重要な役割を担っています。

こうした中、経営者の高齢化や後継者不足を背景とした廃業の増加により、中小企業・小規模事業者数が減少しており、安定的に事業活動を継続できるよう、八戸商工会議所などの関係機関と連携して、事業承継支援に取り組む必要があります。

さらに、中小企業・小規模事業者は地域経済の発展と雇用の創出に寄与し、市民生活の向上に

【テレマーケティング】情報通信技術を計画的・組織的に利用したマーケティング(商品販売)の技法のこと。通信販売などの受注、消費者からの問い合わせ・苦情などを電話で受け付ける業務と、電話をかけて購買を勧誘したり、市場調査などをしたりする業務とがある。

大きく貢献する重要な存在であることから、経営基盤の安定化や事業の拡大、新たな分野への事業展開を支援する必要があります。

創業環境

当市では、平成28(2016)年に、はちのへ創業・事業承継サポートセンターを開設して以降、創業相談者数が毎年100人を超えており、令和2(2020)年度までの累計創業者数は196名と県内創業支援拠点の中で最も多くの創業者を輩出しています。近年、経営者の高齢化の進行や後継者不足を背景として、廃業の増加が懸念されており、創業者は、地域の経済活動の新たな担い手として持続的かつ安定的な地域経済の発展には欠かせない存在であることから、今後も地域において継続して創業者を輩出できるよう、創業環境の充実を図る必要があります。

雇用・就業

八戸公共職業安定所管内における有効求人倍率は、令和2(2020)年時点で1.28倍と、1.0倍を上回っている一方、八戸公共職業安定所管内における新規求職者に対する就職件数の比率は令和2(2020)年時点で39.2%となっており、企業の求める人材と求職者が希望する職種とのマッチングが課題となっています。

また、若年層を中心に首都圏等への人口の流出が続いており、地域で育った人材の流出は、将来の地域の担い手不足や地域産業の衰退につながります。

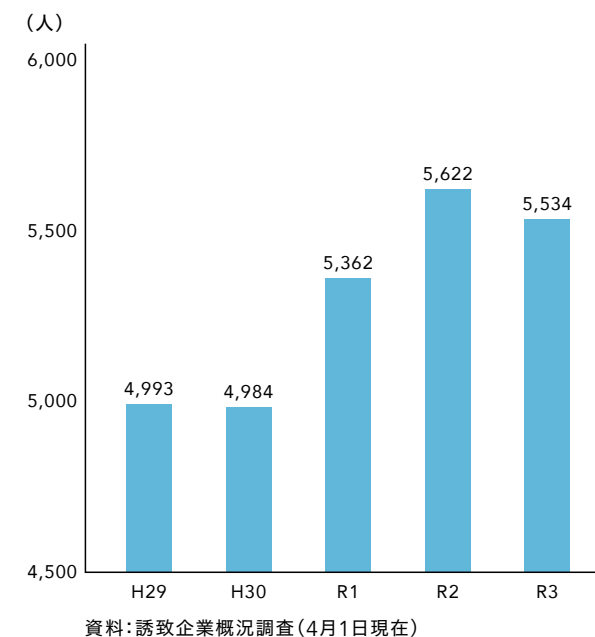
今後、企業において必要な人材確保が図られるとともに、求職者が自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けるよう、雇用・就業機会の拡大や職業能力の開発・向上を図るとともに、地元企業の認知度向上や情報発信力の強化を図り、若年層の地元定着や人材還流を推進する必要があります。

労働環境

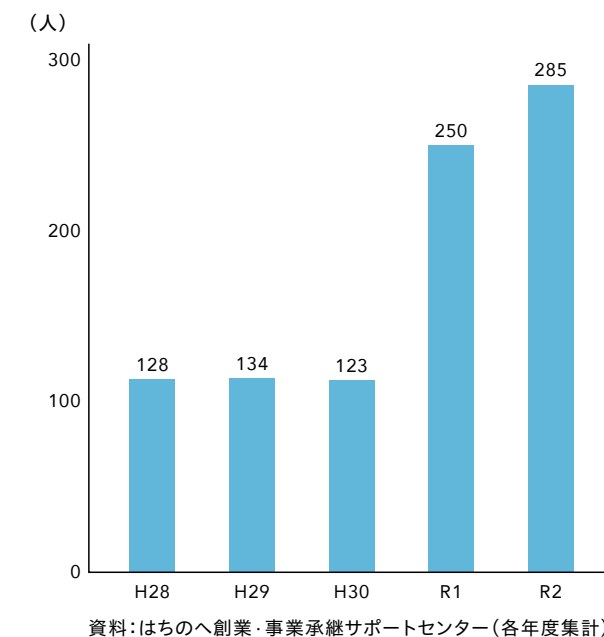
当市における青森県認証のあおり働き方改革推進企業数は、令和2(2020)年時点で28社となっており、長時間労働の是正や休暇取得の促進を図ることで仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する企業が年々増加しています。

勤労者が多様な働き方を選択でき、安心して快適に、かつ意欲的に働くことができるよう、労働環境の充実を図る必要があります。

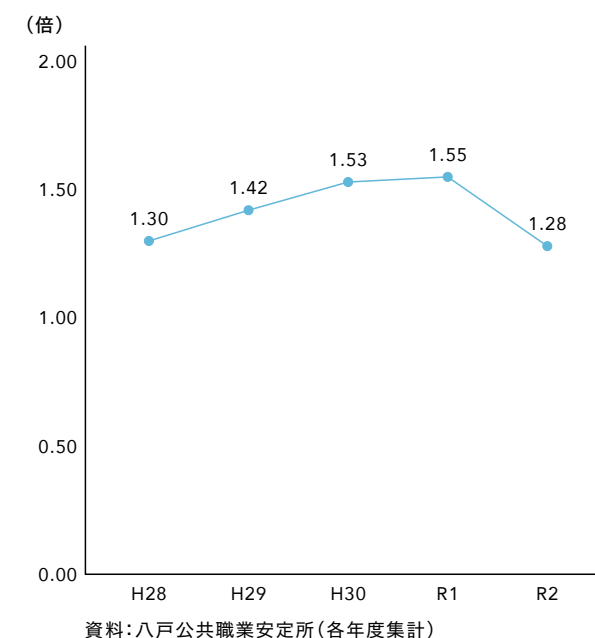
①誘致企業従業員数



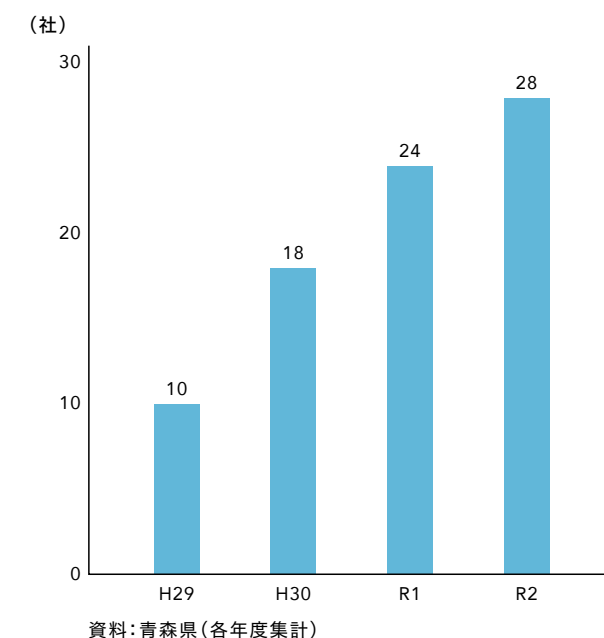
②はちのへ創業・事業承継サポートセンターでの創業相談者数



③有効求人倍率



④「あおり働き方改革推進企業」認証取得企業数(累計)



【有効求人倍率】仕事の数(有効求人数)に対する、仕事をしたい人の数(有効求職者数)の割合のこと。有効求人倍率が1より大きくなるほど、求人数が多く、働き手が足りないことを表し、1より小さくなるほど、求職者が多く、仕事探しが難しいことを表す。

未来予測

企業誘致の地域間競争の激化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、経営者の高齢化の進行や後継者不足により、中小企業・小規模事業者の廃業の増加が予想されることから、安定的な創業者の輩出と円滑な事業承継が図られるよう長期的に対処していく必要があります。

さらに、希望する就職先を求めて若年人口の転出超過が続くことが予想されることから、若年層の地元定着が図られるよう長期的に対処していく必要があります。

加えて、女性や高齢者、外国人、障がい者の労働市場への参入が進み、各事業所における働き方改革や生産性向上への関心の増大が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 1 企業誘致の推進

更なる産業の集積と、雇用機会の創出につながるよう、「企業誘致の推進」を図ります。

施策 2 中小企業・小規模事業者の振興

中小企業・小規模事業者の事業活動が安定して行われるよう、「中小企業・小規模事業者の振興」を図ります。

施策 3 創業環境の充実

地域経済の新たな担い手である創業者を継続的に輩出できるよう、「創業環境の充実」を図ります。

施策 4 雇用・就業の促進

企業において人材確保が図られ、求職者が自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けるよう、「雇用・就業の促進」を図ります。

施策 5 労働環境の充実

勤労者が多様で柔軟な働き方を選択でき、安心して快適に、かつ意欲的に働けるよう、「労働環境の充実」を図ります。

施策 1 企業誘致の推進

目指す姿

・企業の新規立地が進むとともに、立地企業の事業拡大や地元企業への取引拡大が積極的に図られ、多くの雇用が創出されている。

進行管理指標

- ・誘致認定件数
- ・誘致企業の従業員数
- ・新産業団地整備事業の進捗率

役割分担

事業者	・地方拠点の新規立地 ・積極的な地元雇用及び事業拡大の推進
行政機関 (八戸市)	・立地環境の魅力発信 ・産業基盤の整備 ・企業に対する立地支援の充実

施策の内容

成長産業などの集積に向けた立地環境のPRに取り組むとともに、新産業団地(八戸北インター第2工業団地)等の整備や企業のニーズに応じた立地支援を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

新産業団地基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	青森県産業立地促進費補助金	●工場等の新增設に係る設備投資に対して、最大20億円の補助
	青森県誘致企業本社機能移転促進費補助金	●県の誘致企業に対し、本県への本社機能の移転に要する経費を補助
	青森県IT・コンタクトセンター関連産業立地促進費補助金	●IT・コンタクトセンター関連企業に対して、回線使用料、オフィス賃借料等を補助

施策 2 中小企業・小規模事業者の振興

- 目指す姿
- ・中小企業・小規模事業者が、市場の環境の変化に意欲的に対応し、新たな分野への事業展開が行われている。
 - ・円滑な事業承継が図られ、中小企業・小規模事業者において安定した経営が行われている。

- 進行管理指標
- ・市内事業所数

役割分担

事業者	・社会や市場のニーズに対応した事業の展開 ・自社の強みを活かした経営の革新
産業支援機関	・中小企業への相談・支援
行政機関（八戸市）	・中小企業・小規模事業者への経営支援・事業承継支援

施策の内容

融資・保証・助成制度の充実を図るとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターでの事業承継支援や、コーディネーターによる相談対応、各種支援制度の情報提供体制の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 3 創業環境の充実

- 目指す姿
- ・新たな事業活動に意欲的に取り組む創業者が増えている。
- 進行管理指標
- ・はちのへ創業・事業承継サポートセンターを活用して創業した件数

役割分担

市民	・社会や市場のニーズに対応した事業の展開 ・経験を活かした創業への挑戦
産業支援機関	・創業に関する相談への対応 ・創業後のフォローアップ
金融機関	・創業に関する相談への対応・融資
高等教育機関	・新たな創業者を養成するための講座の開催
行政機関（八戸市）	・金融機関や産業支援機関との連携 ・相談体制の充実 ・創業者への資金支援

施策の内容

金融機関や産業支援機関との連携による切れ目のない支援体制を構築するとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターにおける相談体制や融資制度の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市創業支援等事業計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	「選ばれる青森」への挑戦資金	●県内中小企業者を支援する特別保証融資制度
	あおもり移住起業支援事業費補助金	●東京圏から県内に移住し、地域課題を解決する社会的事業を新たに創業した場合、創業に要する経費の一部を補助

【フォローアップ】ある事柄を達成するために、追跡調査をしたり継続して支援したりすること。

■関連する個別計画

中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画／青森県八戸圏域基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
中小企業庁	—	●補助金、融資、税制、相談体制の整備等
青森県	—	●融資制度の運用等

施策 4 雇用・就業の促進

目指す姿

・企業において必要な人材確保が図られている。
・首都圏等に転出することなく、自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けている。

進行管理指標

・八戸公共職業安定所管内の就職率

役割分担

市民	・自己の職業に対する適性の把握 ・自己の技術や能力の向上
事業者	・求める人材や職務内容などの情報発信 ・職業訓練や能力開発の充実
行政機関 (八戸市)	・雇用や就業支援の充実 ・職業訓練の充実 ・地元企業の魅力発信 ・UIJターン希望者への就職支援

施策の内容

雇用・就業機会の拡大や職業能力の開発・向上に取り組むとともに、地元定着・人材還流の促進を図ります。

関連するSDGsのゴール

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

10 人や国の不平等を
なくそう

17 パートナリシップで
目標を達成しよう

国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	各種雇用対策	●八戸公共職業安定所(ハローワーク八戸)を窓口とした各種雇用対策の実施
青森県	青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあおもり)運営・推進事業	●ジョブカフェあおもりサテライトスポット八戸の運営 ●若年者の職場定着率向上を図るためのセミナー開催に対する補助金交付(ジョブカフェあおもりからの負担金)

【UIJターン】一般に、Uターンとは地方出身者が再び出身地に移り住むこと、Iターンとは都市で生まれ育った者が地方に移り住むこと、Jターンとは地方出身者が出身地には戻らず、都市と出身地の間の地域に移り住むこと。

施策 5 労働環境の充実

目指す姿

・各事業所において、労働環境の改善及び福利厚生の実が図られている。
・勤労者が多様で柔軟な働き方を選択することができ、安心して快適に、かつ意欲的に働くことができている。

進行管理指標

・「あおもり働き方改革推進企業」認証取得企業数

役割分担

市民 (勤労者)	・働きやすい職場づくりの推進 ・福利厚生の実にに関する意識の高揚
事業者	・働きやすい職場づくりの推進 ・福利厚生の実
行政機関 (八戸市)	・働きやすい職場づくりの普及啓発 ・福利厚生の実への支援

施策の内容

勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の普及啓発を図るとともに、福利厚生の実に向けた取組を支援します。

関連するSDGsのゴール

3 すべての人に
健康と福祉を

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

10 人や国の不平等を
なくそう

17 パートナリシップで
目標を達成しよう

国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	働き方改革の推進	●働き方改革関連法のポイントを記載したリーフレットや、働き方改革支援ハンドブックの作成
青森県	働き方改革の推進	●働き方改革推進企業の認証や、働き方改革推進企業取組好事例集の作成

政策 3 「暮らし」を守る

環境 防災 防犯 健康

基本的な考え方

市民の暮らしは、豊かな自然環境に恵まれながら、常に予期せぬ災害や犯罪被害、感染症の流行といった脅威に直面する可能性がある中で営まれており、誰もが良好な環境のもとで健康で安全安心な暮らしを続けていくためには、恵まれた自然環境や衛生的な生活環境を維持しつつ不測の事態に適切に対処していくことが重要です。

これまで、当市では、空気や水を清浄に保ちながら、豊かな自然環境を将来の世代に引き継ぐことができるよう、環境保全の充実やごみ処理の適正化を図るとともに、地球温暖化対策を推進してきました。

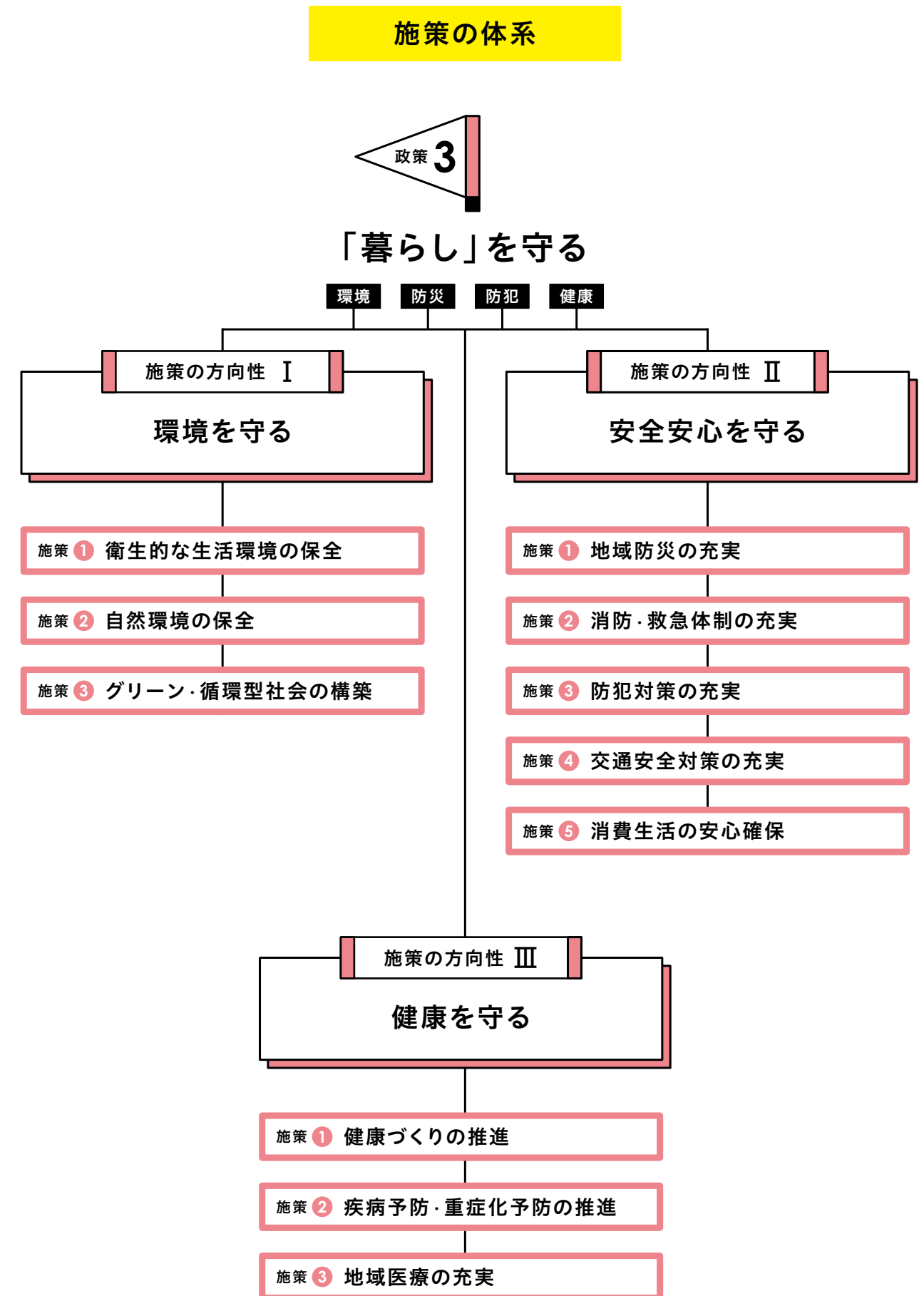
また、市民の生命や財産を予期せぬ災害や犯罪被害、事故などから守り、安全安心な生活を送ることができるよう、自助・共助・公助の連携のもと、地域防災体制の構築やハード・ソフト両面における防犯・交通安全対策を推進するとともに、消防・救急体制の確立や消費者支援の充実に取り組んできました。

加えて、市民が心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、市民の主体的な取組を促進しながら、地域の保健・医療機関と連携し、保健医療の充実に取り組んできました。

こうした中、近年の気候変動に対する国の動きを背景として、当市においても持続的な自然との共生を目指し、地球温暖化防止のための更なる対応が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の流行や、激甚化・多発化している風水害、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震など、今後起こり得る不測の事態から、市民の「暮らし」を守る必要があります。

このようなことから、当市では、衛生的な生活環境や自然環境の保全、グリーン・循環型社会の構築に取り組み、暮らしの環境を守るとともに、地域防災や消防・救急体制、防犯・交通安全対策の充実、消費生活の安心確保を図り、安全安心な暮らしを守ります。

さらに、健やかな暮らしを守るため、健康づくりや疾病予防・重症化予防を推進するとともに地域医療の充実を図ります。



【自助・共助・公助】生活保障には生命保険や家族間の援助などの「自助」、近隣の助け合いやNPO、生活協同組合や企業福祉などの「共助」、社会保障などの「公助」がある。

施策の方向性 I

環境を守る

概要

衛生的な生活環境や自然環境の保全、グリーン・循環型社会の構築を図り、暮らしの環境を守ります。

現状と課題

衛生的な生活環境

当市では、事業者による各種規制基準の遵守に向けた取組により、大気汚染や水質汚濁に関する環境基準の達成率が高い水準で維持されており、市内において良好な大気環境や水環境が保たれています。

また、これらの環境を維持するため、事業者への定期的な立入検査により、汚染物質の監視測定状況や法令基準の達成状況の調査及び指導を実施するとともに、市民や事業者への生活排水対策やごみの適正排出に対する意識啓発の強化に取り組んでいます。

今後も事業者へのきめ細かな指導の実施や環境保全に対する市民意識の醸成を図り、衛生的な生活環境を維持していく必要があります。

自然環境

当市には、国の名勝に指定されている種差海岸や国の天然記念物である蕪島のほか、森林や里山など美しい自然が豊富に残されています。

これらの自然は、先人から受け継いできた大切な資源であり、自然環境の保全と活用の均衡を図りながら次の世代に引き継ぐ必要があります。

こうした中、市内では「オオハングンソウ」や「アレチウリ」といった繁殖力が強く生態系への影響が大きい**特定外来生物**（植物）の侵入・定着や、海岸環境に影響を及ぼす海岸漂着物が確認されており、今後も美しく豊かな自然環境を維持し、次世代に継承していくことができるよう、特定外来生物の駆除や在来生物の保護、海洋環境の保全に取り組むとともに、市民が自然に触れ合う環境づくりを進める必要があります。

【特定外来生物】在来の生物を捕食したり、生態系に害を及ぼす可能性がある外来生物のうち、「特定外来生物防止法」で指定されたもののこと。

グリーン・循環型社会

当市では、省エネルギー及び**3R**（リデュース：排出抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用）の推進により、温室効果ガスの抑制を図り、地球温暖化の防止に取り組んでいます。

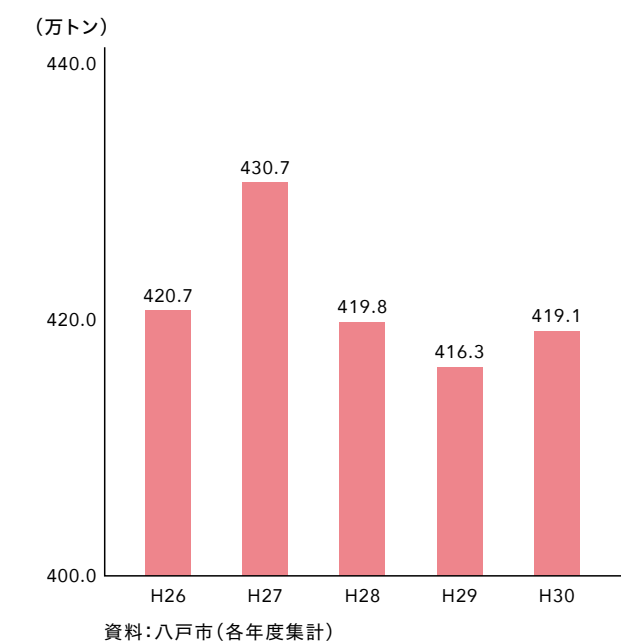
そのような中、国では、積極的に地球温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、今後の大きな成長につながるという考えのもと、令和2（2020）年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすることを目指すこととしており、当市においても、令和3（2021）年6月にカーボンニュートラルを目指すことを表明し、市民や事業者と一体となって地球温暖化対策の社会的要請に応えていくこととしています。

今後は、温室効果ガスの排出量の一層の抑制やリサイクル率の向上に向け、更なる**省エネルギー**の推進やごみ処理の適正化に取り組むとともに、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた国の動向を注視しながら、温室効果ガスの排出量縮減につながる**再生可能エネルギー**の活用促進や新たなエネルギーへの転換の推奨、新たな技術の開発支援など環境と経済が両立した循環型社会づくりを進める必要があります。

①一般廃棄物（行政関与分）の総排出量



②市内の二酸化炭素排出量



【3R】Reduce（リデュース・ごみの発生抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）の頭文字をとった言葉のこと。循環型社会を形成していくためのキーワードのひとつ。

【省エネルギー】石油・電力・ガスなどのエネルギーを効率的に使用し、その消費量を節約すること。

【再生可能エネルギー】太陽光・太陽熱・水力・風力・バイオマス・地熱など、資源として一度利用しても比較的短期間に再生し、枯渇しないエネルギーのこと。

未来予測

エネルギー資源の減少が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、気候変動による自然災害の増加や森林減少、自然地形の改変による生態系の破壊や景観の変化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 1 衛生的な生活環境の保全

市民生活が良好な環境の中で営まれるよう、「衛生的な生活環境の保全」を図ります。

施策 2 自然環境の保全

美しく豊かな自然環境を維持し、次世代に継承できるよう、「自然環境の保全」を図ります。

施策 3 グリーン・循環型社会の構築

地球温暖化対策の社会的要請に応えられるよう、「グリーン・循環型社会の構築」を図ります。



施策 1 衛生的な生活環境の保全

目指す姿

- ・大気環境や水環境が良好な状態に保たれている。
- ・環境保全に対する市民の意識が高まり、市民一人一人に環境に配慮した生活が定着している。
- ・家庭や事業所において排出されるごみが適正かつ安定的に処理されている。

進捗管理指標

- ・公共用水域の環境基準達成率
- ・一般環境大気環境基準達成率
- ・環境学習会の開催回数
- ・不法投棄パトロールの実施日数

役割分担

市民	・日常生活における環境への配慮 ・環境学習や体験の機会への参加 ・ごみの適正排出や減量化
関係団体	・環境学習や体験の機会の提供 ・地域清掃活動の企画や参加
事業者	・各種規制基準の遵守 ・従業員への環境教育 ・環境学習や教育の機会の提供 ・ごみの適正排出 ・ごみの減量化や適正処理
行政機関 (八戸市)	・環境保全対策の促進 ・環境保全意識の醸成 ・環境学習や体験の機会の提供 ・ごみ処理システムの適正化 ・ごみ適正排出に係る事業者への指導 ・不法投棄防止対策の推進

施策の内容

市民や事業者等の環境保全意識の向上に取り組むとともに、環境保全対策の充実を図ります。また、適正なごみ処理や不法投棄の防止を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市環境基本計画／新井田川河口水域生活排水対策推進計画／八戸市食品衛生監視指導計画
八戸市一般廃棄物処理基本計画／八戸市一般廃棄物処理実施計画／八戸市災害廃棄物処理計画

施策 2 自然環境の保全

- 目指す姿
- 美しく豊かな自然が維持され、市民が自然に触れ合う機会が数多く創出されている。
- 進行管理指標
- ・名勝種差海岸保護指導員によるパトロール回数

・外来生物の駆除実施日数

役割分担	
市民	・自然環境の保全や自然に触れ合う機会への参加
関係団体	・自然保護活動の推進
事業者	・自然環境に配慮した事業活動の展開 ・自然保護活動への参加や支援
行政機関 (八戸市)	・自然環境の調査及び適切な情報の提供 ・自然環境の保全 ・自然にふれあう機会の創出 ・海岸漂着物等の回収及び適正処理

施策の内容

自然保護団体や協力事業者との連携による自然保護活動を推進するとともに、市民が自然に触れ合える環境づくりに取り組みます。

関連するSDGsのゴール



施策 3 グリーン・循環型社会の構築

- 目指す姿
- ・市民や事業者、行政が主体的に省エネルギー対策に取り組むことでエネルギー利用の効率化が進んでいる。

・家庭や企業において再生可能エネルギーの活用が進んでいる。

・3Rの取組が徹底された生活様式や事業活動が定着している。

- 進行管理指標
- ・市内の二酸化炭素排出量

・リサイクル率

役割分担	
市民	・エネルギー問題への理解 ・省エネルギー製品の購入 ・省エネルギーの身近な取組 ・住宅への再生可能エネルギーの導入 ・公共交通の利用 ・エコドライブの実践 ・ごみの減量化とリサイクルの実践 ・食品ロスの削減
関係団体	・省エネルギーの普及啓発 ・リサイクルの推進
事業者	・事業活動におけるエネルギー管理の徹底 ・新技術の研究開発やエネルギー関連ビジネスの創造 ・再生可能エネルギーや熱利用設備の導入 ・環境・リサイクル事業の推進 ・ごみの減量化とリサイクルの実践 ・食品ロス削減の取組 ・簡易包装等発生抑制の推進
行政機関 (八戸市)	・環境に配慮した事業活動の促進 ・省エネルギーの普及啓発 ・省エネルギー活動への支援 ・行政活動のエネルギー管理の徹底 ・リサイクル企業の活用 ・3R活動の普及啓発

施策の内容

市民や事業者に対する省エネルギーの普及啓発や、再生可能エネルギーの導入に向けた意識啓発、家庭や事業所における3R活動の促進など温室効果ガスの排出量削減に向けた取組を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市環境基本計画／八戸市教育振興基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
環境省	三陸復興国立公園の管理運営	●自然環境及び風景の保全 ●標識を始めとした施設の整備 ●利用者への情報提供、サービスの充実
	種差海岸インフォメーションセンターの設置	●三陸復興国立公園 種差海岸階上岳地域を中心とした自然・文化の紹介・解説、自然や人と触れ合う体験プログラム、みちのく潮風トレイル等の情報提供

■関連する個別計画

八戸市環境基本計画／八戸市一般廃棄物処理基本計画／八戸市一般廃棄物処理実施計画／八戸市災害廃棄物処理計画
八戸市地球温暖化対策実行計画「区域施策編」及び「事務事業編」(うみねこプラン)

【エコドライブ】環境に配慮した自動車の使用のこと。具体的には、やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止める等をして燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素の排出量を減らす運転などがある。

【食品ロス】本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。

施策の方向性 II

安全安心を守る

概要

地域防災や消防・救急、防犯、交通安全対策の充実や、消費生活の安心確保を図り、安全安心な暮らしを守ります。

現状と課題

地域防災

当市では、東日本大震災の経験や教訓を活かし、創造的復興の実現に向け災害用物資の備蓄や自主防災組織への支援などに取り組み、災害に強いまちづくりを推進しています。

近年、自然災害が激甚化・多発化しており、東北地方においても豪雨による洪水で多くの人命が失われ、大きな被害が生じていることから、急傾斜地や農業用ため池における安全確保に向けた取組を進めています。

また、令和2(2020)年4月に内閣府において公表された日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルでは、当市における浸水域や津波高の一部が東日本大震災を上回る結果となっており、今後発生し得る巨大地震に対する津波防災対策が急務となっています。

激甚化する自然災害から市民の生命と財産を守るため、市民の防災意識の醸成や防災訓練の充実を図るとともに、防災体制や地域における防災力を強化する必要があります。

消防・救急体制

当市を含む8市町村で構成される八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部では、火災などの各種災害から住民の生命や身体、財産を守るため、消防・救急体制の充実に取り組んでいます。

今後、人口減少や高齢化の進行を背景として、消防団員の担い手不足による地域消防力の低下や、高齢者の増加に起因する救急需要の増大が見込まれることから、火災や事故といった緊急時に迅速かつ的確に対応するため、消防・救急体制を一層強化する必要があります。



防犯対策

当市では、地域や警察との連携による防犯体制の構築に取り組んでおり、令和2(2020)年の刑法犯認知件数は645件と、平成28年から5年間で約35%減少し、犯罪を起こしにくい環境づくりが進んでいます。

また、令和2(2020)年度から令和3(2021)年度にかけて市内全小中学校通学路における防犯カメラの設置促進を図り、地域の防犯力の更なる強化に取り組んでいます。

今後も市民が犯罪の少ない社会で安心して暮らすことができるよう、地域や警察との連携強化を図り、地域の防犯力を高める必要があります。

交通安全対策

当市では、地域や警察との連携による安全な交通環境の整備に取り組んでおり、令和2(2020)年の交通事故(人身事故)の発生件数は530件と、平成28年から5年間で約37%減少し、交通事故が発生しにくい環境づくりが進んでいます。

こうした中、全国的に高齢ドライバーによる交通事故や、[あおり運転](#)などの危険運転による事故が多発するとともに、通学路における児童の登下校時の交通事故が発生しており、当市においても安全な歩行空間の整備と更なる交通安全意識の醸成を図る必要があります。

今後も市民が交通事故の少ない社会で安全に暮らすことができるよう、地域や警察との連携強化を図り、地域の交通安全意識を醸成するとともに、交通事故の少ない環境づくりを進める必要があります。

消費生活

当市では、市民の消費生活における安心確保のため、啓発・広報活動による消費者意識の醸成や相談員の育成を図り、消費生活相談窓口の体制強化を進めています。

近年、[スマートフォン](#)の普及により、誰もが手軽にインターネットショッピングを楽しめるようになったことで、インターネット取引による詐欺被害に関する消費相談が全国的に増加するとともに、民法改正による令和4(2022)年度からの成年年齢引き下げに伴う若年者の消費者被害の増加が懸念されています。

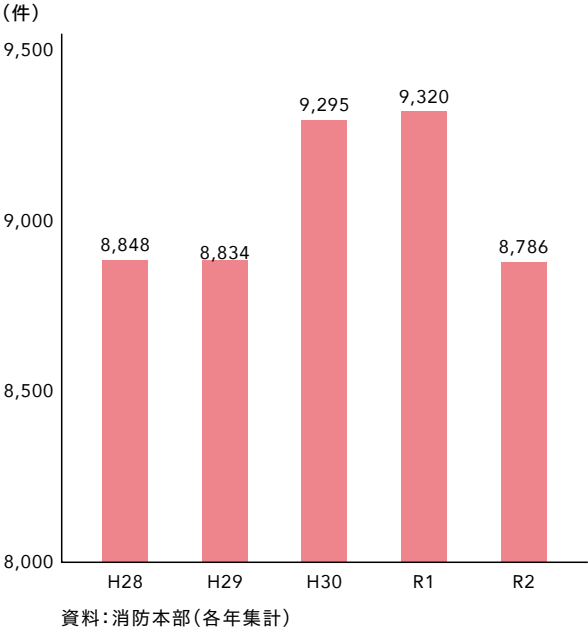
消費者トラブルが多様化する中においても、市民が消費者として自ら適切な判断を行い、安心して消費生活を送ることができるよう、[情報リテラシー](#)に関する消費者意識の向上を図るとともに、消費者トラブルに適切に対応できる環境づくりを進める必要があります。

【あおり運転】後方や左右から車間距離を極端に詰めたり、幅寄せをしたり、前方を走っているが突然急停止して故意に車両の運転を妨害するような危険な行為のこと。

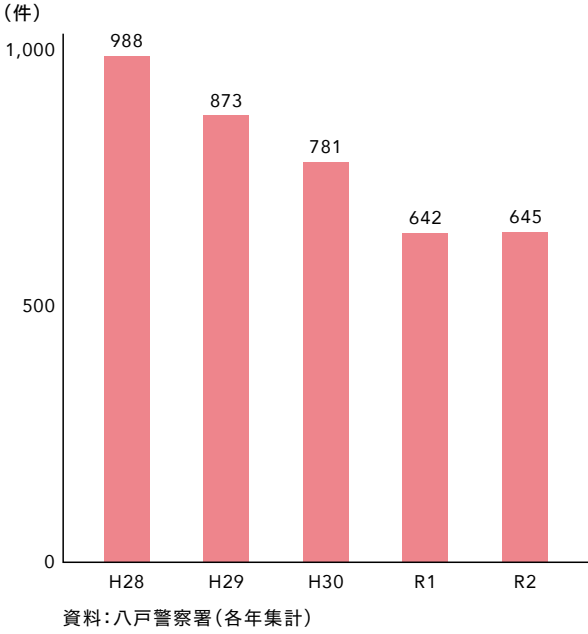
【スマートフォン】パソコン向けのウェブサイトや文書ファイルの表示、電話やメールの送受信ができる高機能な携帯電話機のこと。

【情報リテラシー】情報技術を使いこなす能力、または情報を読み解き活用する能力のこと。

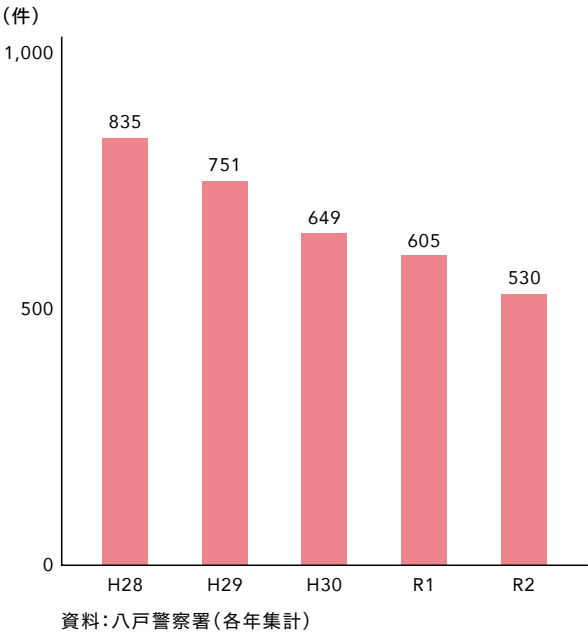
①救急出動件数



②刑法犯認知件数



③交通事故(人身事故)発生件数



④消費生活相談件数



未来予測

防災や防犯に関する地域活動の担い手の減少により、防災力・防犯力の低下が予想されることから、地域における防災力や防犯力の強化に向けて長期的に対処していく必要があります。

また、老年人口の増加により、救急出動件数の増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 地域防災の充実

激甚化する自然災害から市民の生命と財産を守るため、「地域防災の充実」を図ります。

施策 ② 消防・救急体制の充実

火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応するため、「消防・救急体制の充実」を図ります。

施策 ③ 防犯対策の充実

市民が犯罪の少ない社会で安心して暮らせるよう「防犯対策の充実」を図ります。

施策 ④ 交通安全対策の充実

市民が交通事故の少ない社会で安全に暮らせるよう、「交通安全対策の充実」を図ります。

施策 ⑤ 消費生活の安心確保

市民が消費者として自ら適切な判断を行えるよう、「消費生活の安心確保」を図ります。



施策 1 地域防災の充実

目指す姿 ・激甚化する災害に迅速かつ的確に対処できる体制が構築され、発災時において市民の生命と財産が守られている。

進管理指標 ・地区防災訓練の実施件数
・自主防災組織の活動カバー率
・災害時要援護者支援に関する協定締結数(累計)
・安全・安心情報発信サービス(ほっとスルメール)の登録件数

役割分担	
市民	・自主的な備えや避難行動の確認 ・地域防災活動への参加 ・生活の安定や災害復旧活動への協力
地域団体	・自主的な防災活動の実施
事業者	・防災訓練の実施 ・地域防災活動への協力や支援 ・災害復旧活動への協力や支援
行政機関 (八戸市)	・防災知識の普及啓発 ・防災訓練の実施 ・防災体制の充実 ・地域防災力の充実

施策の内容 市民の防災意識の醸成や、防災訓練の充実を図るとともに、ハードとソフト両面での防災体制の強化に取り組みます。また、自主防災組織の育成支援など地域における防災力の強化を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 2 消防・救急体制の充実

目指す姿 ・火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立している。
・市民や事業者に防火・救命に関する知識が浸透し、消防団への加入者が増え、地域において火災や事故に備えた体制が整っている。

進管理指標 ・耐震性防火水槽の設置数
・救命講習会の受講者数
・消防団員の充足率

役割分担	
市民	・防火教室や救命講習会への参加 ・住宅用火災警報器の設置 ・救急車の適正利用
事業者	・消防用設備の整備 ・避難訓練の実施 ・救命講習会への参加
行政機関 (八戸市)	・消防体制の整備 ・救急隊員の育成 ・防火知識の普及啓発 ・救急車の適正利用の促進 ・消防団との連携 ・消防団の機能強化 ・消防団への加入促進

施策の内容 ハードとソフト両面での消防・救急・救助体制の充実に取り組むとともに、市民や事業者の防火意識の醸成を図ります。また、消防団員の確保など消防団の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市地域防災計画／八戸市津波避難計画／八戸市国民保護計画／八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画
八戸市耐震改修促進計画／八戸市地域福祉計画／八戸市教育振興基本計画／八戸市次世代育成支援行動計画後期計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	防災基本計画の策定	●災害の未然防止、被害の軽減及び災害復旧のための諸施策等の基本的事項を定める。
青森県	青森県地域防災計画の策定	●地震・津波・風水害等の災害に対処するため、防災に関し必要な体制を確立するとともに、とるべき措置を定める。

■関連する個別計画

八戸市地域防災計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	防災基本計画の策定	●災害の未然防止、被害の軽減及び災害復旧のための諸施策等の基本的事項を定める。
青森県	青森県地域防災計画の策定	●地震・津波・風水害等の災害に対処するため、防災に関し必要な体制を確立するとともに、とるべき措置を定める。

施策 3 防犯対策の充実

目指す姿 ・犯罪が起こりにくい、犯罪を起こしにくい環境で安心して暮らすことができる。

進行管理指標 ・地域安全マップを作成した学校数

役割分担

市民	・自主防犯意識の高揚 ・地域防犯活動への参加
地域団体	・自主的な防犯対策の実施
事業者	・地域防犯活動への理解や協力
行政機関 (八戸市)	・関係機関や団体との連携 ・地域における防犯体制の構築

施策の内容 町内会や教育機関、事業者、警察、防犯関係団体との連携を強化するとともに、LED 防犯灯の設置促進など地域における防犯体制の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



【LED】発光ダイオード(Light Emitting Diode)の略で、電圧をかけた際に発光する半導体素子(電子部品)のこと。エネルギー効率と耐久性に優れている。

施策 4 交通安全対策の充実

目指す姿 ・交通ルールが遵守されるとともに、道路や歩道の安全対策が講じられ、交通事故の発生が抑制されている。

進行管理指標 ・交通安全教室等の開催件数
・青森県交通災害共済の加入率

役割分担

市民	・法令の遵守 ・交通マナーの向上 ・交通安全活動への参加
関係団体	・交通安全活動の実施
事業者	・法令の遵守 ・交通マナーの向上 ・安全運転管理の徹底 ・交通安全活動への参加
行政機関 (八戸市)	・交通安全意識の普及啓発 ・安全な交通環境の整備 ・交通事故による被災者の救済

施策の内容 市民及び事業者の交通安全に対する意識醸成を図るとともに、通学路における防護柵の設置など安全な交通環境づくりを進めます。

関連するSDGsのゴール



施策 5 消費生活の安心確保

目指す姿

- ・消費者トラブルに巻き込まれないよう、市民が消費者として適切に判断して生活している。
- ・万が一トラブルに見舞われても、すぐに相談し、必要な支援を受けられる環境が整っており、市民が安心して暮らすことができている。

進行管理指標

- ・消費者講座の受講者数
- ・消費生活相談件数

役割分担

市民	・消費生活に関する知識の習得 ・消費者トラブル時の相談窓口の利用
地域団体	・障がい者や高齢者等の見守り
事業者	・商品やサービスに関するわかりやすい情報の提供 ・消費生活に関する法令の遵守
行政機関 (八戸市)	・消費者意識の啓発 ・消費者相談の事例等を踏まえた注意喚起情報の発信 ・相談体制の強化 ・ 多重債務者 への支援

施策の内容

消費生活に関する情報提供や相談・支援体制の充実を図るとともに、生活再建の支援に取り組みます。

関連する
SDGs
のゴール



施策の方向性 III

健康を守る

概要

健康づくりや疾病予防・重症化予防の推進、地域医療の充実を図り、健やかな暮らしを守ります。

現状と課題

健康づくり

当市では、早世の減少と健康寿命の延伸を図るため、健康教室の開催による健康意識の醸成や、保健師や栄養士による健康相談を実施し、市民一人一人の健康教養（ヘルスリテラシー）の向上に向けた取組を推進しています。

健康教養は、健康情報や医療情報を適切に利用し活用するための力として、市民一人一人が健康的な生活習慣づくりに取り組むための重要な基礎となるものであり、今後も市民自らがそれぞれのライフステージに応じた健康づくりに取り組むことができるよう、健康意識の醸成と健康相談体制の充実を図る必要があります。

疾病予防・重症化予防

当市では、総合的な医療・健康対策の拠点として令和2(2020)年6月に供用開始した総合保健センター内に保健所を移転し、成人健康診査や胃がん検診などの健康診査・検診による疾病の早期発見と年代に応じた各種予防接種の実施による感染症のまん延防止に取り組み、健康の増進と公衆衛生の向上に努めています。

こうした中、疾病の早期治療に重要な役割を果たす各種健康診査・検診の受診率が低下傾向にあり、健康診査・検診の受診促進を図る取組を強化する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の発生は、医療のひっ迫を招き、本来受けられる医療を受けられなくなり、市民の健康や生活に多大な影響を与えることから、発生時において適切な措置を講じることができるよう、平時から情報収集や正しい知識の普及啓発、関係機関との連携強化に努めるとともに、検査体制の拡充を図り、感染症のまん延防止のための体制を整える必要があります。

【**多重債務者**】消費者金融やクレジットカード会社などの複数の貸金業者から借金をし、返済が困難になっている人のこと。

【**ヘルスリテラシー**】自分に合った健康情報を探して、理解し、評価したうえで使える力のこと。

地域医療

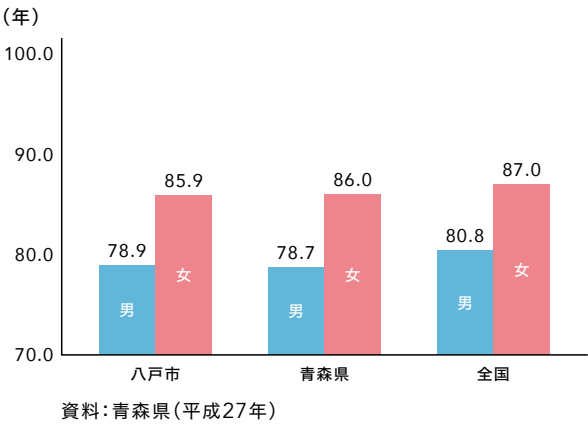
当市では、在宅当番医制や休日夜間急病診療所などの一次救急、病院群輪番制の二次救急、市民病院救命救急センターの三次救急からなる医療の提供や、市民病院におけるドクターヘリ及びドクターカーの運用により、必要な医療を速やかに提供できる救急医療体制を構築しています。

また、市民病院では、県南地域の産科不足に対応するため、平成26(2014)年4月に周産期センターにおける病床の増設を図るとともに、令和2(2020)年には、地域において質の高いがん医療を提供するため、緩和ケア病棟を整備し、総合的ながん対策を推進しています。

こうした中、当市の医師数は平成22(2010)年の515人から、平成30(2018)年には522人に増加し、人口10万人当たりの医師数は231.5人と、県平均の214.7人を上回っているものの、全国平均の258.8人を下回っています。

今後、高齢化の進行に伴い、医療ニーズの増加が見込まれる中、市民が住み慣れた地域で必要な時に必要な医療を受けられるよう、医療環境の更なる整備や医療従事者の確保を図る必要があります。

①平均寿命

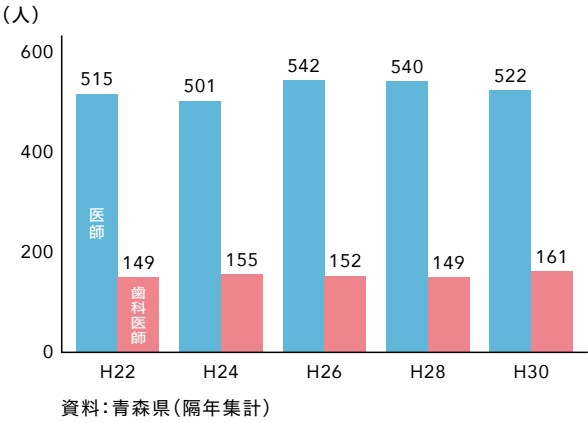


②各種がん検診受診率

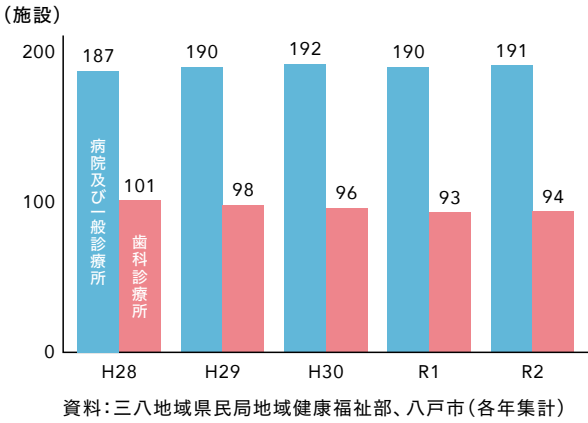
区分	H30	R1	R2
胃がん	13.4%	12.7%	11.5%
肺がん	8.6%	8.0%	6.7%
大腸がん	8.7%	8.1%	7.0%

※当市で実施している40歳以上を対象としたがん検診
資料：八戸市(各年度集計)

③医師・歯科医師数



④医療機関数



【ドクターヘリ】救急専用の医療機器を搭載し、医師・看護師が乗り込んで患者のもとに急行し、病院などに搬送する間に救命医療を施すことのできる救急ヘリコプターのこと。

【ドクターカー】早期治療を必要とする救急患者のもとへ、医師等を迅速に届け、救命医療を施すための緊急自動車のこと。

【緩和ケア病棟】がん患者の病気に伴う体と心のつらさなど様々な苦痛・苦悩をやわらげ、患者がその人らしく過ごせるようにする専門的病棟のこと。

未来予測

医療技術の進歩により、平均寿命の延伸が予測されることから、各年代に応じた支援の充実を図るなど、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、高齢化の進行により、循環器系・呼吸器系疾患の医療ニーズの増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 健康づくりの推進

早世が減少し、健康寿命が延伸されるよう、「健康づくりの推進」を図ります。

施策 ② 疾病予防・重症化予防の推進

疾病の早期発見や早期治療、感染症のまん延を防止するため、「疾病予防・重症化予防の推進」を図ります。

施策 ③ 地域医療の充実

市民が必要な時に必要な医療を受けられるよう、「地域医療の充実」を図ります。



施策 1 健康づくりの推進

- 目指す姿
- 市民の健康意識が向上し、市民自らがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、早世が減少し、健康寿命が延伸している。
- 進行管理指標
- 市民健康づくり講座のアンケート結果（「講座内容が自分の生活に活かせる」と答えた人の割合）

運動習慣者の割合

各種がん検診の受診率

役割分担

市民	<div>健康づくりに対する意識の向上</div> <div>年代に応じた望ましい生活習慣の確立</div>
関係団体	<div>健康まつり等のイベントへの参加</div>
保健・医療機関	<div>健康に対する意識の啓発</div> <div>健康づくりの指導や助言</div>
行政機関（八戸市）	<div>健康に関する情報の発信</div> <div>健康相談の実施</div> <div>健康づくりに関する地域団体との連携及び活動支援</div>

施策の内容

市民の健康意識の醸成や健康相談体制の充実を図るとともに、市民の健康づくり活動の支援に取り組みます。

関連するSDGsのゴール



施策 2 疾病予防・重症化予防の推進

- 目指す姿
- がんや生活習慣病、感染症などの疾病予防・重症化予防が図られ、早期の治療、感染症のまん延防止につながっている。
- 進行管理指標
- 各種がん検診精密検査の受診率

国保特定健康診査の受診率

役割分担

市民	<div>年代に応じた望ましい生活習慣の確立</div> <div>健康診査・検診を通じた健康管理の実践</div>
保健・医療機関	<div>健康診査・検診及び予防接種の情報提供</div> <div>疾病の早期発見や早期治療</div>
事業者	<div>被雇用者の健康診査受診の促進</div>
行政機関（八戸市）	<div>健康診査・検診の実施及び受診促進</div> <div>各種予防接種の実施及び受診促進</div> <div>感染症のまん延防止体制の整備</div>

施策の内容

健康診査・検診や各年代に応じた各種予防接種を実施するとともに、市民に対する受診促進を図ります。また、国や県、関係機関との連携により、感染症のまん延防止体制の強化を図ります。



■関連する個別計画

八戸市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画／新型コロナウイルス感染症等対策八戸市行動計画

■関連する個別計画

八戸市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画／八戸市健康増進計画第2次健康はちのへ21改訂版／いのちを支える八戸市自殺対策計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国	自殺対策緊急強化事業	●市が行うところの健康づくり事業に対して交付金を補助
青森県	健康増進保健事業	●市が行う健康教室や訪問保健指導事業に対して補助金を交付

関連するSDGsのゴール



施策 3 地域医療の充実

- 目指す姿
- 高度な医療体制の構築が図られ、市民が必要な時に必要な医療を受けられる環境が確保されている。
- 進行管理指標
- 人口10万当たりの医師数・歯科医師数
ドクターヘリ・ドクターカーの出動件数

役割分担

市民	・日頃からの適切な健康管理の実践 ・適切な医療機関の利用 ・献血やドナー登録の協力
医療機関	・適切な医療の提供
行政機関 (八戸市)	・地域医療体制の整備 ・市民病院における高度医療の充実

施策の内容

医療従事者の確保や医療環境の整備、ドクターヘリやドクターカーの効果的な運用による地域医療体制及び救急医療体制の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	ドクターヘリの運航	●青森県立中央病院及び八戸市立市民病院において、医師や看護師が搭乗するドクターヘリを運航し、救命率の向上を図る。

【ドナー】臓器移植において臓器を提供する人のこと。

政策 4 「ともに生きる社会」をつくる

福祉 コミュニティ 多文化共生

基本的な考え方

地域社会は、年齢や性別、国籍の違い、障がいの有無など、多様な人々の集まりで構成されており、誰もが自分らしく暮らしていくためには、相互の理解や受容に加え、地域での支え合いや充実した社会保障制度により、「ともに生きる社会」を構築していくことが重要です。

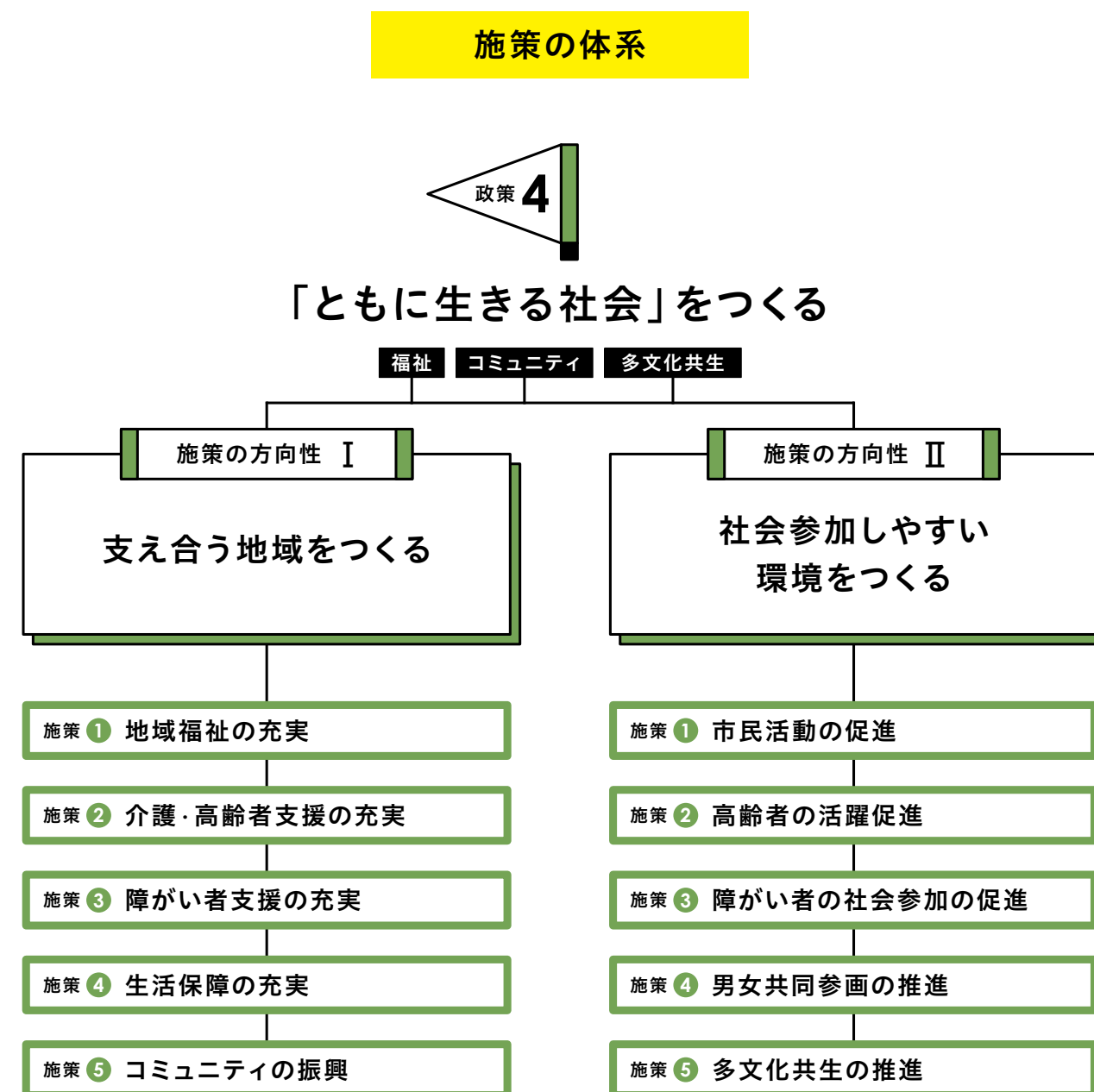
これまで、本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、地域福祉や高齢者・障がい者の自立支援や社会保障の充実を図るとともに、地域コミュニティの振興に取り組んできました。

また、市民自らが主体となって個性豊かな地域づくりを進めることができるよう、市民活動の促進を図るとともに、高齢者や障がい者が生涯にわたって生きがいのある生活を送ることができるよう、社会参加のための環境づくりを進めてきました。

さらに、誰もが性別にかかわらず、自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができるよう、男女共同参画を推進するとともに、外国人住民が地域社会で快適に暮らしていけるよう、地域における異文化理解の促進に取り組んできました。

こうした中、国では、近年の高齢化や人口減少の進行、核家族化の進展を背景に、社会とのつながりや住民同士の関係の希薄化が進む中で、高齢者や障がい者などあらゆる人々が生きがいを持って自分らしく共に暮らし続けることができるよう、人と人、人と社会がつながり支え合う社会の実現を目指しており、本市においても、地域で暮らす人々は誰もが支え・支えられるものという考えのもと、全ての市民が支え合いながら自分らしく活躍できる地域社会をつくる必要があります。

このようなことから、本市では、地域福祉や介護・高齢者支援、障がい者支援、生活保障の充実やコミュニティの振興を図り、地域全体で支え合う地域づくりに取り組むとともに、誰もが社会参加しやすい環境をつくるため、市民活動の促進や高齢者の活躍促進、障がい者の社会参加の促進、男女共同参画や多文化共生の推進を図ります。



施策の方向性 I

支え合う地域をつくる

概要

地域福祉や介護・高齢者支援、障がい者支援、生活保障の充実や、コミュニティの振興を図り、地域全体で支え合う地域をつくります。

現状と課題

地域福祉

当市では、人口減少や少子高齢化の進行、核家族化の進展など地域社会を取り巻く環境が変化する中、八戸市地域福祉計画を策定し、本計画に基づき地域住民や福祉サービス事業者と連携・協働を図りながら、全ての市民が安心して暮らせる地域社会を構築する地域福祉の取組を進めています。

今後も、全ての市民が安心して自立した生活を送ることができるよう地域福祉の充実を図る必要があります。

介護・高齢者支援

当市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、住まい、医療、介護、介護予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを運用するとともに、市内12の日常生活圏域に保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職を配置した高齢者支援センター（委託型地域包括支援センター）を設置し、地域に密着したネットワークによるきめ細やかな高齢者支援に取り組んでいます。

また、令和2(2020)年度には、介護・認知症予防を推進するための総合的な拠点として介護予防センターを設置し、高齢者が主体的に介護・認知症予防に取り組むことができるよう普及啓発を図るとともに、高齢者を介護する家族への介護に関する知識習得の支援に取り組んでいます。

さらに、要介護状態となった場合においても地域において自立した日常生活を営むことができるよう切れ目のない在宅医療と介護サービスを提供するための体制を構築するとともに、事業者への指導監督による介護保険制度の適正な運営や介護人材の確保及び育成支援に取り組んでいます。

【地域包括ケアシステム】 重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム（体制）のこと。

今後も高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護・認知症予防を総合的に推進するとともに、医療・介護の連携の推進や介護サービスの充実、担い手の確保及び資質の向上を図り、高齢者を地域全体で支える体制を整備する必要があります。

障がい者支援

当市では、障がい者の日常生活を総合的に支援するため、八戸市障害福祉計画を策定し、利用者の視点に立った障害福祉サービスの提供や障がい者の自立に向けた生活支援を計画的に推進しています。

また、平成29(2017)年1月の中核市移行後は、県から移譲された身体障害者手帳の認定・交付事務や障害福祉サービス事業者の指定・指導監査事務を実施することにより、障がい者福祉の更なる充実に取り組んでいます。

今後も、障がい者が身近な地域で自らの望む生活を送ることができるよう、障がいの特性に応じた福祉サービスの提供や障がい者のニーズに対応した日常生活の支援に取り組む必要があります。

生活保障

当市では、高齢者や障がい者を社会全体で支える国民年金制度の安定的な運営を図るため、日本年金機構八戸年金事務所との連携により保険料の納付率向上に向けた取組を推進しています。

当市の国民年金保険料の納付率は、平成28(2016)年の64.92%から令和2(2020)年には74.04%と年々上昇傾向にありますが、更なる納付率の向上を目指し、納付対象者に対する国民年金制度の周知・啓発を強化し、一層の理解促進を図る必要があります。

また、当市の生活保護世帯数は、平成30(2018)年以降緩やかな減少傾向にありますが、その数は新型コロナウイルス感染症の流行をはじめ、社会経済情勢の変化の影響を受けるものであり、どのような状況下においても生活困窮世帯が自立した生活を送ることができるよう、適正な生活支援と自立支援の強化に取り組む必要があります。

コミュニティ

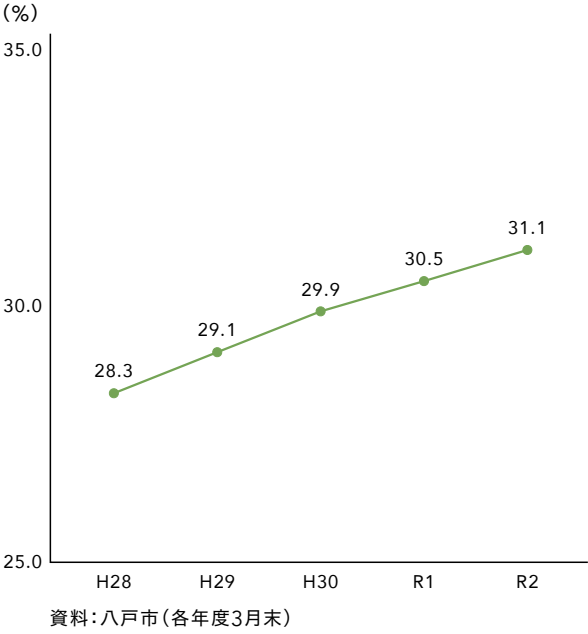
当市では、地域コミュニティと行政の協働により、多様化する地域課題の解決や個性豊かな住み良い地域づくりを推進しています。

地域コミュニティの中心的な団体である町内会・自治会は、住民同士のつながりを基に、防犯や防災、交通安全、環境美化、高齢者の見守り、子育て支援などの幅広い活動に取り組んでおり、市は、地域担当職員の配置や町内会振興交付金により活動を支援するとともに、八戸市連合町内会連絡協議会と連携して町内会・自治会への加入促進や組織強化に向けた取組を推進しています。

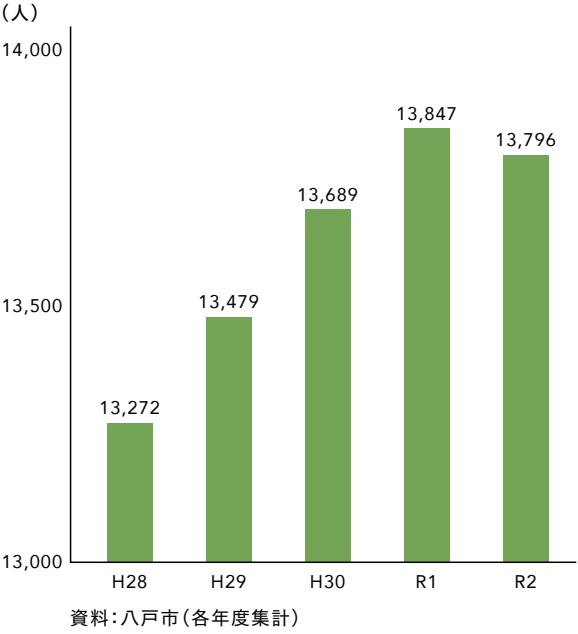
そのような中、町内会加入率（国勢調査推計世帯数ベース）は平成28(2016)年の63.8%から令和2(2020)年は61.2%と年々減少しているほか、役員の高齢化やなり手不足といった課題もあり、組織の解散や活動の鈍化が懸念されます。

誰もが安全安心で快適に暮らせる地域づくりを進めるため、町内会・自治会の基盤強化に引き続き取り組むとともに、地域コミュニティ活動の一層の促進を図る必要があります。

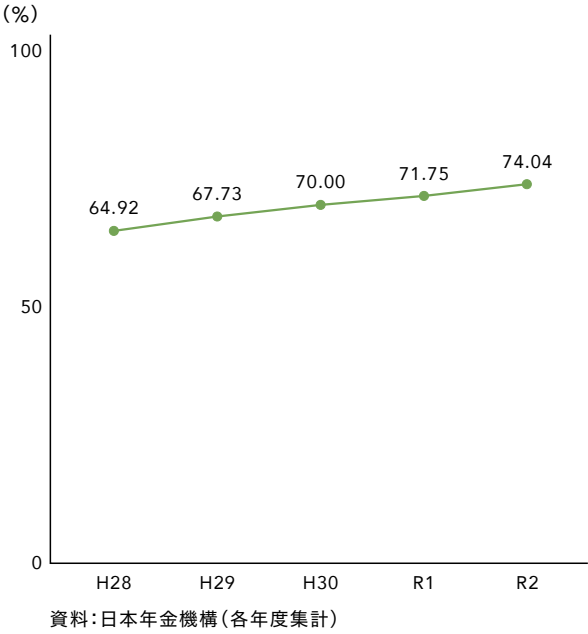
①高齢化率



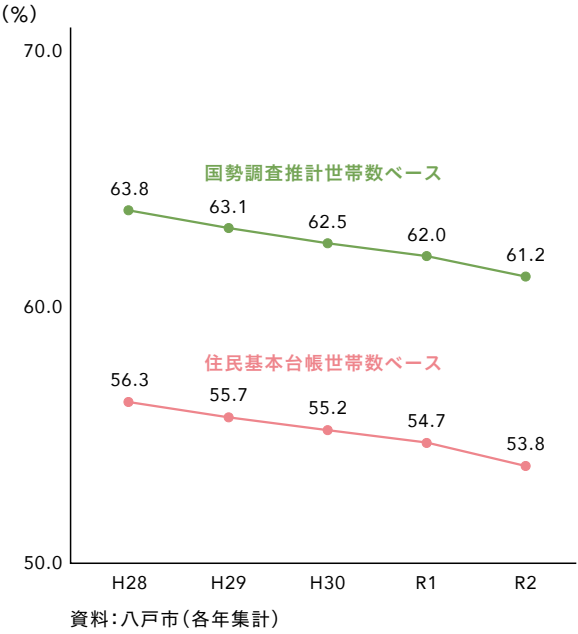
②障害者手帳所持者数



③国民年金保険料の納付率



④町内会加入世帯率



未来予測

高齢化率の上昇傾向が続くことが予想されることから、高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らすことができるよう長期的に対処していく必要があります。

また、担い手の減少により町内会・自治会活動の縮小が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 地域福祉の充実

全ての市民が安心して自立した生活を送れるよう、「地域福祉の充実」を図ります。

施策 ② 介護・高齢者支援の充実

高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「介護・高齢者支援の充実」を図ります。

施策 ③ 障がい者支援の充実

障がい者が身近な地域で自らの望む生活を送れるよう、「障がい者支援の充実」を図ります。

施策 ④ 生活保障の充実

高齢者や障がい者が安定した生活を送れるとともに、生活困窮世帯が自立した生活を送れるよう、「生活保障の充実」を図ります。

施策 ⑤ コミュニティの振興

地域住民が相互に協力し、安全安心で個性豊かな住み良い地域づくりが進められるよう、「コミュニティの振興」を図ります。



施策 1 地域福祉の充実

- 目指す姿
- 全ての市民が相手に対するいたわりの気持ちを持ちながら、安心して自立した生活ができており、地域における福祉活動が活発に行われている。
- 進行管理指標
- 地域の安心・安全見守り事業の協力事業者数
ほのぼのコミュニティ21推進事業におけるほのぼの交流協力員数

役割分担

市民	・地域福祉への理解 ・地域福祉活動への参加・協力 ・住民同士の日頃からの助け合いや支え合いの実践
社会福祉協議会	・地域福祉活動の推進 ・行政機関との連絡調整
民生委員 児童委員協議会	・民生委員・児童委員の活動への支援 ・行政機関との連絡調整
事業者	・地域の見守り活動の実施
行政機関 (八戸市)	・地域の見守り体制の整備や充実 ・福祉意識の高揚

施策の内容

地域の見守り活動を促進するとともに、地域福祉の担い手の育成・支援や地域福祉に関する市民意識の醸成を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 2 介護・高齢者支援の充実

- 目指す姿
- 高齢者やその家族が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができている。
- 進行管理指標
- 認知症サポーター養成講座の受講者数
要介護認定率
青森県介護サービス事業所認証評価制度における認証法人数

役割分担

市民	・健康保持や介護予防の取組 ・機能回復への取組 ・介護保険制度への理解 ・介護サービスの利用
地域団体	・地域における介護予防活動の充実
事業者	・介護サービスの提供 ・研修や情報交換によるサービスの質の向上
行政機関 (八戸市)	・適切なケアマネジメントの推進 ・介護・認知症予防の推進 ・医療・介護の連携体制の構築 ・介護サービスの充実 ・介護人材の確保・育成支援 ・指導監督や介護保険制度の周知・啓発 ・権利擁護の推進

施策の内容

地域包括ケアシステムの強化を図るとともに、高齢者の介護・認知症予防や権利擁護を推進します。また、医療・介護の連携を推進するとともに、地域の実情に応じた介護サービスの充実や介護保険制度の適正な運営、介護人材の確保及び育成支援に取り組みます。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画／八戸市高齢者福祉計画／八戸市男女共同参画基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	介護予防活動普及展開事業	●生涯現役社会を実現するため、先行的な市町村で取り組んでいる効果的な介護予防の仕組みを全国展開する。
	各種事業への交付金交付	●介護予防・日常生活支援総合事業等の実施に係る交付金を交付する。
青森県	各種事業への交付金交付	●介護予防・日常生活支援総合事業等の実施に係る交付金を交付する。
	介護サービス事業所認証評価制度	●介護人材の確保・育成と介護サービスの質の向上に積極的に取り組む介護サービス事業者を認証し、公表する。

【ケアマネジメント】保健・医療・福祉の専門家や機関が相互に協力し合い、高齢者一人一人のニーズに対応し、各種サービスを調整して適切で効果的なケアを提供する一連の援助のこと。

■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	各種事業への補助金交付	●市の地域福祉事業への補助金交付
青森県	「支え合い・共に生きる」地域の実現に向けた保健・医療・福祉推進事業	●「青森県型地域共生社会」の実現に向けた取組を実施

【地域福祉活動】それぞれの地域において人々が安心して暮らせるように、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むこと。

【民生委員】厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進に努める人のこと。

【児童委員】地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を行う人のこと。

施策 3 障がい者支援の充実

- 目指す姿
- 障がい者が身近な地域で必要な支援を受けながら、自らの望む生活を送ることができている。
- 進行管理指標
- 障害福祉サービスの利用者数

障害者手帳の所持者数

役割分担	
事業者	<div>障害福祉サービスの提供</div> <div>障害福祉サービス提供に従事する人材の育成</div>
行政機関 (八戸市)	<div>障害福祉サービスの充実</div> <div>障がい者の日常生活支援</div> <div>障がい者の権利擁護への支援</div>

施策の内容

障がいの特性に応じた福祉サービスを提供するとともに、障がい者が安心して暮らせる環境づくりや障がい者の権利擁護を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市障害者計画／八戸市障害福祉計画／八戸市次世代育成支援行動計画後期計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	障害者自立支援給付費等負担金	●市の障がい福祉事業に対する、補助金・負担金の交付
	地域生活支援事業	
青森県	障害者自立支援給付費等負担金	●市の障がい福祉事業に対する、補助金・負担金の交付
	地域生活支援事業	

施策 4 生活保障の充実

- 目指す姿
- 年金の受給権が確保され、高齢者や障がい者が経済的に安定した生活を送っている。

生活困窮世帯が自立した生活を送ることができている。
- 進行管理指標
- 国民年金保険料の納付率

生活困窮者を対象とした就労支援を受けた就労者数

役割分担	
市民	<div>国民年金制度への理解</div> <div>国民年金保険料の納付</div> <div>就労の努力</div>
事業者	<div>雇用の拡大</div>
行政機関 (八戸市)	<div>国民年金制度の普及啓発</div> <div>生活支援の適正な実施</div> <div>生活困窮者への就労支援</div>

施策の内容

国民年金制度の理解促進を図るとともに、生活保護制度の適正な実施や生活困窮者を対象とした自立支援を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	生活保護制度	●生活に困窮する人に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。
	生活困窮者自立支援制度	●生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行うための所要の措置を講ずる。
	各種事業への交付金交付	●法令による国民年金事務のほか、市の年金制度周知等の実施に係る交付金を交付する。

施策 5 コミュニティの振興

目指す姿

- ・多くの市民が、町内会・自治会の活動に参加し、安定した組織運営基盤が構築されている。
- ・地域コミュニティ活動が活発化し、安全安心で個性豊かな住み良い地域づくりが進められている。

進行管理指標

- ・市窓口での町内会加入取次ぎ件数

役割分担

市民	・町内会・自治会活動への参画 ・地域コミュニティ活動への参画
町内会・自治会	・町内会・自治会未加入者への加入促進活動 ・町内会活動の企画・実践
地域コミュニティ団体 ◎自主防災組織 ◎子ども会 ◎老人クラブ 等	・地域コミュニティ活動の企画・実践
八戸市 連合町内会 連絡協議会	・全市的な町内会・自治会への加入促進活動 ・町内会・自治会の組織強化と活性化策の検討・実施
NPO ボランティア 企業	・地域コミュニティ活動への参画・協力
行政機関 (八戸市)	・町内会・自治会活動に関する情報の発信 ・地域コミュニティ活動に関する情報の発信 ・地域コミュニティ活動への支援 ・町内会等の基盤強化への支援

施策の内容

市民の地域コミュニティ活動に関する意識醸成や地域コミュニティ活動の促進を図ります。また、八戸市連合町内会連絡協議会との連携による町内会・自治会への加入促進や組織強化に向けた取組を推進します。

関連するSDGsのゴール



施策の方向性 II

社会参加しやすい環境をつくる

概要

市民活動の促進や高齢者の活躍促進、障がい者の社会参加の促進、男女共同参画や多文化共生の推進を図り、年齢、性別、国籍の違いや障がいの有無などに関係なく地域社会に参加しやすい環境をつくります。

現状と課題

市民活動

当市では、市民主体のまちづくりの実現を目指して、平成17(2005)年度に八戸市協働のまちづくり基本条例を施行し、市民、事業者、行政がそれぞれの立場を尊重しながら適切な役割分担のもとに協力してまちづくりに取り組む協働のまちづくりを推進しており、研修会やSNS等の発信により市民活動への関心や協働意識の醸成を図るとともに、「元気な八戸づくり」市民奨励金制度や市民活動サポートセンター「わいぐ」の運営、住民活動保険制度等により、市民の自主的・自発的な活動を支援しています。

また、次代のまちづくりの担い手となる大学生・高校生等に対する人材育成や災害時におけるボランティア活動の支援体制整備も進めています。

市民活動やボランティア活動は、市民主体のまちづくりの大きな原動力であり、更なる促進と活性化に取り組む必要があります。

高齢者の活躍

当市では、高齢者が地域の中で生き生きとした生活を送ることができるよう、社会参加への支援を通じて高齢者の生きがいを推進しています。

こうした中、核家族化や住民相互のつながりの希薄化を背景として、高齢者が閉じこもりがちになり地域の中で孤立することが懸念されており、高齢者が地域社会と関わることで健康的な生活を送ることができる環境を構築することが重要です。

■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画／八戸市男女共同参画基本計画

[SNS] ソーシャル・ネットワーキング・サービス(Social Networking Service)の略で、人と人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型のウェブサイトのこと。

今後も、高齢者が自らの知識と経験を活かして、生きがいを感じながら生き生きと生活できるよう、高齢者の活躍を促進する環境づくりを進めるとともに、地域社会への参加促進を図る必要があります。

障がい者の社会参加

当市では、障がい者の社会参加を促進するため、障がい及び障がい者への理解の促進を図るとともに、外出支援や就労支援に取り組み、社会参加しやすい環境整備を進めています。

そのような中、国では、障がいの有無に関係なく、希望や能力に応じて誰もが職業を通じた社会参加のできる共生社会の実現を目指し、令和3(2021)年3月より全ての事業主の義務である障がい者の法定雇用率を引き上げ、障害者雇用の一層の促進を図ることとしており、当市においても障がい者の就業機会の拡大によるニーズの多様化に対応していくことが重要です。

障がい者が、個性や能力を十分に発揮し、社会の中で活躍することができるよう、障がい及び障がい者についての市民や事業者の理解促進を図るとともに、障がい者の多様なニーズに対応した社会参加しやすい環境づくりや就労支援の充実に取り組む必要があります。

男女共同参画

当市では、性別にかかわらず個人として尊重され、自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができる男女共同参画社会の実現に向け、八戸市男女共同参画基本計画を策定し、本計画に基づいて意識づくりや男女がともに活躍する社会づくりを推進しています。

これまでの取組により、男女共同参画の理念の浸透や意識の醸成は着実に進んできていますが、長い年月をかけて形作られてきた慣習やしきたり、固定観念を変革することは容易ではなく、性別による役割分担意識は根強く残っています。

また、事業所の指導的地位に占める女性の割合も依然として低く、更なる女性活躍の推進が必要です。

男女が対等なパートナーとして職種や役割等を決めつけられることなく、自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができるよう、男女共同参画の一層の推進が必要です。

多文化共生

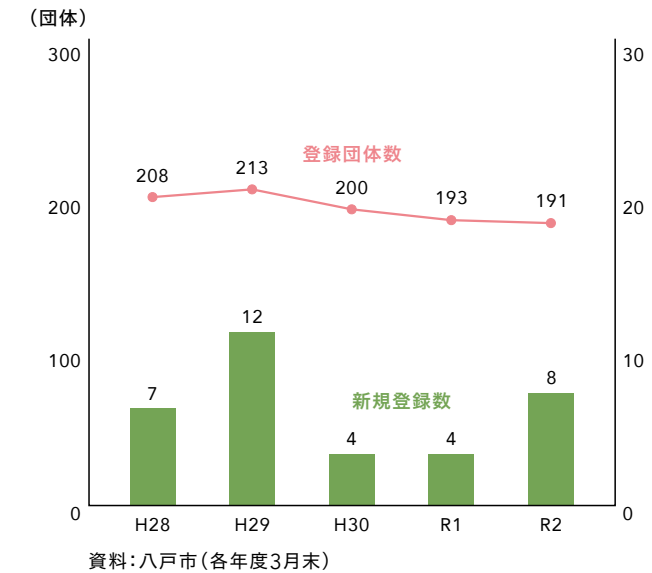
当市では、全ての住民が国籍にかかわらず互いの文化・習慣等を尊重し合いながら、共に暮らせるまちづくりを推進しています。

そのような中、住民基本台帳に登録された外国人住民の数が平成28(2016)年度の962人から令和2(2020)年度には1,168人と年々増加傾向にあります。

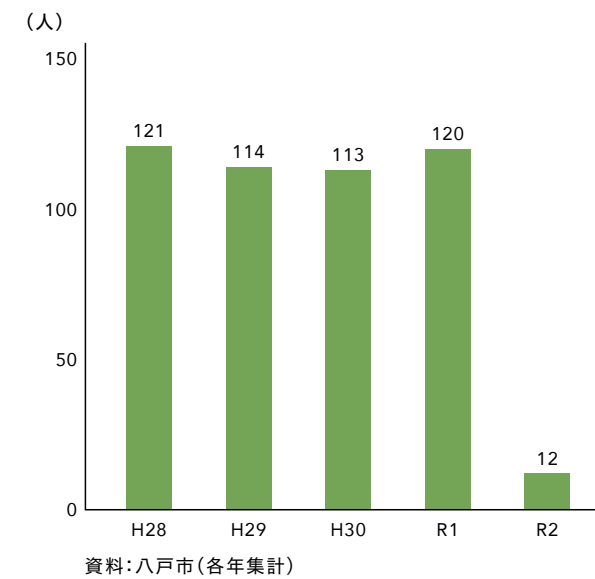
また、国では、近年の中小企業・小規模事業者の深刻な人手不足を背景として平成31(2019)年4月に出入国管理及び難民認定法を改正し、新たな在留資格を創設しており、地域で暮らす外国人住民が更に増えることが想定されます。

今後も外国人住民が安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、地域において外国の文化や習慣に対する理解促進を図る必要があります。

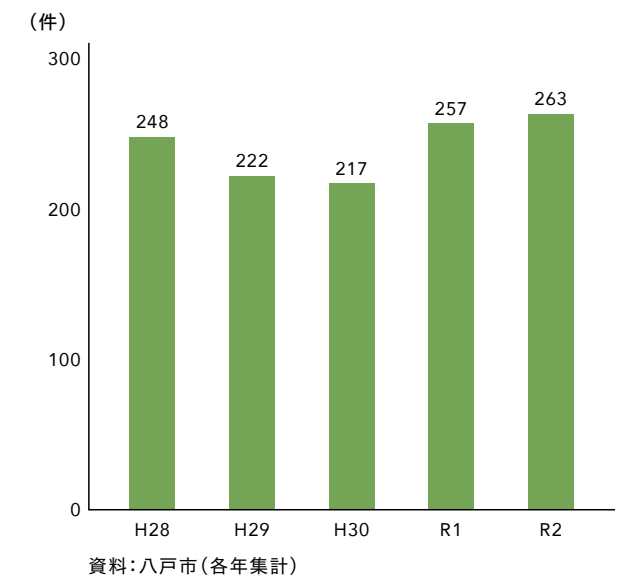
①市民活動サポートセンター登録団体数



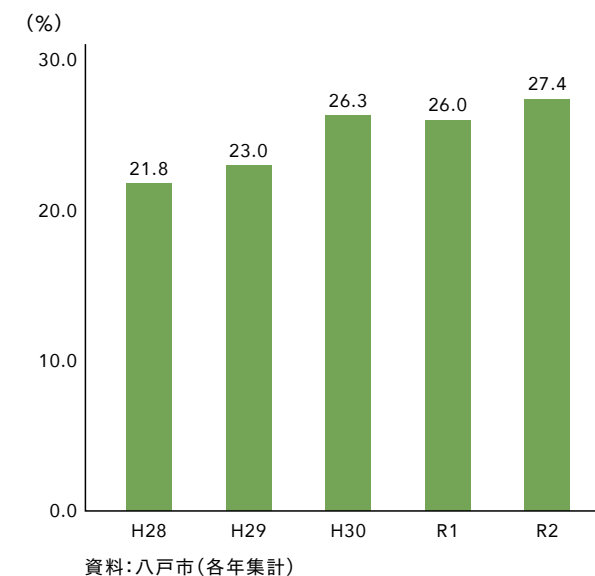
②シニアはつらつポイントの会員活動実人数



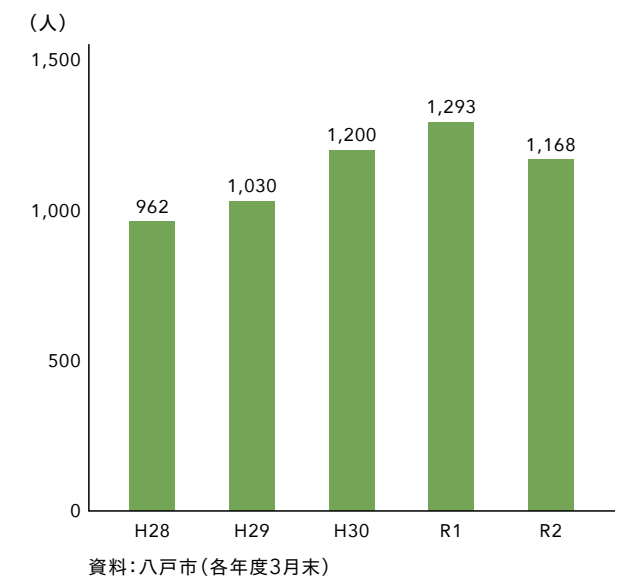
③手話通訳者派遣件数



④男女共同参画意識の醸成が「満たされている」と回答した人の割合



⑤市内外国人の人口推移



未来予測

平均寿命や健康寿命の伸長が予想されることから、高齢者や障がい者が生き生きと暮らすことができる社会を構築できるよう長期的に対処する必要があります。

また、中小企業等の深刻な人手不足を背景として、当市で働く外国人住民の増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処する必要があります。

展開する施策

施策 1 市民活動の促進

市民主体のまちづくりを進めるため、「市民活動の促進」を図ります。

施策 2 高齢者の活躍促進

高齢者が社会と関わり、いつまでも生き生きと暮らせるよう、「高齢者の活躍促進」を図ります。

施策 3 障がい者の社会参加の促進

障がい者が個性や能力を十分に発揮し、社会の中で活躍できるよう、「障がい者の社会参加の促進」を図ります。

施策 4 男女共同参画の推進

男女が性別にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮できるよう、「男女共同参画の推進」を図ります。

施策 5 多文化共生の推進

全ての市民が国籍にかかわらず互いの文化・習慣等を尊重し合いながら、ともに暮らしていけるよう、「多文化共生の推進」を図ります。



施策 1 市民活動の促進

目指す姿 ・市民活動が活発に行われ、市民主体のまちづくりが進められている。

進行管理指標 ・市民活動サポートセンター「わいぐ」の登録団体数
・NPO 法人数

役割分担

市民	・市民活動への参加
事業者 市民活動団体	・市民活動への参加
NPO	・行政や事業者では対応し難い分野でのサービスの提供
行政機関 (八戸市)	・市民活動への支援

施策の内容 市民の協働意識の醸成を図るとともに、市民活動やボランティア活動を促進するための支援や環境づくりに取り組みます。

関連する
SDGs
のゴール



■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	内閣府 NPO 法人ポータルサイト	●NPO 法人に対する信頼性の更なる向上が図られるよう、NPO 法人に対し内閣府 NPO 法人ポータルサイトを活用して積極的に情報を公表する。
青森県	青森プロボノプロジェクト	●企業活動による経験や知識等をボランティアとして提供し、NPO 等の活動基盤の強化につなげる「プロボノ」の取組を県内に普及させる。

施策 2 高齢者の活躍促進

- 目指す姿
- ・高齢者が生きがいを感じながら、自らの経験と知識を活かして、地域の中で生き生きと暮らしている。
- 進行管理指標
- ・高齢者バス特別乗車証の交付者数
・鷗盟大学の卒業者数
・シニアはつらつポイントの会員活動実人数

役割分担	
市民	・多様な活動への参加
事業者・NPO	・社会参加の場の提供
行政機関（八戸市）	・生きがいづくりの推進 ・高齢者の社会参加への支援

施策の内容

高齢者の外出機会や活躍できる場を確保し、生きがいづくりや仲間づくりを支援するとともに、高齢者の社会参加の促進を図ります。



関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市高齢者福祉計画／八戸市地域福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	地域支援事業	●シニアはつらつポイント事業に対する地域支援事業交付金の交付
青森県	地域支援事業	●シニアはつらつポイント事業に対する地域支援事業交付金の交付

施策 3 障がい者の社会参加の促進

- 目指す姿
- ・障がい者が自らの個性や能力を発揮しながら、地域社会の中で活躍している。
- 進行管理指標
- ・手話通訳者の派遣件数
・バス特別乗車証の交付者数
・八戸公共職業安定所管内の障害者雇用率

役割分担	
市民	・障がい者の社会参加への理解 ・障がい者の社会参加
福祉サービス事業者	・一般就労につながる訓練等のサービスの提供
事業者	・障がい者の就労に対する理解及び雇用義務の履行
行政機関（八戸市）	・障がい者団体への活動支援 ・就労への支援 ・関係機関の連携の促進

施策の内容

障がいや障がい者についての市民や事業者の理解促進を図るとともに、障がい者の就労支援の充実や社会参加しやすい環境づくりに取り組みます。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市地域福祉計画／八戸市障害者計画／八戸市障害福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
厚生労働省	地域生活支援事業	●市の障がい福祉事業に対する補助金・負担金の交付
青森県	地域生活支援事業	●市の障がい福祉事業に対する補助金・負担金の交付

施策 4 男女共同参画の推進

目指す姿 男女が、性別にかかわらず、自らの意思と選択に基づいて、家庭や職場、地域など社会のあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮できている。

進行管理指標 男女共同参画意識啓発講演会の参加者数
女性チャレンジ講座(登録制)の累計受講者数

役割分担

市民	男女共同参画の基本理念の理解及び実践
事業者	男女共同参画の基本理念の理解及び男女の機会均等の推進 労働条件や男女が共に働きやすい雇用環境の整備 女性活躍の推進
行政機関 (八戸市)	男女共同参画意識の啓発 男女平等教育の推進 女性活躍推進への支援

施策の内容

市民の男女共同参画に関する意識醸成を図るとともに、男女が共に活躍できる環境づくりに取り組みます。

関連するSDGsのゴール



施策 5 多文化共生の推進

目指す姿 国籍にかかわらず、全ての住民が互いの文化・習慣等を尊重し対等な関係を築きながら、共に地域社会で暮らしている。

進行管理指標 多言語生活情報リビングガイドの配布数
小・中学校において日本語教育支援を受けた児童生徒数

役割分担

市民	多文化共生の理解 外国人住民との交流
事業者・NPO (地域国際化団体)	多文化共生の理解促進 国際交流活動の推進 異文化の紹介と国際交流の場の提供 外国人住民への生活支援
行政機関 (八戸市)	多文化共生の推進体制の整備 日本語教育環境の整備

施策の内容

外国人住民が安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、地域における異文化理解の促進を図ります。また、学校生活への適応が不十分な児童生徒への日本語教育の充実を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市男女共同参画基本計画／八戸市次世代育成支援行動計画後期計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	男女共同参画基本計画に基づく事業	男女共同参画社会基本法に基づき、施策の総合的かつ計画的推進を図る。
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく事業	企業における一般事業主行動計画策定を促進するなど、女性の職業生活における活躍を推進する。
青森県	あおり男女共同参画プラン21に基づく事業	男女共同参画社会の実現を目指し、各種施策を展開する。

■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
総務省	地域における多文化共生推進プラン	自治体における多文化共生施策の推進に関する基本となる計画
総務省 外務省 文部科学省	JETプログラム(CIR)	外国青年を招致して、地方自治体、教育委員会、小・中学校等で、国際交流の業務や外国語教育に携わることにより、地域の国際化を図る。
外国人材の受入れ ・共生に関する 関係閣僚会議	外国人材の受入れ共生のための総合的対応策	外国人材の適正・円滑な受入れの促進に向けた取組や、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を推進
青森県	青森県外国人相談窓口	県内で暮らす外国人の方々に、生活に係る適切な情報や相談場所をお知らせする窓口を設置

政策 5 「まち」を形づくる

都市整備 公共交通

基本的な考え方

道路や上下水道、公園などの都市基盤施設や、路線バスや鉄道などの公共交通は、「まち」の基盤として市民の日常生活や円滑な事業活動を支えており、これらの基盤を整えることは、利便性や快適性、安全性を高め、市民の暮らしやすさの向上や更なる産業経済の発展につながります。

これまで、本市では、市民が快適な生活を送ることができるよう、八戸市都市計画マスタープランを策定し、それぞれの地域が持つ特色を活かした良好な市街地形成を進めるとともに、安全で利便性の高い暮らしの実現と産業経済活動の活性化が図られるよう、道路や橋りょう、上下水道の整備推進や港湾の整備促進に取り組んできました。

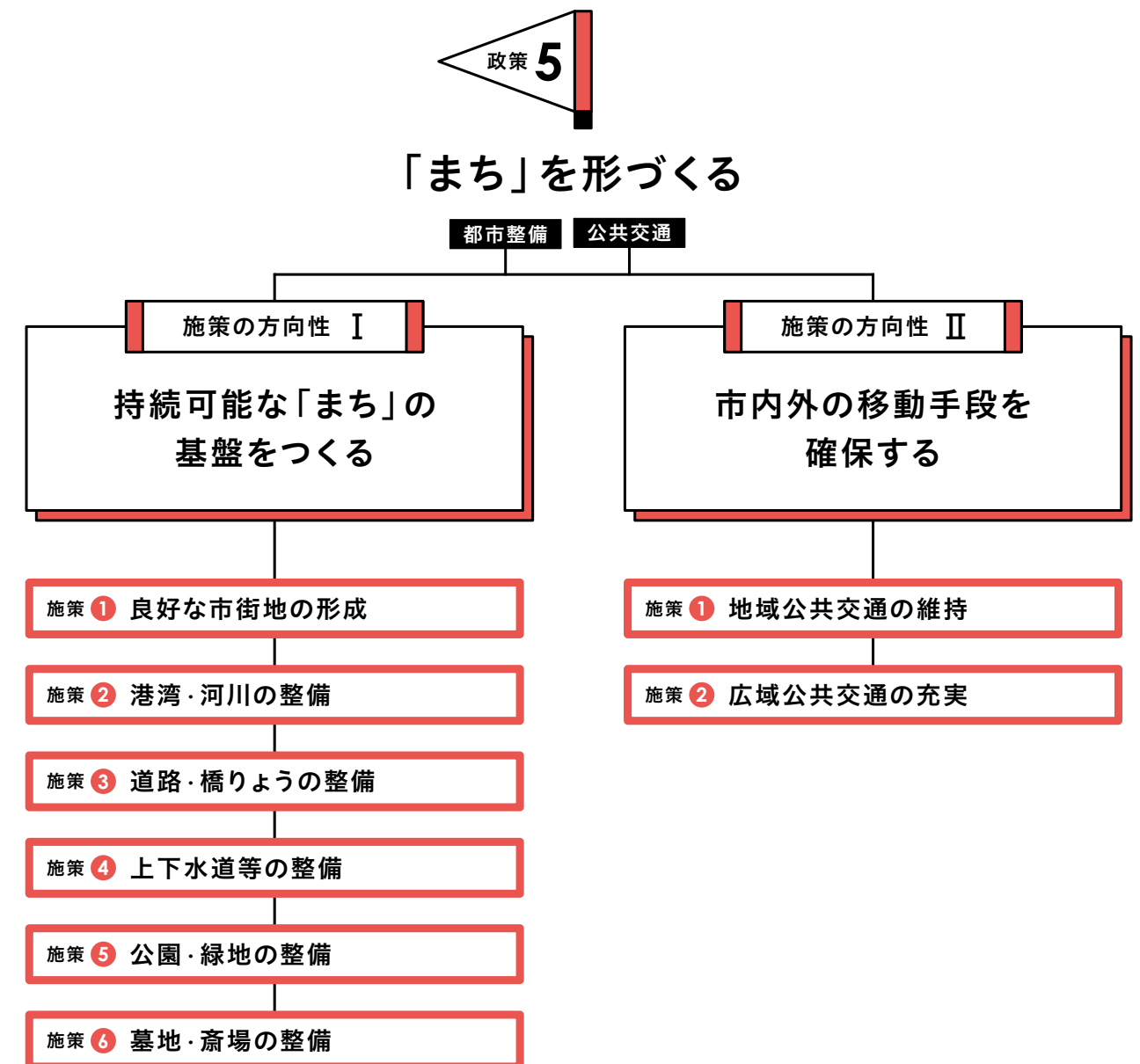
また、市民生活に潤いをもたらす公園・緑地や河川の整備、市民生活に不可欠な墓地・斎場を整備し、市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、「市民の足」となる路線バスなどの地域公共交通の充実や地域間交流を支える鉄道や航空機などの広域公共交通の確保に取り組んできました。

こうした中、人口減少や高齢化の進行、多様化する自然災害、街区の再開発や新たな産業への対応など、都市機能に求められるニーズは時代の変遷とともに変化しているとともに、将来を見据えた既存施設の適切な維持管理も重要であり、これらを踏まえた更なる取組を推進する必要があります。

このようなことから、本市では、良好な市街地の形成や港湾・河川、道路・橋りょう、上下水道等、公園・緑地、墓地・斎場の整備を進め、快適で潤いのある生活の確保と産業経済活動の活性化を図ることで持続可能な「まち」の基盤をつくとともに、市内外の移動手段を確保するため、地域公共交通の維持や広域公共交通の充実を図ります。



施策の体系



施策の方向性 I

持続可能な「まち」の
基盤をつくる

概要

良好な市街地の形成や港湾・河川、道路・橋りょう、上下水道等、公園・緑地、墓地・斎場の整備を進め、快適で潤いのある生活の確保と産業経済活動の活性化を図り、持続可能な「まち」の基盤をつくります。

現状と課題

市街地

当市では、土地区画整理事業による道路や公園、下水道などの計画的な都市基盤施設の整備や、八戸市[立地適正化計画](#)に基づく都市機能や居住の適正な立地促進を図るとともに、街並みに調和した景観形成や市民及び事業者の主体的な景観づくりを促し、地域の特色を活かした良好な市街地の形成を進めています。

また、古くから行政や商業、文化の中心である中心市街地では、「八戸の顔」にふさわしい市街地を形成するため、八戸ポータルミュージアム「はっち」や公営書店の「八戸ブックセンター」、八戸まちなか広場「マチニワ」といった多様な都市機能の整備を進めるとともに、商業店舗の複合ビル「ガーデンテラス」の開発など民間活力の創出を図り、まちの[回遊性](#)向上と賑わいづくりを推進しています。

さらに、近年の高齢化の進行や核家族化の進展を背景とした高齢単身世帯の増加により、当市においても空き家が増えることが懸念されており、市では令和3(2021)年3月に八戸市空家等対策計画を策定し、空き家の発生予防や適切な管理の促進、利活用の推進、管理不全空き家の所有者への対応などの取組を計画的に進めています。

今後も良好な居住環境の整備や景観づくりを推進するとともに、都市機能の効率的な配置や人口密度の維持、中心市街地における都市機能の集積や回遊性の高い都市空間の形成、総合的な空き家対策に取り組む必要があります。

【[立地適正化計画](#)】都市全体の視点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランであり、都市計画マスタープランの一部となるもの。居住を誘導するエリア、都市機能の立地を誘導するエリア等を定め、公共交通の再編など一体的に取り組んでいくことにより、「コンパクト＆ネットワークの都市構造」の実現を図る。

【[回遊性](#)】買い物客が、店舗内や商店街を歩き回ること。

港湾・河川

八戸港は、昭和26(1951)年の国の重要港湾の指定以降、当市のみならず北東北の交通や物流、エネルギー供給の拠点として、市民生活や事業活動を支えており、令和3(2021)年8月には中央防波堤・第二中央防波堤が整備され、出入港船舶の航行安全性や荷役作業の効率性が向上しています。

近年、海上輸送コストの削減を図るため世界的に船舶の大型化が進んでおり、八戸港を利用する船舶も同様の傾向であることから、船舶の安全性と利便性を高めるため、航路泊地の公称水深確保と港湾施設の整備促進を図る必要があります。

また、河川周辺は、散策やレクリエーションの場として、市民にとって水を身近に感じながら自然と触れ合える空間となっており、市民生活に潤いをもたらす親水空間を確保する必要があります。

さらに、近年、全国的に台風や豪雨が激甚化・多発化しており、当市においても河川の氾濫による浸水被害を防ぐため、河道掘削や堤防整備といった治水対策の促進を図る必要があります。

道路・橋りょう

当市では、日常生活における円滑な人や物の移動を支えるため、計画的に道路や橋りょうを整備しており、令和2(2020)年度までに都市計画決定された道路の整備進捗率は80.2%と着実に整備が進んでいます。

一方、早期に整備された道路や橋りょうは、老朽化により修繕が必要な箇所が増加しており、道路利用者が安全に移動できるよう、定期的に点検や補修を行うとともに、長期的な視点に基づく計画的な予防保全により長寿命化を図る必要があります。

また、三陸沿岸道路や上北自動車道などの幹線道路は、既存路線との一体的な活用により、人流や物流を促進させるとともに中心街の賑わい創出や企業立地及び産業集積の進展につながり、地域の産業や経済に多大な効果をもたらすことから、更なる整備促進に加え、機能強化及び利活用の促進を図る必要があります。

上下水道等

当市を含む7市町で構成される八戸圏域水道企業団では、馬淵川や新井田川等の4つの水源を管理しながら、施設の更新や[耐震化](#)を図り、良質な水を安定的に供給しています。

また、当市では、公衆衛生の向上を図るため、公共下水道や農業集落排水、[合併処理浄化槽](#)といった污水处理施設を整備し、令和2(2020)年度の污水处理人口普及率は79.3%と過去5年間で最も普及している状況となるとともに、市街地での雨水による浸水被害を防ぐため、雨水管路や都市下水路の整備を進めています。

こうした中、早期に整備された施設・管路の老朽化が進行しており、市民の[ライフライン](#)として安全な水を安定的に供給するとともに、家庭からの生活排水や雨水を適切に処理するため、既存施設・管路の更新や整備を計画的に進めるとともに、合併処理浄化槽の設置促進を図る必要があります。

【[耐震化](#)】強い地震でも建造物が倒壊、損壊しないように補強すること。

【[合併処理浄化槽](#)】し尿と生活雑排水を合わせて処理する能力を持つ浄化槽のこと。

【[ライフライン](#)】市民生活の基盤となる生命線のこと。都市生活の維持に必要な不可欠な電気・ガス・水道・通信・輸送などをいう。

公園・緑地

当市では、市民が自然や緑に触れ合うことにより潤いのある暮らしを確保できるよう、こどもの国や長根公園などの都市公園や緑地の整備を推進するとともに、一部の公園では地域住民の協力による維持管理により快適な公園環境が作り出されています。

また、公園・緑地は、レクリエーション活動に利用され、市民の身近な憩いの場であるとともに、災害発生時の避難の場としての機能を有していますが、早期に開設した公園を中心に施設の老朽化が進んでおり、市では八戸市公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な修繕や更新に取り組んでいます。

こうした中、地域住民の高齢化の進行を背景として、将来にわたって公園の維持管理が可能となる体制の構築や、高齢者をはじめ誰もが快適に利用できる公園・緑地の整備が求められており、持続的に維持管理を行う体制づくりや施設のバリアフリー化に取り組む必要があります。

墓地・斎場

当市では、市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境の確保を図るため、周辺環境との調和や緑化等に配慮しながら墓地の整備を進めています。

近年の核家族化の進展やライフスタイルの変化を背景として、個人での維持管理や引継ぎが不要な墓地の整備が求められるなど、墓地に対するニーズが変化しており、市では令和4(2022)年より、新しい形の墓地としてモニュメント型の合葬墓の供用を開始するとともに、墓地の生前予約制度を導入することとしています。

今後も樹木葬など様々な形式の墓地の在り方に対する多様な市民ニーズに対応する必要があります。

また、当市では昭和31(1956)年より斎場を運営していますが、高齢化の進行により増加する施設需要や施設の老朽化に対応するため、令和元(2019)年度に火葬炉を新たに整備するとともに、誰もが利用しやすい施設となるよう、バリアフリー化などのユニバーサルデザインを取り入れた整備を進めています。

今後、高齢化が進行する中で、更に増加が見込まれる施設需要に対応する必要があります。

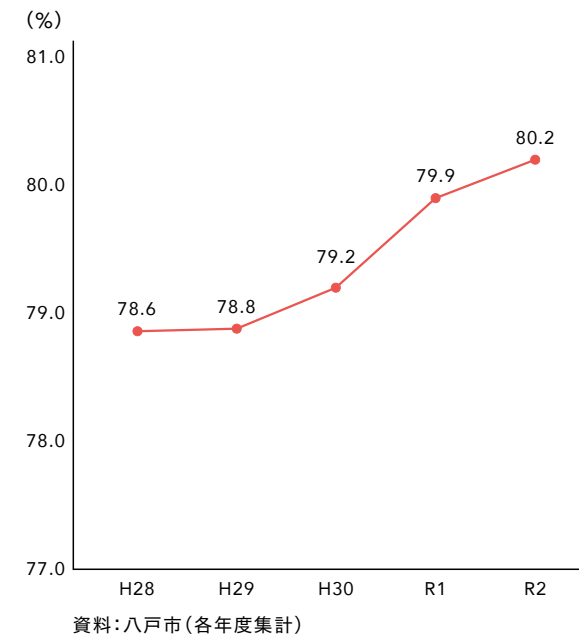


【バリアフリー】障がい者や高齢者が生活する上での行動のさまたげとなるバリア(障壁・さまたげとなること)を取り去った生活空間や環境のあり方のこと。物理的なものだけでなく、精神的な障壁も含む。

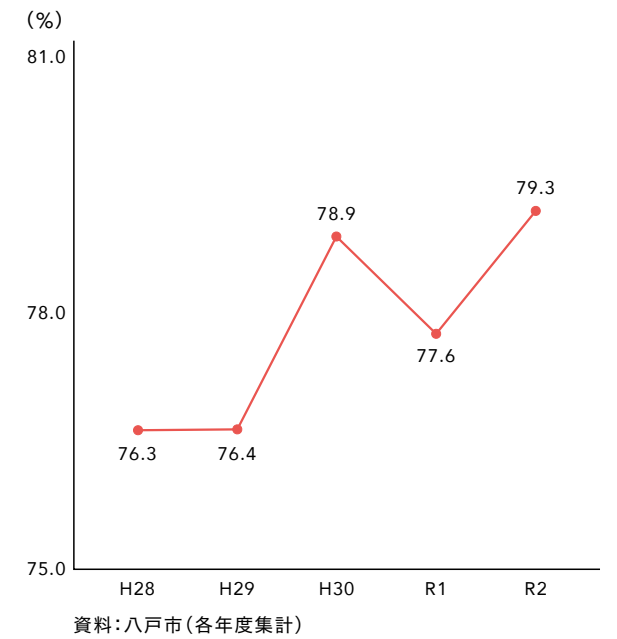
【合葬墓】ひとつのお墓に多くの方々の焼骨を合同で埋葬するお墓のこと。

【ユニバーサルデザイン】年齢、障がい、国籍などに関わらず、すべての人々が使用できるような商品、建物、環境のデザイン。障がい、高齢といった特別視をやめ、デザイン上の区分けを無くしていこうとするもの。

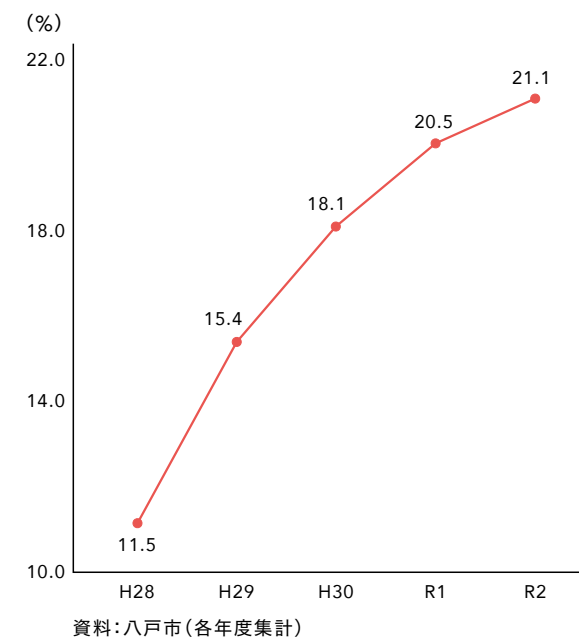
①都市計画道路整備進捗率



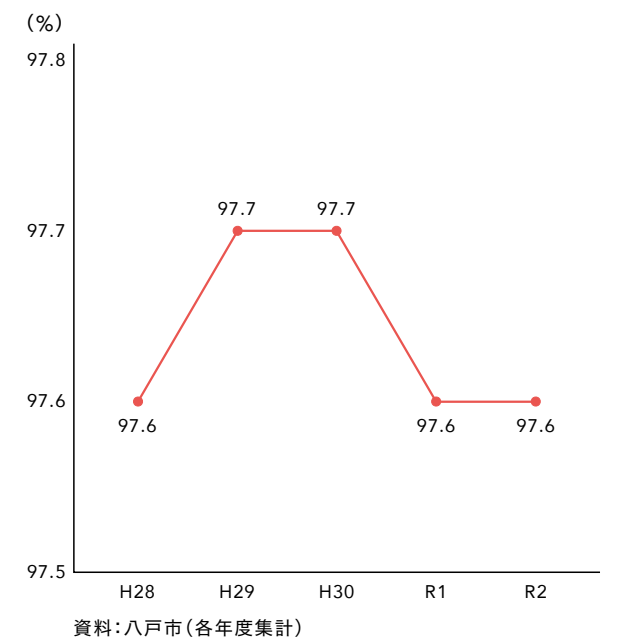
②汚水処理人口普及率



③公園施設改築・更新率



④市営霊園墓地区画使用率



未来予測

人口減少の進行による市街地での人口密度の低下や、老朽化が進む道路や上下水道の更新に係る経費の増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、高齢化の進行により公園・緑地や墓地の在り方に対する市民ニーズの多様化が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 1 良好な市街地の形成

市民が快適な生活を送れるとともに、中心市街地における賑わいを創出するため、「良好な市街地の形成」を図ります。

施策 2 港湾・河川の整備

八戸港における人や物の円滑な移動を支えるとともに、親水空間の確保や河川の氾濫による浸水被害を防止するため、「港湾・河川の整備」を図ります。

施策 3 道路・橋りょうの整備

市民や道路利用者の利便性を高めるとともに、安全な移動を支えるため、「道路・橋りょうの整備」を図ります。

施策 4 上下水道等の整備

安全で良質な水を安定的に供給するとともに、生活排水や雨水を適切に処理するため、「上下水道等の整備」を図ります。

施策 5 公園・緑地の整備

市民が潤いのある生活を送れるよう、「公園・緑地の整備」を図ります。

施策 6 墓地・斎場の整備

市民が生涯にわたって安心して暮らせるよう、「墓地・斎場の整備」を図ります。

施策 1 良好な市街地の形成

目指す姿

- ・都市基盤施設が充実し、快適に暮らすことができる良好な市街地が形成されている。
- ・都市機能が集積し、回遊性の高い快適な歩行空間が整備され、八戸の顔としてふさわしい魅力的な中心市街地が形成されている。

進行管理指標

- ・空き店舗・空き地率
- ・中心市街地への来街者数
- ・中心市街地（三日町）の公示地価
- ・空き家バンク登録物件の成約件数
- ・八戸駅西土地区画整理事業の進捗率

役割分担

市民	・地区のまちづくりへの参加や協力 ・景観づくりへの協力
事業者	・市街地整備の推進 ・景観づくりへの協力 ・民間開発事業の実施
行政機関 （八戸市）	・計画的な市街地の整備 ・都市機能や居住の適正な立地促進 ・良好な景観づくりの推進 ・民間開発事業への支援 ・快適な歩行空間の整備 ・空き家等対策の推進

施策の内容

良好な居住環境の整備や街並みに調和した景観形成を進めるとともに、八戸市立地適正化計画に基づく都市機能や居住の立地促進を図ります。また、中心市街地における都市機能の集積や回遊性の高い都市空間の形成を図るとともに、総合的な空き家対策を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市都市計画マスタープラン／社会資本総合整備計画／八戸市立地適正化計画／八戸市中心市街地活性化基本計画
八戸市景観計画／くらしのみちゾーン基本計画／八戸市空き家等対策計画／八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省 内閣府	—	●市実施事業に対する補助（社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金等）
		●都市基盤（道路等）の整備・維持管理
青森県	都市計画道路（3・5・1号沼館三日町線）の整備	●都市基盤（道路等）の整備・維持管理

施策 2 港湾・河川の整備

目指す姿

- ・八戸港内の航行安全性が確保され、人や物の移動が円滑に行われている。
- ・親水空間が確保されるとともに、治水対策により河川の氾濫による浸水被害が抑えられている。

進行管理指標

- ・準用河川土橋川の整備進捗率

役割分担

市民	・親水空間の適切な利用
事業者 八戸港振興協会	・港湾施設の効率的な利用 ・関係団体による国や県への働きかけ
行政機関 (八戸市)	・港湾施設の整備促進 ・景観に配慮した親水空間の整備 ・河川の適正な維持管理 ・河川改修の推進及び促進

施策の内容

国や県、関係団体との連携により港湾整備の促進を図ります。また、河川周辺の自然環境の保全を推進するとともに、河川の治水対策の推進及び促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 3 道路・橋りょうの整備

目指す姿

- ・交通ネットワークを構築する道路や橋りょうが整備され、日常生活の利便性が向上している。
- ・市民や道路利用者が安全に道路や橋りょうを利用できている。

進行管理指標

- ・都市計画道路の整備進捗率
- ・道路の修繕完了率
- ・橋りょうの修繕等措置完了率

役割分担

市民	・道路や橋りょうに関する情報提供や維持管理への協力
事業者	・道路や橋りょうに関する情報提供や維持管理への協力
行政機関 (八戸市)	・道路の整備及び維持管理 ・橋りょうの整備及び維持管理 ・広域的な道路の整備及び利活用の促進

施策の内容

道路・橋りょうの整備や適正な維持管理に取り組むとともに、計画的な予防保全による長寿命化を図ります。また、三陸沿岸道路や上北自動車道などの幹線道路の整備促進に加え、機能強化及び利活用の促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

くらしのみちゾーン基本計画／八戸市中心市街地活性化基本計画／八戸市過疎地域持続的発展計画／八戸市辺地総合整備計画／八戸市橋梁長寿命化修繕計画／舗装の個別施設計画／八戸市景観計画／道路付属物等個別施設計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省	東北新広域道路交通計画の推進	●直轄国道の整備・維持管理 ●高規格幹線道路等の整備
	三陸沿岸道路等利活用懇談会の開催	●三陸沿岸道路等の利活用促進
	—	●市実施事業に対する補助(社会資本整備総合交付金等)
防衛省	—	●市実施事業に対する補助(特定防衛施設周辺整備調整交付金等)
青森県	主要地方道八戸環状線道路改良事業	●県道等の整備・維持管理
	都市計画道路の整備 (3・5・1号沼館三日町線、3・3・8号白銀市川環状線)	
	八戸館地区農道整備事業	

■関連する個別計画

八戸市局所的集中豪雨 雨水対策プラン／八戸市過疎地域持続的発展計画／土橋川治水計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省	港湾整備事業	●防波堤や航路泊地などの港湾施設の整備
	河川改修事業	●一級河川 馬淵川の管理・改修
青森県	港湾整備事業	●港湾施設の整備及び維持管理
	河川改修事業	●河川の管理・改修(県管理分)

施策 4 上下水道等の整備

目指す姿

- ・上水道が整備され、安全で良質な水が安定して供給されている。
- ・雨水浸水の起きにくい下水道等が整備され、衛生的な生活環境が確保されている。

進行管理指標

- ・上水道の耐震化率
- ・下水道の普及率
- ・水洗化率
- ・合併処理浄化槽の補助基数

役割分担

市民	・上水道の利用 ・下水道接続の水洗化
事業者	・上水道の利用 ・下水道接続による事業場排水の適正処理の推進
行政機関 (八戸市)	・計画的かつ効率的な上下水道の整備 ・上下水道の利用促進 ・都市下水路の整備 ・合併処理浄化槽への転換促進

施策の内容

上水道の整備や公共下水道、都市下水路の整備を計画的に進めるとともに、公共下水道計画区域外における合併処理浄化槽への転換促進を図ります。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

水道事業総合計画／八戸市下水道事業経営戦略／八戸市農業集落排水事業経営戦略／八戸市公共下水道基本構想
八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画／八戸市公共下水道全体計画／八戸市公共下水道事業計画／八戸市一般廃棄物処理基本計画／社会資本総合整備計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省 農林水産省 環境省	—	●市実施事業に対する補助(社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金、農山漁村地域整備交付金、循環型社会形成推進交付金等)
青森県	—	●県内の下水道事業の総括 ●市実施事業に対する補助(青森県浄化槽整備費補助金)

施策 5 公園・緑地の整備

目指す姿

- ・自然や緑に触れ合える公園や緑地が整備され、潤いのある暮らしが確保されている。

進行管理指標

- ・人口一人当たりの公園面積
- ・公園施設の利用者数
- ・公園施設の改築・更新率

役割分担

市民	・公園・緑地の計画策定への参加 ・維持管理への協力
事業者	・公園・緑地の維持管理への協力
行政機関 (八戸市)	・公園・緑地の整備及び維持管理

施策の内容

公園・緑地における施設の長寿命化やバリアフリー化を図るとともに、持続的な維持管理体制の構築に取り組みます。



■関連する個別計画

八戸市緑の基本計画／八戸市公園施設長寿命化計画／長根公園再編プラン(報告書)／八戸駅西地区まちづくり計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省	—	●市実施事業に対する補助(社会資本整備総合交付金等)

関連するSDGsのゴール



施策 6 墓地・斎場の整備

目指す姿 多様なニーズや老朽化に対応した墓地や斎場が整備され、市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境が確保されている。

進捗管理指標 市営霊園使用予約の待機者数
市外斎場使用助成金の交付額

役割分担

市民	・墓地・斎場の整備計画策定への参加 ・維持管理への協力
事業者	・墓地・斎場の維持管理への協力
行政機関 (八戸市)	・墓地・斎場の整備及び維持管理

施策の内容 多様化する市民ニーズに応じた市営霊園の計画的な整備を進めるとともに、適正な維持管理に取り組みます。また、老朽化や増大する施設需要に対応した斎場の計画的な整備を推進するとともに、適正な維持管理に取り組みます。

関連するSDGsのゴール



施策の方向性 II

市内外の移動手段を確保する

概要

地域公共交通の維持や広域公共交通の充実を図り、市民や当市への来訪者の市内外の移動手段を確保します。

現状と課題

地域公共交通

当市では、路線バスや鉄道・タクシーといった地域公共交通が相互に連携することにより、市内各所と市の中心部などの拠点をつなぐ利便性の高い公共交通ネットワークを構築しており、市民や来訪者の円滑な移動を支えています。

近年の人口減少の進行を背景として、利用者や運賃収入の減少、乗務員の担い手不足といった地域公共交通を取り巻く環境が大きく変化する中、今後も市民や来訪者が円滑に移動できる地域公共交通ネットワークを維持していくためには、地域公共交通の利用促進や、乗務員の確保を図るとともに、交通系ICカードやバスロケーションシステムの運用などICT技術を活用した更なる利便性の向上と運行の効率化を図る必要があります。

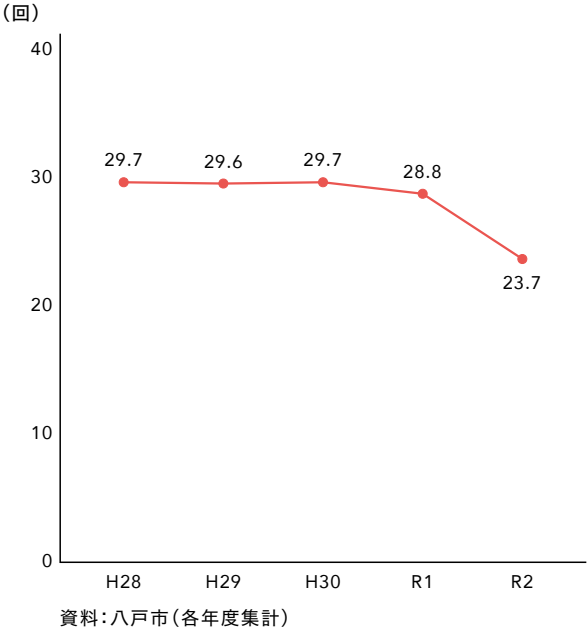
広域公共交通

当市には、東京や仙台への短時間での移動を可能とする東北新幹線や、東北縦貫自動車道を活用した高速バス、北海道苫小牧市との間を就航するフェリーに加え、近隣の三沢空港では国内主要都市へとつながる旅客機が運航し、陸・海・空の広域的な交通手段が確保されており、北東北における広域公共交通ネットワークの交通結節点として多くの人々の広域的な移動を支えています。

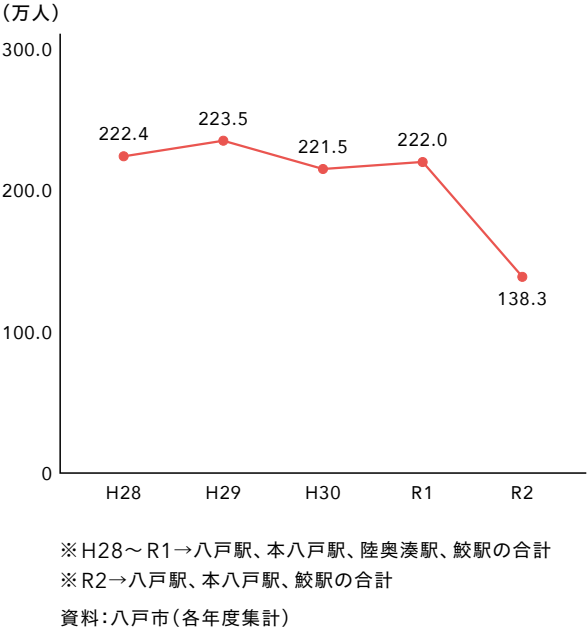
今後も八戸圏域や岩手県北地域をはじめ、国内各地との交流を支える広域公共交通を確保していくためには、鉄道や航空路の利用促進を図るとともに、鉄道に合わせた路線バスのダイヤ編成やインバウンドに対応した多言語対応など地域公共交通との乗継環境の利便性向上に取り組む必要があります。

【バスロケーションシステム】バスの走行位置をバス停等で表示し、バス待ち客の利便を向上するシステムのこと。
【インバウンド】外国人の訪日旅行のこと。または、訪日旅行者のこと。

①市民一人当たりの年間市営バス利用回数



②市内鉄道駅の乗車人数



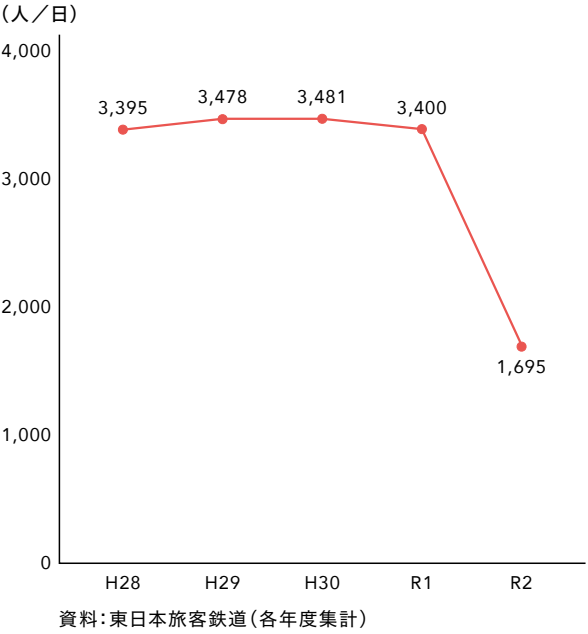
③東京・八戸間の新幹線往復便数

(便)

	H28	H29	H30	R1	R2
上り	15	15	16	18	18
下り	15	15	16	16	16

資料：八戸市(各年4月1日時点)

④JR八戸駅における一日平均の新幹線乗車人数



未来予測

高齢化の進行により、バス停・鉄道駅までの移動が困難な高齢者の増加が予想されることから、ICT技術や自動運転技術を活用した新たな交通システムの導入など、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、人口減少に伴い、路線バスによる公共交通ネットワークの縮小が予想されることから、小規模の需要に対応できるよう限られたエリア内でのコミュニティバスの導入などその動向を注視し適切に対処していく必要があります。

さらに、電気バスの導入など2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて長期的に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 地域公共交通の維持

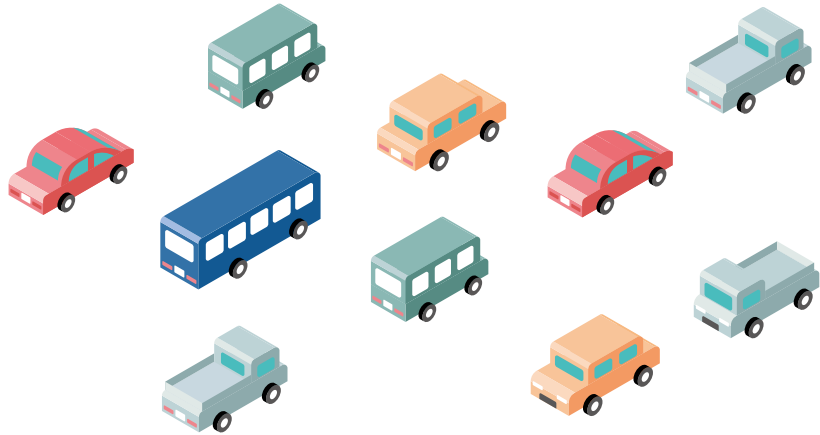
市民や当市への来訪者が市内を円滑に移動できるよう、「地域公共交通の維持」を図ります。

施策 ② 広域公共交通の充実

国内各地との交流を支えられるよう、「広域公共交通の充実」を図ります。



【コミュニティバス】公共交通が空白または不便な住宅地区で、停留所を近距離にするなど、高齢者や障害者の利用に配慮するとともに、地域住民の多様なニーズにきめ細やかに対応する地域密着型バスシステムのこと。



施策 1 地域公共交通の維持

目指す姿 ・わかりやすく利用しやすい地域公共交通ネットワークが構築され、多くの市民や
当市への来訪者に利用されている。

進行管理指標 ・市内鉄道駅の乗車人数
・市民一人当たりの年間平均路線バス利用回数
・バス特別乗車証の交付者数

役割分担

市民	・地域公共交通の利用
事業者	・従業員などの通勤手段の地域公共交通への利用転換への協力
交通事業者	・安心・安全な運輸サービスの提供 ・地域公共交通の利用促進
行政機関 (八戸市)	・地域公共交通網の再編 ・地域公共交通の利用促進

施策の内容

持続可能な地域公共交通網を形成するとともに、利用者ニーズに対応した地域公共交通の利便性向上を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 2 広域公共交通の充実

目指す姿 ・当市と国内各地との交流を支える広域公共交通ネットワークが構築され、多くの
交流が行われている。

進行管理指標 ・八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
【新幹線】八戸―東京、八戸―仙台、八戸―新函館北斗
【航空機】三沢―東京、三沢―大阪、三沢―札幌
【フェリー】八戸―苫小牧、八戸―室蘭
・JR八戸駅新幹線の乗車人数

役割分担

市民	・広域公共交通の利用
事業者	・交通情報の効果的な発信
行政機関 (八戸市)	・広域公共交通の利用促進 ・乗継利便性の向上 ・交通結節点の環境整備

施策の内容

陸、海、空の広域公共交通の利用を促進するとともに、地域公共交通との乗継利便性向上の取組や乗継環境の整備を推進します。

関連するSDGsのゴール



■関連する個別計画

八戸市地域公共交通網形成計画／八戸圏域地域公共交通網形成計画／八戸圏域地域公共交通再編実施計画
／八戸市地域福祉計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
国土交通省	—	●地域間幹線バス路線に対する補助の交付 (地域生活交通対策事業補助金)
		●地域公共交通を確保・維持・改善するための 事業に対する補助(地域公共交通確保維持改善 事業補助金)
青森県	—	●地域間幹線バス路線に対する補助の交付 (地域生活交通対策事業補助金)
		●高齢者の移動手段確保に向けた勉強会の 開催

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
青森県	—	●青い森鉄道線のレール、駅舎、ホーム等の維持 管理
		●フェリー埠頭等の管理運営(公益財団法人青 森県フェリー埠頭公社)

政策 6 「八戸らしさ」を活かす
シティプロモーション 観光 国際交流

基本的な考え方

当市には、三陸復興国立公園に指定されている種差海岸や、ユネスコ無形文化遺産である八戸三社大祭、当市発祥のB-1グランプリでゴールドグランプリを受賞した八戸せんべい汁など、当市ならではの個性豊かな地域資源が数多くあります。

これらの地域資源が有する「八戸らしさ」を活かすことは、八戸の知名度向上や市民の当市への愛着や誇りの醸成を促し、市民はもとより国内外の人々の当市への関心を高めることにつながるとともに、交流人口の増加や関係人口及び定住人口の創出・拡大に結びつき、当市を多くの人を惹きつける魅力あふれるまちへと発展させます。

これまで、当市では、「八戸らしさ」を有する地域資源の価値を高めるため、地域の農水産物のブランド化を推進するとともに、史跡・名勝の整備保全、国内外に誇る有形・無形の文化財の保存・活用に取り組んできました。

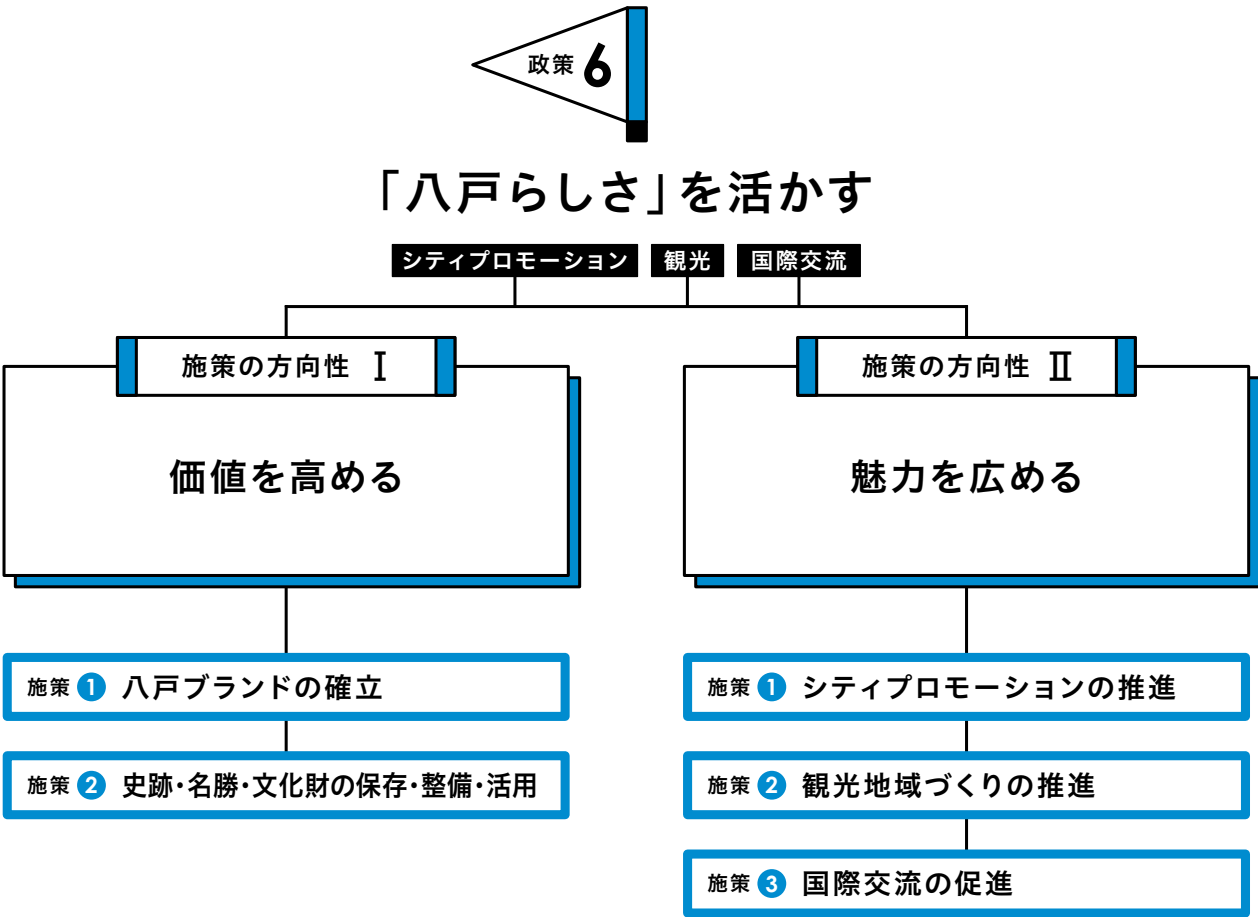
また、国内外に当市の魅力を広めるため、SNSなどの多様な媒体を活用した魅力発信や、豊かな自然や祭り、歴史・文化、食を活かした観光PRの推進、観光客の受入体制の充実、海外都市等との交流促進に取り組んできました。

そのような中、令和3(2021)年度に史跡是川石器時代遺跡が、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として世界遺産に登録されたことは、市民の当市への誇りの醸成につながるとともに、国内外から多くの人々が当市を訪れる大きな好機となります。

今後は、これらの地域資源が有する価値を一層高め、当市の魅力をより国内外に広めることで、市民の当市への愛着や誇りの更なる醸成を図るとともに、交流人口の増加や関係人口及び定住人口の創出・拡大につなげることが重要です。

このようなことから、当市では、八戸ブランドの確立や史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用を図り、地域資源の価値を高めるとともに、国内外にその魅力を広めるため、シティプロモーションや観光地域づくりの推進、国際交流の促進を図ります。

施策の体系



施策の方向性 I

価値を高める

概要

八戸ブランドの確立や史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用を図り、「八戸らしさ」を有する地域資源の価値を高めます。

現状と課題

八戸ブランド

当市では、地域資源が有する価値の向上を図るため、八戸前沖さばや、八戸いちご、八戸ワインなど、地域資源に「八戸」という地名を加え、他の地方自治体の地域資源との差別化を図るとともに、そのもの自体が持つ強みを最大限に活かすことで価値を高めるブランド化の取組を推進しています。

また、企業が取り組むブランドの価値を活かした商品開発への支援に取り組むとともに、開発された商品を八戸ブランド商品として販売促進を進めています。

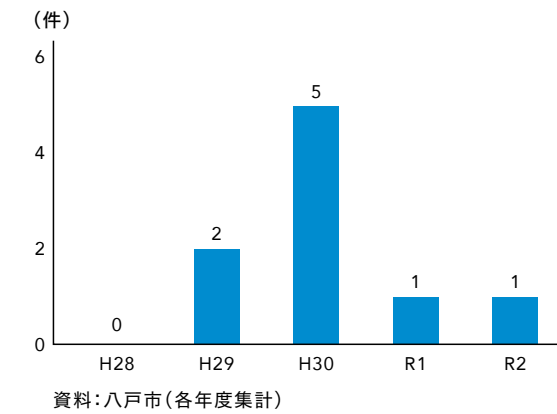
ブランドの認知度を高め、より多くの人々に八戸ブランド商品が選ばれるためには、既存資源の一層の活用と新たな商品の更なる開発促進を図るとともに、市内外に向けた八戸ブランドの積極的なPRを推進する必要があります。

史跡・名勝・文化財

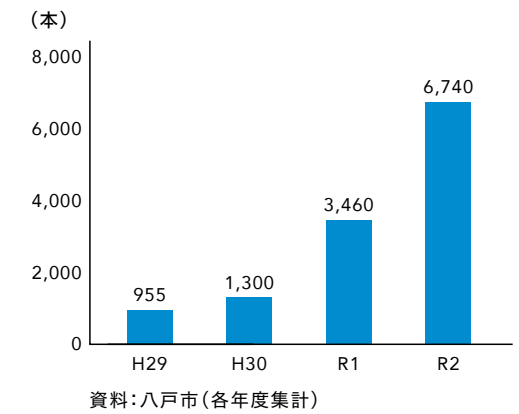
当市には、名勝の種差海岸や天然記念物である蕪島ウミネコ繁殖地、平成28(2016)年度に「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された八戸三社大祭の山車行事、国の重要無形民俗文化財の八戸えんぶり、合掌土偶をはじめとした3つの国宝に加え、令和3(2021)年7月27日に「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として世界遺産に登録された史跡是川石器時代遺跡など、国内外に誇る地域資源が数多くあります。

これらの地域資源は、文化的価値を損なうことのないよう観光資源として活用することで、八戸の知名度を向上させるとともに、当市に多くの人を呼び込み、高い経済効果を地域にもたらすことが期待できることから、適切な整備や保存、確実な継承を図るとともに、文化財の公開を通じた価値や魅力の伝達や、効果的なPRを実施するなど、誘客推進に向けた積極的な活用に取り組む必要があります。

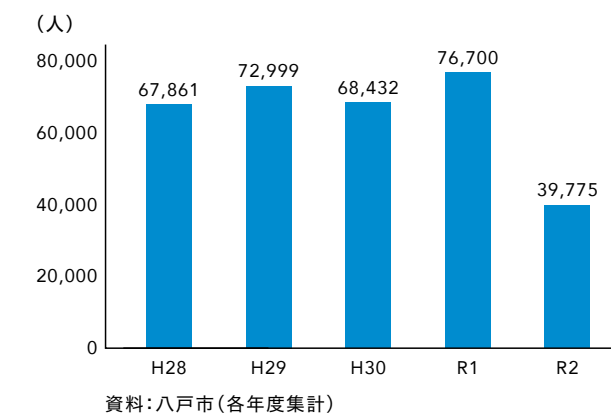
①「八戸」に関する商標の年度別出願件数



②八戸ワインの製造本数



③博物館・根城の広場・南郷歴史民俗資料館・是川縄文館の年間入館者数



未来予測

文化財等の新たな魅力が創出されることにより、当市への来訪者の増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、既存の八戸ブランド商品に加え、当市の有する豊かな自然や世界に誇る文化財が八戸ブランドの価値を有するものとして多くの人々に認知されることにより、当市への来訪者の増加が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① 八戸ブランドの確立

八戸ブランドが広く認知され、八戸ブランド商品が国内外に数多く流通するよう、「八戸ブランドの確立」を図ります。

施策 ② 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用

文化財等の確実な継承と市民の保護意識の向上を図るとともに、積極的な活用により当市への来訪者が増加するよう、「史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用」を図ります。

施策 1 八戸ブランドの確立

目指す姿

- ・八戸ブランドが多くの人々に認知されている。
- ・八戸ブランド商品が国内外に数多く流通している。

進行管理指標

- ・商標権に関する相談件数
- ・八戸ワインの製造本数
- ・種差海岸インフォメーションセンターと蕪島休憩所の来館者数

役割分担

市民	・八戸ブランドの魅力発信
事業者	・八戸ブランド商品の開発及び商標登録の推進
地域おこし団体	・八戸ブランドの商標登録の促進及び魅力発信
行政機関 (八戸市)	・八戸ブランド商品の開発に取り組む事業者への支援 ・八戸ブランド商品の魅力発信

施策の内容

八戸ブランド商品の開発支援や商標登録の促進を図るとともに、八戸ブランド商品が有する価値や魅力の積極的なPRに取り組みます。

関連する
SDGs
のゴール



施策 2 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用

目指す姿

- ・文化財等が適切に保存され、その文化的価値が確実に継承されているとともに、市民の保護意識が高まっている。
- ・文化財等が地域資源として活用されていることで、国内外からの来訪者が増加している。

進行管理指標

- ・国・県・市指定文化財数 ・史跡の公有化率
- ・補助金の交付団体数 ・特別展等の入場者数

役割分担

市民	・文化財等の保護意識の高揚 ・文化財等の魅力発信 ・文化財等の保存・継承への参画
事業者・文化団体 ・地域団体	・所蔵する文化財の管理 ・文化財等の保存・継承活動への支援 ・文化財等を活用したツアーやイベントの企画・運営
行政機関 (八戸市)	・文化財等の保存・整備 ・文化財等の継承・活用への支援 ・文化財等の魅力発信

施策の内容

文化財等の適切な保存・整備や活用、確実な継承に取り組むとともに、文化財等が有する魅力を国内外に発信します。

関連する
SDGs
のゴール



■関連する個別計画

八戸市教育振興基本計画／史跡根城跡保存活用計画／史跡根城跡第2次整備基本計画
／史跡は川石器時代遺跡保存活用計画／史跡は川石器時代遺跡第1期整備基本計画／名勝種差海岸保存管理計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、文化財等の総合的かつ計画的な保存・活用による地域活性化	●文化財等の総合的かつ計画的な保存・活用による地域活性化の促進等
青森県	「青森の縄文遺跡群」活用推進ビジョンに基づく、世界遺産登録効果の最大限の活用	●「遺跡が映えるまちの魅力づくり」「遺跡を核とした活力ある地域づくり」「価値魅力の発信と多様な連携の仕組みづくり」を基本方針とし、行政・地域住民・団体が意識を共有し連携して取り組むことで、「みんなが集う憩いの場・世界に誇るJOMON遺跡群」という将来像の実現を目指す。
北海道・青森県・岩手県・秋田県による共同体制	「包括的保存管理計画及び行動計画」に基づく縄文遺跡群の総合的な保存活用	●「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、「保存管理計画」では資産の万全な保存・管理を図り、「行動計画」では縄文遺跡群の価値の保全と両立した公開・活用の実現を目指す。

■関連する個別計画

八戸市農業計画

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
経済産業省 中小企業庁	「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」に基づく地域産業資源の指定	●地域の強みとなり得る「地域産業資源」について、国の基本方針に基づき県が指定し、その資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓を支援する。
青森県	レッツBuyあおもり新商品認定事業	●新商品開発や新事業創出に取り組む県内事業者が開発・製造した新商品を県が認定し、新商品開発や販路拡大を支援する。

施策の方向性 II

魅力を広める

概要

シティプロモーションや観光地域づくりの推進、国際交流の促進を図り、国内外に「八戸らしさ」を有する地域資源の魅力を広めます。

現状と課題

シティプロモーション

当市では、交流人口の増加や関係人口及び定住人口の創出・拡大を目指し、市ホームページや公式 SNS (Twitter (ツイッター)、Facebook (フェイスブック)、LINE (ライン)) での情報発信、八戸特派大使を通じた PR など、多様な媒体を活用して国内外に地域資源の魅力を発信しています。

また、令和2(2020)年度からは、首都圏における八戸圏域の交流拠点である八戸都市圏交流プラザ「8base」において、八戸圏域の PR や地場製品の販売、八戸圏域ファンミーティングなどの交流事業を展開し、八戸圏域の認知度向上や移住・U・I・J ターンの促進に取り組んでいます。

近年、スマートフォン等の普及による人々の SNS 利用頻度の高まりを背景として、当市の公式 SNS の登録者数も順調に増加しており、それぞれの SNS の特徴を最大限に活用した効果的な地域資源の魅力発信により、八戸の知名度向上や市民の当市への愛着や誇りの醸成を図るとともに、首都圏の交流拠点である「8base」の強みを活かした誘客促進と認知度向上に取り組み、戦略的なシティプロモーションを推進する必要があります。

観光地域づくり

当市は、三陸復興国立公園に指定された種差海岸や「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された八戸三社大祭の山車行事、全国的な知名度を誇る八戸せんべい汁など、多種多様な観光資源を有しており、年間約650万人もの観光客が当市を訪れています。

また、八戸の観光の玄関口となる八戸ポータルミュージアム「はっち」や国宝の合掌土偶を展示する是川縄文館への誘客に加え、館鼻岸壁朝市をはじめとした朝市や横丁といった当市ならではの地域資源を新たな観光資源として確立させるとともに、それらを効果的に PR するため、観光地

【ファンミーティング】ファンと交流するために行う催しのこと。

域づくり法人として八戸圏域版 DMO「VISIT はちのへ」を設立し、圏域一体となった観光誘客と物産振興を推進しています。

さらに、令和2(2020)年9月には、首都圏における八戸圏域の交流拠点として八戸都市圏交流プラザ「8base」を整備し、八戸圏域の PR や地場製品の販売、圏域の地域資源を活用した交流事業を通じて、更なる観光誘客を進めています。

令和2(2020)年の当市への観光入込客数は、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、前年に比べ落ち込んでいますが、国では、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図るとしており、当市においても官民一体となった取組を推進することで、多くの観光客が訪れることが見込まれます。

また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である「是川石器時代遺跡」の令和3(2021)年度の世界遺産登録や八戸・久慈自動車道を含む三陸沿岸道路の全線開通は、当市の魅力向上と交流人口の拡大につながることが期待されることから、今後は、観光資源の PR 及び観光客の受入体制の更なる充実を図り、「八戸らしさ」を前面に出した観光地域づくりを推進する必要があります。

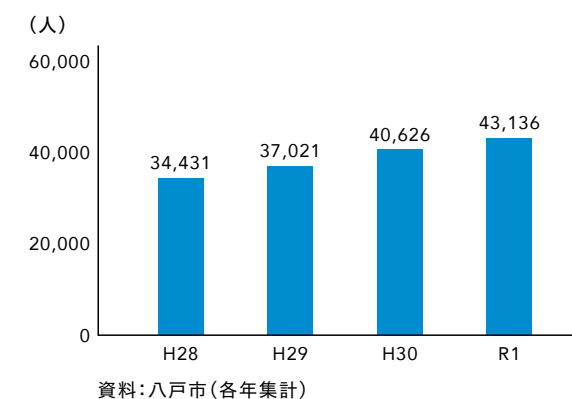
国際交流

当市では、平成5(1993)年にアメリカ合衆国のフェデラルウェイ市と姉妹都市提携を結ぶとともに、平成10(1998)年に中国の蘭州市と友好交流協定書を締結し、両市との相互訪問による交流の機会を活かして当市の魅力を国外に広めています。

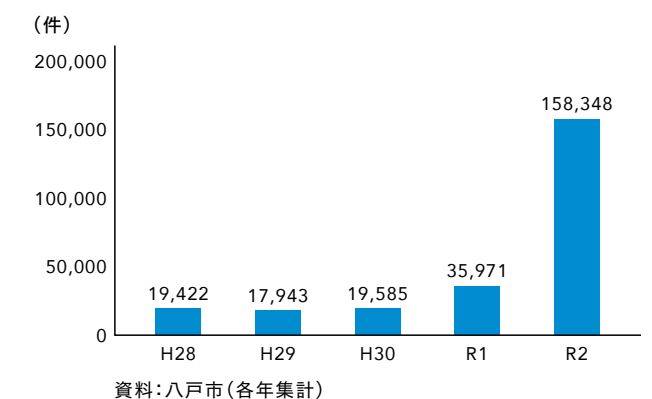
また、海外の交流団の受入れや外国人住民との交流の機会を活かして当市の魅力を広めています。

国際交流の場は、当市の魅力を国外に広めることができる貴重な機会となることから、今後も姉妹・友好都市をはじめ、その他の海外都市との交流促進を図るとともに、国際交流の機会を活用して積極的に当市の魅力を国外に広める必要があります。

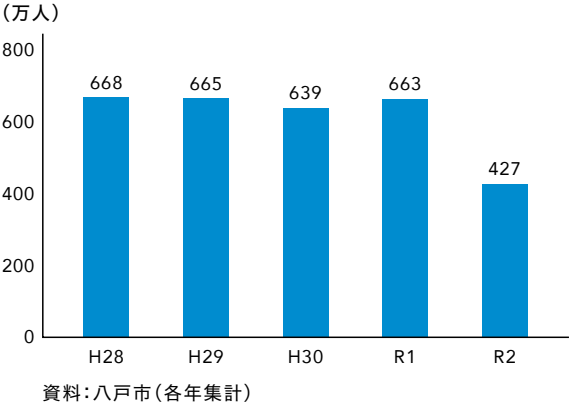
①八戸市公式 SNS の登録者数



② SNS から市ホームページへのアクセス数



③観光入込客数



未来予測

情報発信の手法として新たなコミュニケーションツールの活用が予想されることから、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

また、世界の人々の日本への関心の高まりによって、外国人旅行者が増加するとともに、IoTの発展によって、観光分野においてもデジタル化が進み、オンライン観光などの新たな観光需要の創出が予想されるため、その動向を注視し適切に対処していく必要があります。

展開する施策

施策 ① シティプロモーションの推進

交流人口を増やし、関係人口及び定住人口を創出・拡大するため、「シティプロモーションの推進」を図ります。

施策 ② 観光地域づくりの推進

国内外からの観光客を増やすため、「観光地域づくりの推進」を図ります。

施策 ③ 国際交流の促進

当市の魅力を広く国外に広めるため、「国際交流の促進」を図ります。

【コミュニケーションツール】 意志や情報を伝達するための道具や手段のこと。

【オンライン観光】 インターネットを介してWEB上(オンライン)で行う旅行のこと。現地に行かず自宅など、好きな場所からオンラインで現地からのライブ配信やコンテンツを視聴したり、現地ガイドや他の参加者との間で双方向のやり取りをしたりする。

施策 ① シティプロモーションの推進

目指す姿
・市民が当市への愛着と誇りを持ち、多くの市外居住者が当市を訪れ、関係人口及び定住人口が増えている。

進行管理指標
・八戸市公式 SNS の登録者数
・SNS から市ホームページへのアクセス数

役割分担

市民	・地域の魅力の認知 ・SNS 等での魅力発信
事業者	・地域資源の魅力発信
行政機関 (八戸市)	・各種媒体での魅力発信 ・移住交流の推進 ・八戸都市圏交流プラザ「8base」での PR 及び交流促進

施策の内容
地域資源の魅力を発信するとともに、移住相談体制の充実を図ります。また、首都圏の交流拠点である「8base」を活用した八戸圏域の魅力発信や関係人口の創出・拡大に取り組み、移住促進を図ります。

関連する
SDGs
のゴール



■関連する個別計画

シティプロモーション八戸プラン

■国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
内閣府	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、東京一極集中の是正に向けた取組の強化(関係人口の創出・拡大等)	●関係人口と地域との継続的な協働事業や関係人口を意識した地域活性化に取り組む地方公共団体への支援等

施策 2 観光地域づくりの推進

目指す姿 ・多くの観光客が当市を訪れ、おもてなしの心を持った市民の活動や受入体制の充実により、観光客の満足度が高まっている。

進行管理指標 ・市民ガイド団体による観光ガイド案内人数
・VISITはちのホームページへのアクセス数
・八戸三社大祭及び八戸えんぶりの入込客数
・八戸ポータルミュージアムの入館者数

役割分担

市民	・おもてなし意識の向上や観光ガイドへの参加 ・当市の観光資源に関する情報の発信 ・観光資源が有する魅力の再認識
観光事業者 関係団体	・観光関連従事者の意識の向上や観光関連施設の整備 ・当市の観光資源を活かしたPR活動の展開 ・観光イベントの運営 ・観光資源の創出・磨き上げ
VISITはちのへ	・国内外に向けた観光PRの推進 ・観光に関するマーケティングの実施・分析 ・観光イベントの開催支援 ・市内外の関係団体との連携 ・観光事業者への支援 ・観光資源の創出・磨き上げへの支援
行政機関 (八戸市)	・観光客の受入体制や受入環境の整備 ・観光イベントへの支援 ・他自治体やVISITはちのへと連携した観光PRの推進 ・八戸ポータルミュージアム「はっち」での観光PR ・八戸圏域交流プラザ「8base」における八戸圏域のPR

施策の内容

外国人観光客を含めた観光客の受入体制の充実を図るとともに、種差海岸周辺や中心市街地等における観光関連施設の整備・運営に取り組めます。また、八戸ならではのイベントへの支援や、周辺自治体やVISITはちのへと連携による誘客促進、「はっち」や「8base」における観光誘客を図ります。

関連するSDGsのゴール



施策 3 国際交流の促進

目指す姿 ・姉妹・友好都市やその他の海外都市との相互理解が深まっており、当市の魅力が広がっている。

進行管理指標 ・青少年海外派遣交流事業における延べ派遣国数及び受入国数

役割分担

市民	・国際交流活動への参加
事業者・NPO	・国際交流活動の推進
行政機関 (八戸市)	・姉妹・友好都市・その他の海外都市との交流促進 ・国際交流活動の促進

施策の内容

姉妹・友好都市・その他の海外都市との相互理解の深化や国際交流の機会を活用した魅力発信を推進するとともに、海外の交流団の受入れや外国人住民との交流の機会を活用した魅力発信に取り組めます。

関連するSDGsのゴール



国や青森県による取組

機関名称	事業名称	取組内容
環境省	国等所管施設の設置	●種差海岸インフォメーションセンターを設置し、三陸復興国立公園 種差海岸階上岳地域を中心とした自然・文化の紹介・解説、みちのく潮風トレイル等の情報を提供

